

(1) 単位互換事業

【事業計画の概要および実績】

<概要>

単位互換制度はこれまで27年にわたり加盟校が形成してきた京都ワンキャンパスの中核的な取組である。学生は加盟校が提供する約300～400科目程度の中から、自身の関心・意欲にあわせて受講でき、大学の枠を超えた多様性のある「学び合い」ができる制度である。国内でもこの規模で運営される単位互換は京都以外になく、京都ならではの高い教育力ある環境の維持・発展は財団の使命である。近年、教育の質保証が求められる中、加盟校ではカリキュラムの充実が図られる一方、他大学の科目履修が時間的、制度的に難しい状況となり受講者数は減少している。このため、国において単位互換を促進する形で大学設置基準の解釈を見直しされたことを背景に、以下のように改革を進めている。

1. 大学設置基準の見直しに伴う事業の改善

- (1) 見直された運用方針に伴う協定校における今後の単位互換制度実施に向けた周知・助言
- (2) 協定校における学内規程及び関連ポリシー等の整備・点検の要請

2. 京都ならではの特色ある科目の展開と加盟校・学生の参加の促進

- (1) 「京都世界遺産PBL科目」「京都ミュージアムPBL科目」における協定校及び受入れ先との連携促進と安定運営
- (2) 協定校との連携促進による特色ある科目の拡充と広報強化

3. グローバル科目の開設及び求められるeラーニングの仕組みづくり

- (1) 大学の国際化に即したグローバル科目開設に向けた検討
- (2) 新たなIT技術やデジタルコンテンツを活用したeラーニングの仕組みづくりの検討

4. リカレント教育の推進 「大学のまち京都」の人材育成力の向上

- (1) 加盟校等におけるリカレント教育の促進、新たなプログラムの開発に資する事業
- (2) 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座、教職等資格取得科目の充実

<実績>

1. 2021年度単位互換科目への出願状況

(1) 単位互換への提供科目数について

2021年度単位互換提供科目数は345科目で、2020年度当初提供科目比で56科目減(-14%)となり、過年度からの減少傾向は続いている。加盟校における近年の科目充実や履修単位数制限等の影響に加え、2020年度以降新型コロナウイルス感染症対応として、多くの大学で授業の受講者数を制限する傾向があることによる影響が大きいものと考えられる。2021年度後期提供科目では21大学・計114科目の募集がされ、2020年度に比べ6大学・18科目増となった。

さらに、所定の条件を満たした補助金対象科目数で見ると、2021年度からの新たな「プラザ・オンライン科目」と従来からの「プラザ推奨科目」をあわせ計81科目が提供され、2020年度の計44科目と比べ37科目増(+45%)の科目提供があった。

◇2021年度単位互換提供345科目における授業形式内訳

補助金対象「プラザ・オンライン科目」	科目数	補助金対象外	科目数
対面授業(プラザ)	24科目	対面授業(オンキャンパス)	221科目
対面授業(プラザ)・オンライン併用	11科目	対面授業(オンキャンパス)・オンライン併用	42科目
オンラインのみ	46科目	その他	1科目
2021年度総提供345科目のうち補助金対象科目計81科目(総提供科目の23.4%)			
※参考 2020年度総提供401科目のうち補助金対象科目計44科目(総提供科目の10.9%)			

(2) 単位互換科目への出願者数および履修許可者数について

前期出願期間(3/18~4/9)の延べ出願者数は704名、後期出願期間(9/3~9/17)の延べ出願者数は延べ257名の計961名、2020年度比150名減(▲13.5%)となった。

要因として、2020年度に送り出し・受け入れを中止していた大学からの延べ出願者数が微増した大学もあったが、これまで特に延べ出願者数が多かった立命館大学305名減(前期▲305名減・後期出願無し)、龍谷大学38名減(前期▲8名・後期▲30名)、京都先端科学大学19名減(前期+7名・後期▲26名)、京都産業大学16名減(前期+1名・後期▲17名)の延べ出願者数減が影響した。

一方で、延べ履修許可者数は870名で2020年度比187名増(+27%)となった。

**2021年度単位互換提供科目数・出願者数・履修許可者数 ( )内は2020年度数**

協定大学数	提供大学数		提供科目数	延べ出願者数	延べ出願者数 前年度比	延べ履修許可 者数	延べ履修許可 者数前年度比
大学 34 短期大学 11 合計 45※1	大学 33、短期大 学 6、合計 38 (大学 31、短期 大学 7、合計 38)	前期	345 (401)	704 (844)	-140 (-356)	627 (442)	+185 (-628)
		後期	114※2 (97)	257 (267)	-10 (62)	243 (245)	-2 (44)
		合計	345	961	-150	870	183

※1 短期大学部を併設しているところはそれぞれを別カウントした。

※2 後期科目数については前期で科目数を確定し後期はその中で再募集を行った。

(3) 新履修管理システムへの移行について

単位互換制度履修管理システムのe京都ラーニングについて、2021年11月16日(火)に新たなシステム「単位互換・京カレッジポータルサイト」に移行した。移行により今後のシステム費用が大幅に削減できるとともに、単位互換事務担当者の業務効率化や、京カレッジ生への情報通知機能実装等に活かせることが見込まれる。

(4) 教務系職員ミーティング第1回の開催について

単位互換・京カレッジ事務担当者会議から派生させた職員交流の場として「教務系職員ミーティング」第1回を1月19日(水)にオンライン開催した。計12大学22名の参加があり、京都市大学政策部長からの講演およびグループディスカッションを実施した。コロナ禍における貴重な交流機会として満足度が高く、継続開催のニーズと期待も大きいと考えられる。

(5) 2022年度科目提供

提供科目数は348科目(2021年度345科目)。内、オンラインのみで実施される科目は32科目(2021年度は46科目)となった。

**2. 2021年度京都世界遺産PBL科目・京都ミュージアムPBL科目の履修登録・科目実施状況**

(1) 履修登録状況

「京都世界遺産PBL科目」は2015年度に6大学・6世界遺産による7科目からスタートし、7年目となる。2021年度は4大学4世界遺産5科目(前年度:6大学6世界遺産7科目)の提供が決定した。

受講登録者は、全体93名(前年度:85名)、その内、単位互換生は27名(前年度:16名)の受講があり、前年度より開講科目数が少ないにもかかわらず受講者数が増加した。

「京都ミュージアムPBL科目」は、2020年度に新たなPBL科目として開講し、今年度で2年目となる。2021年度は、4大学・4受入先4科目(前年度:4大学・4受入先4科目)の提供が決定した。

受講登録者は全体78名(前年度:53名)、その内、単位互換生は24名(前年度:6名)の受講となり、前年度と比べて単位互換生の受講者数が大幅に増加した。

(2) 2021年度世界遺産PBL科目・京都ミュージアムPBL科目の全体講義、成果発表等について

①全体講義

全体講義については新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止した。

②インタビュートレーニング、プレゼンテーショントレーニングについて

インタビュートレーニングとプレゼンテーショントレーニングは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、オンラインでの開催とした。受講者数は、インタビュートレーニング計 63 名、プレゼンテーショントレーニング計 33 名の合計 96 名(内訳：開講大学学生 54 名、単位互換生計 42 名)であった。参加者アンケートの結果、「満足 (89.2%)」「どちらかといえば満足 (10.8%)」と高い満足度が確認できた。

③成果報告会について

京都世界遺産 PBL 科目・京都ミュージアム PBL 科目の成果報告会は、12 月 12 日 (日) にオンラインにて開催した。

当日は京都世界遺産 PBL 科目計 67 名 (学生：55 名、担当教員：6 名、世界遺産所有者：3 名、関係者 3 名)、京都ミュージアム PBL 科目計 42 名 (学生：34 名、担当教員：4 名、ミュージアム関係者：3 名、関係者 1 名) の参加があった。

◇2021 年度世界遺産 PBL 科目 (5 科目) 履修登録者数

受入先 世界遺産	開設大学	科目名	担当教員	受講数 ( ) 内単互生	2020 年度
上賀茂神社	京都産業大学	京都の世界遺産 PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	吉野 秋二	24 (9)	閉講
清水寺	立命館大学	特殊講義 I 「清水寺の△△の○○ (良い点) を磨け!、もしくは□□ (困っている点) を救え!」	宗本 晋作 青柳 憲昌	7 (4)	8 (1)
仁和寺	京都光華女子大学	産官学連携プロジェクト：仁和寺で学ぶ京都の観光と文化財～京都世界遺産 PBL～	朝比 奈英夫	14 (6)	22 (3)
二条城	同志社大学	世界遺産 PBL 講座～価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	多田 実	25 (5)	8 (0)
清水寺	立命館大学	特殊講義 (教養 E) I 「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	23 (3)	14 (1)
醍醐寺	京都橘大学	2021 年度開講なし			8 (0)
延暦寺	京都文教大学	2021 年度開講なし			25 (11)
				93 (27)	85 (16)

◇2021 年度世界遺産 PBL 科目 (5 科目) の大学別履修登録状況 (単位互換生の所属大学)

受入先	上賀茂神社	清水寺	仁和寺	二条城	清水寺	合計
開設大学	京都産業大学	立命館大学	京都光華女子大学	同志社大学	立命館大学	
大谷大学	1	0	1	0	0	2
京都外国語短期大学	0	0	0	0	1	1
京都産業大学	-	0	1	0	0	1
京都女子大学	2	2	0	3	1	8
京都府立大学	1	0	0	1	0	2
同志社大学	1	2	0	-	0	3
花園大学	2	0	0	0	0	2
立命館大学	1	-	4	0	-	5
龍谷大学	1	0	0	1	1	3
科目開設大学	15	3	8	20	20	66
合計	24	7	14	25	23	93

◇2021 年度京都ミュージアム PBL 科目 (4 科目) 履修登録者数

受入先	開設大学	科目名	担当教員	受講数 ( ) 内単 互生、	2020年度
京セラ美術館	大谷大学	フィールドワーク特殊演習 (PBL)	宮崎 健司	22 (5)	18 (3)
京都国際マンガ ミュージアム	京都精華大学	コラボレーション概論 A (京都ミュージアム企画 デザイン演習)	葉山 勉	22 (8)	14 (1)
京都市動物園	同志社大学	ミュージアム PBL 科目：感動を伝えるサイエン スコミュニケーション：動物園をフィールドに	服部 篤子	26 (6)	11 (0)
京都鉄道博物館	立命館大学	特殊講義 (総合) (BA)/京都鉄道博物館に地元京 都からの来館者を増やすにはどうしたらよいか、 調査して提案しよう。	近藤 宏一	8 (5)	10 (2)
計				78 (24)	53 (6)

#### ◇2021年度京都ミュージアム PBL 科目 (4科目) 大学別履修登録状況 (単位互換生の所属大学)

受入先	京セラ美術館	京都国際マンガ ミュージアム	京都市動物園	京都鉄道博物館	合計
開設大学	大谷大学	京都精華大学	同志社大学	立命館大学	
大谷大学	-	0	1	0	1
京都外国語大学	0	0	1	1	2
京都教育大学	0	1	0	0	1
京都経済短期大学	0	0	0	1	1
京都産業大学	0	2	0	1	3
京都女子大学	2	0	1	0	3
京都先端科学大学	2	0	0	0	2
京都府立大学	0	0	1	0	1
種智院大学	0	0	1	0	1
同志社大学	0	4	-	1	5
立命館大学	0	0	1	-	1
龍谷大学	1	1	0	1	3
科目開設大学	17	14	20	3	54
合計	22	22	26	8	78

### 3. 2022年度「プラザ推奨科目」の採択について

2021年7月から募集していた2022年度「プラザ推奨科目」について、新規申請は0科目、継続申請は計14科目であった。2021年12月3日第5回教育事業企画検討委員会(書面会議)において、全14科目の継続が確認された。

### 4. グローバル科目の開設および求められるeラーニングの仕組みづくり

#### (1) グローバル科目の開設について

既存のグローバル系科目への2021年度単位互換出願促進を目指した広報強化のため、国際事業部「留学生スタディ京都ネットワーク」と連携し、財団「海外研修プログラム」のFacebookにて各PBL科目情報の発信を行った。2020年度に単位互換出願者0名であった海外留学科目に7名の出願者があった。

#### (2) eラーニングの仕組みづくりについて

単位互換事業においてはオンライン授業がもつ「受講機会拡大」「教育の質向上」の可能性を重視し、同授業の単位互換提供を促進するため、新たな補助金の枠組み「プラザ・オンライン科目」を制定した(従来の「プラザ科目」からの発展。2020年11月10日教育事業企画検討委員会にて承認)。これにより、従来キャンパスプラザ京都で実施する科目のみを支給対象としていた補助金について、キャンパスプラザ京都実施とオンライン実施を併用する科目、およびオンライン実施のみの科目にも対象を拡大した。

2021年度単位互換提供科目全345科目中のうち、「プラザ・オンライン科目」は計81科目であった(全体の23.4%)。内、「オンラインのみ」は46科目であった(全体の16.6%)。

## 5. 教職等資格取得に必要な科目の履修を支援する単位互換科目充実

### (1) 日曜講座開設による京都全体の教職課程の充実

これまで京都教育大学のオンキャンパス科目として開講されてきた教職科目が、2020年度から日曜日に集中講義形式で行うプラザ科目(「教職日曜講座」)として提供される方針となっていた。しかしながら、2020年度に開講予定の4科目8単位については新型コロナウイルス感染拡大の影響により提供取りやめとなったことから、予定を1年後ろ倒しし、2021年度に4科目8単位の科目提供がなされた。

### 【実施スケジュール(主要事項)】

3月18日～4月9日	出願期間
4月16日	履修可否通知メール配信(AM5:00～)
5月23日	PBL科目インタビュートレーニング講座
7月6日	第1回教育事業企画検討委員会
7月16日	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月16日～9月19日	前期・夏期集中科目対象アンケート
7月30日～8月5日	前期試験・レポート提出期間(基本)
8月6日～9月20日	夏期集中科目開講
9月3日～9月17日	後期出願期間(この期間内で各大学で期間設定)
9月23日	後期科目開講開始
9月18日～9月23日	科目提供大学履修可否入力期間
9月24日	単位互換後期履修可否通知メール配信(AM5:00～)
9月25日	2022年度プラザ推奨科目の「新規・更新」「継続」申請締切
10月17日	PBL科目プレゼンテーショントレーニング
11月11日	第2回教育事業企画検討委員会
11月19日	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
12月12日	PBL科目全体成果発表会
11月19日～1月17日	2022年度単位互換・京カレッジシラバス入力期間
12月23日～1月4日	冬期講義停止期間
1月19日	教務系職員ミーティング第1回
1月下旬～2月下旬	後期・通年科目対象アンケート
1月23日～1月29日	後期試験・レポート提出期間
2月7日	科目提供大学から学生所属大学への成績通知締切
2月中旬	シラバス校正・修正期限、キャンパスプラザ教室確保
3月1日～3月3日	履修管理システムメンテナンス期間
3月4日	各種チラシおよびウェブサイト学生公開、大学案内
3月下旬～4月上旬	2022年度単位互換科目出願期間(この期間内で各大学で期間設定)

## (2) 生涯学習事業(京カレッジ)

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

京カレッジにおいて、「大学講義」、「市民教養講座」、同講座における「京都力養成コース」、「教養力養成コース」の4分野で約200科目を開講し、出願者は延べ1,200名規模となり、特にシニア層で利用が中心となっている。また、加盟校の生涯学習プログラムを紹介する大学リレー講座によって、市民を加盟校プログラムの受講に繋ぐなどを含めて、市民の学ぶ意欲に応える加盟校の教育環境の充実を促進している。第5ステージでは、職業人や社会人の継続的な学び＝「リカレント教育」の環境充実が大学に求められている。近い将来において、加盟校がその特徴を活かした形で、社会人の生涯を通じての「学びの継続」に応える大学に変わることを目標に、以下のように新たな取組みを展開する。

### 1. 加盟校等におけるリカレント教育の実践促進

- (1) 加盟校が実施するリカレント教育の先行事例調査を行う
- (2) 加盟校プログラムの市民紹介企画を計画する

### 2. 社会人、シニア層を対象とした新たな大学プログラムの開発に資する事業の実施

- (1) 社会人対象リカレント教育の実験的プログラムを検討する

### 3. 京カレッジ、京都学講座、大学リレー講座の充実

- (1) 大学連携による京都学講座、大学リレー講座の実践促進
- (2) 京カレッジでの幼保特例プログラム等資格系の展開検討

<実績>

#### 1. 2021 年度生涯学習事業京カレッジ出願状況について

(1) 提供科目数、出願者数、受講許可者数等について

①4 分野で大学講義・公開講座を 198 科目（前年度 224 科目）提供する。

- 1) 大学講義(A~I) 単位修得も可能な科目(科目等履修生・聴講生)
- 2) 市民教養講座(J) 健康・芸術・文化など幅広く学べる講座
- 3) 市民教養講座 京都力養成コース(K) 京都をより深く学べるコース
- 4) 市民教養講座 教養力養成コース(L) フィールドワークを通じて文化力・地域力(地域人材の育成)の向上を目的としたコース ※2017 年度より

②出願者は実数で前期 703 名(2020 年度前期 627 名)、延べ数で前期 1,157 名(2020 年度前期 1,070 名)となり、いずれも前年度比 1 割程度の増加となった。後期は前期募集にて定員に満たなかったものを中心に 85 科目(2020 年度 63 科目)の提供を受け 7/17 に公募情報を公開し、8/10~8/24 の期間で出願受付を行った。その結果、新規出願者数は 11 名(前年度比+4 名)、延べ出願者数は 13 名(前年度比▲12 名)であった。

③新たに「京カレッジ WEB 出願システム」を構築し、従来の紙出願票に加え WEB で出願できる仕組みを整え、募集ガイドへの詳細なマニュアル掲載、京都学講座内での直接アナウンス、各種チラシ・財団 HP への掲載等の告知活動を展開した。結果、延べ 1,157 出願中、WEB 出願 600(51.9%)、紙出願 557(48.1%)と、WEB 出願数が過半数を超えた。

#### ◇2021 年度京カレッジの出願状況について ※( )内は 2020 年度数

科目提供大学数	提供科目数	出願科目数	出願者数						受講許可者延べ数
			実数			延べ数			
			前期	後期	合計	前期	後期	合計	
26(29)大学・短期大学 1(2)機関	198 (224)	92 (97)	703 (627)	11 (7)	714 (624)	1,157 (1,070)	13 (25)	1,170 (1,070)	672 (723)

(2) 2022 年度京カレッジの科目提供および出願について

2022 年度は 179 科目が提供され、2021 年度 198 科目より 19 科目の減少となった。一方、2022 年度の出願者数は 1249 件と増加した。リカレント教育プログラムの新規実施が主な増加要因となっている。

#### 2. 2021 年度京都学講座「“ファクターX”をさかのぼる—京都と疫病—」の実施状況について

(1) 京カレッジ・京都学講座開講記念講座の実施について

- ・ 2021 年 3 月 13 日(土)に京都大学 IPS 細胞研究所長・山中伸弥氏、歌人・永田紅氏、京都産業大学教授・小林一彦氏を招聘のうえ実施した。山中氏はオンラインでの参加となった。WEB 申込 1,098 件+はがき申込 360 件の中から抽選により 130 名の受講者を決定した。

(2) 基本講座および実地講座に関わる状況について

- 1) 2021年度は感染症対策として定員を従来の500名から260名に減じて募集した結果、出願者数は496名であった(2020年度は388名)。コロナ禍で定員を縮小した中で2019年度水準(523名)の出願者数を確保できた要因としては、時勢に合った講座テーマが多くに関心を呼んだこと、WEB出願ができるようになったこと等が挙げられる。
- 2) 感染症拡大による祇園祭巡行中止と、緊急事態宣言発令(4/25)による5/11までのキャンパスプラザ京都利用停止を受け、教育事業企画検討委員会および京都学企画検討委員会(いずれも書面会議)において、7/20予定の実地講座(祇園祭関係)の中止と5/22予定の基本講座の延期を決定した。  
 なお、今後の緊急事態宣言が発令にかかわる対応として、キャンパスプラザ京都が利用可であれば(原則)開催、利用不可であれば延期を基本方針とすることを上記2委員会(いずれも書面会議)で決定した。
- 3) 8/20～9/30において京都府に緊急事態宣言が発出され、同期間においてキャンパスプラザ京都が利用停止となったことを受け、8/20～9/30の3講座の開講を延期した。なお、緊急事態宣言解除による会場利用再開にともない、10/2から講座を再開した。
- 4) 実地講座②の定員は午前・午後各30名、計60名を予定していたが、感染予防の観点から講師側と相談のうえ、午前・午後各15名、計30名へと変更した。当日は午前10名、午後13名が受講した。

◇2021年度京都学講座実施状況について

回	開講日	テーマ	講師 *敬称略	備考	参加者 上午前 下午後	参考:2020 同時期 上午前 下午後
特別	3/13	「ファクターX」をさかのぼる—京都と疫病—	山中 伸弥 永田 紅 小林 一彦		104	-
1	6/5	神道の祓いを通じて	乾 光孝		95 84	140 128
2	6/26	祇園祭の創始と変遷 —疫病退散のまつりから巨大都市祭礼へ—	八木 透		98 91	121 107
3	7/24	王朝の庶民生活と疫病 —京都のマチと人の暮らし—	井上 満郎	5/22 から 変更	98 89	113 114
4	7/31	病を運に呼びこむ道長とその栄華 —同母兄の相つぐ死、三条帝の追い落とし、「望月の歌」—	臈谷 寿		103 86	123 104
5	10/2	国宝「病草紙」 —平安絵巻の問題作—	井並 林太郎		99 83	87 75
6	10/16	学都京都の疱瘡(ほうそう)と医学	香西 豊子		88 72	103 86
7	10/30	中世室町時代の疫病 —13代将軍足利義輝を中心に—	葉山 美知子		98 81	100 84
8	2/19	ヨーロッパの中近世を襲った脅威のパンデミック「黒死病」	石坂 尚武	8/28 から 変更	81 60	98 87
9	2/26	京都の盆行事 祖霊とともに死霊を送る	村上 忠喜	8/21 から 変更	85 60	110 88
10	3/19	古代の疫病について考える —平城京・平安京の流行病—	澤田 瞳子	10/30 から 変更		115 105
実地 ①	7/20	御霊会と山鉾巡行 —「鯉山」の宝物のなぞ—	杉田 繁治	開講中止		-
実地 ②	12/4	神社境内から円山公園へ、「防疫」の聖地・祇園社の変容をたどる —疫病と都市住民の関係は、場所をどのように変えたか—	梅林 秀行 川島 智生		10 13	13 9

※「出席者数」には学生特別枠（基本講座のみ）での参加も含めている。

### 3. 2021 年度大学リレー講座の実施状況について

#### (1) 実施状況

- 1) 京都学、宗教、歴史・文学、健康、自然科学への関心が高く、それを意識した講義テーマで 2021 年度は 11 大学 11 講座で実施。
- 2) 平均受講者数は 2016 年度約 60 名、2017 年度は約 140 名、2018 年度・2019 年度は約 210 名と推移しており、市民への認知度は高まっている。2020 年度は感染症対策として定員 130 名とした結果、受講者数平均は 103 名であった。
- 3) 感染症拡大による緊急事態宣言発令(4/25)による 5/11 までのキャンパスプラザ京都利用停止を受け、教育事業企画検討委員会(書面会議)において、5/15 および 5/29 予定の講座の延期を決定した。  
なお、今後の緊急事態宣言が発令にかかわる対応として、キャンパスプラザ京都が利用可であれば(原則)開催、利用不可であれば延期を基本方針とすることを上記委員会(書面会議)で決定した。
- 4) 8/20～9/30 において京都府に緊急事態宣言が発出され、同期間においてキャンパスプラザ京都が利用停止となったことを受け、9/4 京都文教大学、9/18 京都精華大学、9/2 京都文教短期大学の計 3 講座の開講を延期した。
- 5) その後、2/5 京都文教大学、2/26 京都文教短期大学の講座については、感染蔓延を踏まえた大学判断により中止することとなった。

#### ◇2021 年度大学リレー講座実施状況について（無料・申込不要 定員 130）

回	講座日	開講大学	テーマ	担当教員	備考	参加者
1	6/12	花園大学	禅の修行は厳しい？－日本における禅修行の確立－	小川 太龍		87
2	6/19	大谷大学	平安京成立前史－都市史から見た山背遷都－	大艸 啓		107
3	7/3	平安女学院大学	台湾バナナと日本－繁栄したバナナ産業の記憶－	古関 喜之		89
4	7/17	京都橘大学	幸齢のすすめ－現代における幸福な老いとはなにか－	岸 太一	5/29 から変更	107
5	8/7	龍谷大学	いのちに寄り添う仏教者たち	打本 弘祐		86
6	10/9	京都女子大学	健康長寿のための栄養と生活習慣	中山 玲子	5/15 から変更	109
7	11/20	種智院大学	生き神信仰が伝える宗教文化	スダン・シャキヤ		91
8	11/27	同志社女子大学	観光と地域活性化－京都郊外地域における可能性－	天野 太郎		76
9	2/5 →中止	京都文教大学	認知症とともに生きる－認知症にやさしいまちの実現に向けて－	平尾 和之	9/4 から変更	中止
10	2/19	京都精華大学	豊臣秀吉と地震－慶長伏見地震を中心に－	吉永 隆記	9/18 から変更	78
11	2/26 →中止	京都文教短期大学	“老いに勝つ” 身体(からだ)づくり－運動と食事から－	森井 秀樹	9/25 から変更	中止

### 4. 2021 年度大学リカレント教育リレー講座の実施状況について

#### (1) 実施状況

##### 1) 2021 年度大学リカレント教育リレー講座の実施について

大学リカレント教育リレー講座は、主に「働く人・世代」を対象として、加盟校が実施しているリカレント教育プログラムの内容や成果を受講希望者ならびに社会に広く発信し、大学で実施される本体プログラムの受講に繋げ、企画全体を通して「大学のまち京都」における学生と社会人との学びあい、大学の特色を生かしたリカレント教育の取り組みを発信し社会的認知度を高めていくことを目的

に大学間のリレー方式にて計 6 講座を実施した。

2) 各回の受講者数は、京都女子大学 33 名、立命館大学 16 名、京都精華大学 10 名、京都工芸繊維大学 37 名、京都橘大学 45 名、同志社大学 6 名の計 148 名の参加があった。

#### ◇2021 年度大学リカレント教育リレー講座実施状況について

日程	大学名	講座テーマ	担当講師	開催方法	備考	受講者
6/5	京都女子大学	日本の社会保障制度について	岡崎 昌枝	オンライン		33
6/12	立命館大学	「フォスタリング・ソーシャルワーク専門職講座」について	徳永 祥子	オンライン	開催方法をオンラインのみに変更	17
6/19	京都精華大学	デジタルメディア制作の領域での働き方、働くための技術とは。	古谷 彩恵 小野 友資	オンライン		10
7/10	京都工芸繊維大学	歴史的建造物を現代に生かす技術とデザイン	清水 重敦	オンライン		37
7/17	京都橘大学	消費者行動の心理学	永野 光朗	対面 オンライン		対面 9 オンライン 36
7/24	同志社大学	社会人の学び直しに対応した同志社大学のプロフェッショナルプログラム	武蔵 勝宏	オンライン		3

#### 5. 2022 年度の生涯学習事業にむけて

(1) 京カレッジ・京都学講座開講記念講座、基本講座、実地講座について

2021 年 10 月 20 日第 5 回京都学企画検討委員会およびその後の調整を経て、次年度は「復活の京都」を総合テーマに、開講記念講座 1 講座、基本講座 10 講座、実地講座 2 講座の登壇候補者及び各回テーマが決定した。

・2022 年 3 月 5 日の開講記念講座については市民しんぶん等により広報を開始し、WEB または往復はがきにて 2 月 18 日を締め切りとして応募受付を行った。応募数は WEB : 410 件、往復はがき : 102 件の計 512 件の応募があり、その内受講当選者 130 名を抽選により決定した。

#### ◇2022 年度京都学講座について

講座種別	開講予定	所属等	氏名・所属
特別講座	3/5	京都のリバイバル	井上 章一 (国際日本文化研究センター 所長) 川島 智生 (京都華頂大学 現代家政学研究所 教授)
基本講座	4/23	賀茂競馬 930 年ー伝統と継承ー	堀川 潤 (一般財団法人賀茂県主同族会 理事長)
基本講座	5/28	災害からの「復活」と神仏への祈り ー御霊信仰・天神信仰の成立・展開と災害ー	竹居 明男 (同志社大学 名誉教授)
基本講座	6/4	奥深い芸の世界へ ー恵美華さんに聞くー	恵美華 (美の八重芸妓)
基本講座	6/11	祇園祭 鷹山の復活 ー196 年の眠りからの覚醒ー	山田 純司 (鷹山保存会 理事長)
基本講座	7/2	明治維新期の西本願寺	近藤 俊太郎 (龍谷大学 非常勤講師)
基本講座	7/2	明治の工業都市京都 ー首都から工業都市へー	川島 智生 (京都華頂大学 現代家政学研究所 教授)

基本講座	7/30	子育てのまち京都の夏 地藏盆 －その現状と将来－	神谷 潔 (スタジオ北山山荘 写真家) 大谷 栄一 (佛教大学 社会学部 教授)
基本講座	9/3	京町家今昔 －その変遷と現在に伝える知恵－	荒木 正亘 (株式会社アラキ工務店 会長) 川島 智生 (京都華頂大学 現代家政学研究所 教授)
基本講座	9/10	戦国期京都の都市構造 －応仁・文明の大乱からの復活－	山田 邦和 (同志社女子大学 現代社会学部 教授)
基本講座	10/8	復活の小劇場－THEATRE E9 KYOTO 新しい公共としての民間劇場	吾郷 賢 (THEATRE E9 KYOTO 芸術監督)
実地講座	7/9	日本庭園と京都の近代－南禅寺界隈別荘園 群と琵琶湖疎水 地域の歴史がはぐくんで きた「京都岡崎の文化的景観」	加藤 友規 (植彌加藤造園株式会社 代表取締役社長)
実地講座	12/24	京都市京セラ美術館 －美術館に見る京都の復活の歴史と今－	吉中 充代 (京都市美術館学芸員)

## (2) 2022年度大学リレー講座の開講について

実施方針が2021年11月11日の第4回教育事業企画検討委員会で承認され、2021年12月13日(月)を期日として募集した結果、講座一覧が下記のとおり決定した。

開講予定	大学	タイトル	講師名
6/25	京都女子大学	生活習慣病(非感染性疾患)予防・改善のための栄養・食生活	中山 玲子
5/7	佛教大学	いのちと健康－仏典と宗教文化を背景に－	中島 小乃美
5/21	花園大学	承久の乱と京都－京都からみた鎌倉時代の変容－(仮)	生駒 孝臣
10/1	大谷大学	奈良時代の聖徳太子信仰	宮崎 健司
10/22	平安女学院大学	明治初めの京都のまちづくり	高橋 義人
10/29	京都精華大学	中世京都の飢餓問題	吉永 隆記
11/5	同志社女子大学	『都名所図会』からみる近世京都の景観	天野 太郎
11/12	京都文教大学	旅する少女歌劇団 ー日本少女歌劇座の35年ー	鶉飼 正樹
11/26	種智院大学	平安京の慈善救済と仏教－悲田院を中心に－	佐伯 俊源
12/10	龍谷大学	僧侶はなぜ夢を記録したか？－『明恵上人夢記』の宗教世界－	野呂 靖

## (3) 2022年度京カレッジ市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)の採択について

2021年7月から募集していた2022年度「市民教養講座(京都力養成コース・教養力養成コース)」について、2021年11月11日第4回教育事業企画検討委員会において全5科目の開講が確認された。

## (4) リカレント教育講座について

### 1) リカレント教育関係の推進

・第5ステージプランとして大学におけるリカレント教育を推進するため、2019年6月25日第1回教育事業企画検討委員会において、財団のリカレント教育の推進方針(定義とビジョン)と「リカレント教育企画検討委員会」の設置と役割について決定した。

【財団で検討するリカレント教育の定義】「現役で働く人・世代」が、教養的なものよりも、様々な職種での力量形成を含めた「働くことに係る学び直しや継続的な学び」とする。

【財団のリカレント教育推進のビジョン】10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年

年齢階級の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場としても機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り込まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。財団はこのビジョンの下、加盟校支援と加盟校の取り組みをリードする事業を行う。

## 2) リカレント教育推進にかかわる加盟大学担当者とのネットワーク形成

各大学で推進されているリカレント教育は分野・内容が多岐に渡っており、担当する部署についても、社会・地域連携、大学院、研究、総務部門など大学によって様々である。2021年度に大学リカレント教育リレー講座（6大学6講座）の実施を通して加盟大学担当者とのネットワークの形成に努めた。

## 3) 2021年度リカレント教育企画検討委員会について

2022年度から体系的な大学コンソーシアム京都主催プログラムの新規実施を目的として開講する。第3回リカレント教育企画検討委員会（12月15日開催）にて「働く人のためのデータサイエンス講座」と「現代の教養講座『宇宙移住の現在・未来について』」の2プログラムの開講が決定した。

その他、「大学リカレント教育リレー講座」が担った大学の特色を生かしたリカレント教育の取り組みの発信の役割を引き継ぎ、発展させるものとして、2022年度に向けて「大学リカレント教育講座ポータルサイト」を構築することを確認した。

## 4) 2022年度リカレント教育プログラムの広報について

産業界に向けた情報発信のため、京都府、京都商工会議所、京都工業会、京都中小企業団体中央会、京都産業21、京都中小企業家同友会、KES環境機構、京都高度技術研究所へ訪問し協力依頼を行った。

その結果、京都商工会議所（メルマガ登録者約6,000名）、京都産業21、滋賀県中小企業団体中央会（会員80社）、京都市地域企業イノベーション推進室のメルマガジンを通じて情報発信を行った。

その他、FM京都を通じた広報や記者クラブへのプレスリリース・ASAGAOメール・加盟校への案内等、各方面に積極的な広報を行った。

## 【実施スケジュール（主要事項）】

4月1日～5月上旬	履修可否通知（各大学から出願者へ文書にて通知）
4月8日	京都学講座受講許可者発送
4月28日	京都学講座 受講料振込期日 受講許可者最終決定
5月15日<延期>	大学リレー講座開講日
5月下旬	京都学講座実地講座可否通知
5月下旬	京カレッジ会員証の発行
5月22日<延期>	京都学講座開講日
5月29日<延期>	大学リレー講座開講日
6月5日	京都学講座開講日
6月12日	大学リレー講座開講日
6月19日	大学リレー講座開講日
6月26日	京都学講座開講日
7月3日	大学リレー講座開講日
7月6日	第2回教育事業企画検討委員会
7月16日	第1回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
7月17日	大学リレー講座開講日（日程変更分）
7月18日	後期出願科目発表
7月20日	第2回京都学企画検討委員会
7月20日<中止>	京都学講座 実地講座①（祇園祭）
7月24日	京都学講座開講日（日程変更分）
7月31日	京都学講座開講日
8月7日	大学リレー講座開講日

8月19日	第3回京都学企画検討委員会
8月10日～8月24日	後期出願期間
8月21日<延期>	京都学講座開講日
8月28日<延期>	京都学講座開講日
9月1日	出願者データアップロード、出願票の開講大学への送付
9月4日	大学リレー講座開講日<開催延期>
9月11日<延期>	京都学講座開講日<開催延期>
9月18日<延期>	大学リレー講座開講日
9月25日<延期>	大学リレー講座開講日
10月20日	第4回京都学企画検討委員会
10月2日	京都学講座開講日
10月9日	大学リレー講座開講日（日程変更分）
10月16日	京都学講座開講日
10月30日	京都学講座開講日
11月11日	第2回教育事業企画検討委員会
11月20日	大学リレー講座開講日
11月27日	大学リレー講座開講日
11月19日	第2回単位互換・京カレッジ事務局担当者会議
12月4日	京都学講座 実地講座②（円山公園）
11月19日～1月17日	シラバス入力期間
1月中旬～	京カレッジ・京都学講座2022年度公募ニュースリリース開始
2月上旬	ポスター・チラシ・京都学リーフレット配布開始（市・関連施設）
2月5日	【中止】大学リレー講座開講日（日程変更分）
2月中旬	シラバス校正・修正締切
2月中旬	京カレッジ・京都学講座新聞広報（京都・読売・朝日）
2月中旬	京カレッジ・京都学講座開講記念講座の応募締切
2月19日	京都学講座開講日（日程変更分）
2月19日	大学リレー講座開講日（日程変更分）
2月26日	京都学講座開講日（日程変更分）
2月26日	【中止】大学リレー講座開講日（日程変更分）
3月19日	京都学講座開講日（日程変更分）
3月5日	京都学講座特別講座
3月上旬	2022年度科目公表、募集ガイド・大学リレー講座チラシ配布開始
3月上旬～下旬	出願期間
3月上旬～中旬	2022年度京カレッジ・京都学開講記念講座
3月下旬	出願票・出願者データの各大学への送付

### (3) インターンシップ事業

#### 【事業計画の概要および実績】

<概要>

財団によるインターンシップ・プログラムは、これまで23年にわたり、学生の大学から社会への接続を目的としたキャリア教育として大学連携によって展開している。近年は加盟校、企業・団体がそれぞれインターンシップを行うようになり、新卒採用目的を含めてインターンシップが普及したことから、財団による比較的期間が長いプログラムへの学生参加と受入協力の企業・団体が減少している。一方で、学生が十分な企業研究や職業意識の形成ができていない状態での進路選択が多いことへの懸念に加え、京都地域の産業活性化に資するインターンシップのあり方の研究の必要性も出されている。このような状況を踏まえ、学生が職業観を深め、京都地域の各種産業への関心を高め、受入先団体の組織改善

に資するという、京都全体での人材育成と社会活性化を促進するインターンシップを進める。

### 1. 学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシップ・プログラムの促進

- (1) 各コースの教育目標とその方法について必要な見直しを行う。
- (2) 学生の専門分野を活かした社会経験と受入れ先の組織課題の進捗に係ることのできるプログラムの構築
- (3) 優れた実習プログラムのモデル化や、受入れ先間の経験交流を促進し、プログラム全体の質向上を図る。
- (4) 2年生次生向けのプログラム説明や広報の強化
- (5) コーディネーターと事務局の能力発揮を含む体制づくり

### 2. 加盟校のインターンシップ・プログラムの今後の方向性調査と連携の推進

- (1) 加盟校とのプログラム内容に係わる接点の拡大
- (2) 加盟校・財団の連携による学生広報の強化

### 3. 優れた実習プログラムを実施する受入れ先企業・団体と大学との接点の拡大

- (1) 優れた受入れ先への感謝状贈呈の継続実施の方法を検討する。
- (2) 受入れ先と大学の接点の拡大

### 4. 修了生（OB・OG）との継続的連絡体制の構築と現役学生への教育支援

- (1) 修了生（OB・OG）と事務局の連携強化
- (2) 修了生（OB・OG）と現役生への支援強化

### 5. 新たなインターンシップ・プログラムの調査研究

- (1) 外部団体とのインターンシップについての意見交換の機会の設定
- (2) 優れたインターンシップを実施する大学(加盟校以外も含む)、団体等への積極的な情報収集

### 6. メディア等を活用した情報発信

- (1) 外部団体等積極的な関係強化
- (2) メディアを通じた発信力の向上

#### 1 受入連携先件数

登録件数は、新型コロナウイルス感染症の影響により特にビジネスコースにおいての減少幅が大きく、業種別では、「観光・旅行」「ホテル旅館」「アパレル」への影響が顕著であった。また、登録後辞退の受入れ先が、ビジネスコースで14件、パブリックコースで9件あり、実質的な受入れ先は113件であった。長期プロジェクトコースは例年並みの登録となった。

<2021年度 登録団体数等> ※（ ）は2019年度実績

コース名	登録団体数		受入れ団体数		受入率	
ビジネス	103	(163)	71	(85)	68.9%	(52.1%)
パブリック	33	(36)	19	(20)	57.6%	(55.5%)
長期プロジェクト	14	(13)	7	(8)	50.0%	(61.5%)

#### 2 オンライン説明会の実施結果

##### (1) プログラム説明会・相談会

開催日時 4月17日(土) 18:00～20:00

学生参加者 287名 (2019年度 約190名)

協力者(修了生) 2名 (2019年度 14名)

##### (2) 長期プロジェクトコース説明会・相談会

開催日時 4月22日(木) 18:00~20:0

学生参加者 41名(2019年度 37名)

協力者(修了生) 1名(2019年度 2名)

### 3 WEB出願・面接及びマッチング(実習許可)の結果

今年度からWEB出願システムを導入し、4月16日から5月7日までの期間で受付を行った結果、出願数は362名と、過去2年度(2019年度:279名、2018年度:286名)を大きく上回る結果となった。その後、5月14日及び15日に行ったWEB面接結果を踏まえ、事務局におけるマッチング作業を経て、6月4日に実習許可者253名を発表した。

多数の出願があった一方、受入先の不足、志望先の偏りにより、過年度と比較して多くの不許可者が生じた。特に「マスコミ・広告・印刷・出版」「金融・証券・保険」「教育(大学)」「官公庁」を第1希望にして不許可となる傾向にあった。受入先確保に向けた対策については、下記5(2)のとおり。

また、低年次の学生(1、2回生)の参加者数が全体に占める割合は、出願者数ベース:4.7%↑、実習許可者数ベース:3.3%↑となった。早期のキャリア教育の推進のため、引き続き低年次学生への広報強化を追求する。

2021年度 コース別 出願者数等 ※( )は2019年度実績(2020年度は中止のため)

コース名	出願者数	実習許可者数	参加者数	修了者数
ビジネス	338 (254)	164 (155)	164	148 (146)
パブリック		67 (70)	62	58 (68)
長期プロジェクト	24 (25)	22 (25)	21	19 (25)
合計	362 (279)	253 (250)	247	225 (239)

2021年度 学年別 出願者数及び実習許可者数 ※( )は2019年度実績(2020年度は中止のため)

学年	出願者数		実習許可者数	
	人数	割合	人数	割合
1年次(回生)	11 (4)	3.3% (1.4%)	9 (4)	3.6% (1.6%)
2年次(回生)	106 (73)	29.6% (26.2%)	69 (65)	27.3% (26.0%)
3年次(回生)	237 (196)	65.2% (70.3%)	170 (177)	67.2% (70.8%)
4年次(回生)	4 (2)	1.1% (0.7%)	2 (1)	0.8% (0.4%)
5年次以上(回生)	1 (0)	0.3% (0.0%)	0 (0)	0.0% (0.0%)
大学院生	3 (4)	0.6% (1.4%)	3 (3)	1.2% (1.2%)
合計	362 (279)	100% (100%)	253 (250)	100% (100%)

### 4 2022年度に向けて

#### (1) 教員の体制について

2021年度はビジネス・パブリックコース15名(ビジネス11名、パブリック4名)、長期プロジェクトコース7名の体制で運営。

2022年度コーディネーター体制

ビジネスコース/パブリックコース 17名 内訳:継続13名 復活3名 新規1名

長期プロジェクトコース 7名 内訳:継続6名 復活0名 新規1名

#### (2) 受入先確保について 2022年度受入先登録状況 ※2/25時点(カッコ内は2021年度最終登録数)

ビジネスコース 94件(103件) 内訳:継続89件 復活5件 新規0件

パブリックコース 29件(33件) 内訳:継続24件 復活4件 新規1件

長期プロジェクトコース 12件(14件) 内訳:継続10件 復活1件 新規1件

#### (3) 広報について

2022年度学生募集ガイド掲載に向け、12月21日（火）に2021年度修了生座談会を開催した。座談会には5名の学生（ビジネスコース2名 / パブリックコース1名 / 長期プロジェクトコース2名）が参加し、インターンシップ・プログラムに参加した理由や実習で得た気づきなどを共有した。

## 5 財団での実習受入について

総務部を窓口としてビジネスコース／パブリックコースで4名を受入れ、8月24日（火）から9月3日（土）までの期間で実習が行われた。

## 6 プログラムの実施状況

### (1) ビジネスコース／パブリックコース

6月19日（土）の講義からスタートしたビジネス・パブリックコースは、9月18日（土）の実習経験交流会にて、全4回のオンライン講義を終えた。この間学生は、原則として8月1日から9月17日までの期間中に、受入先での10日以上の実習に参加した。

なお、7月下旬以降、感染が急拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、受入先、学生及び所属大学から実習の実施方針について、多くの相談が寄せられた。これに対して、一律の実習中止等を行うのではなく、学生ごとの所属大学及び受入先における方針を踏まえた上で、各学生が実習を何らか継続できる方法（オンラインの活用、実習日数の短縮又は時短による勤務等）をまずは追求することとした。その結果、大多数の受入先において、実習を実施することができた。

一方で、受入先によっては、受入体制が整わない等の理由から、実習中止を判断された（7件（15名分））。受入先の判断により実習中止となった学生については、可能な限り代替受入先での実習継続の措置をとり、3名について実習を継続できた。受入先の判断により実習中止となった場合は、受講料を返金した上での辞退とした。また、感染不安による学生からの実習辞退が3名発生した。

財団では、安心して実習を開始できるよう、実習先からの求めに応じて学生負担でPCR検査等を受検した場合、当該学生に対する補助金の支給（上限5,000円）を決定した。この決定については、長期プロジェクトコースにも適用することとし、件数は両コースを通して9件であった。

なお、辞退とはなっていないが、受講生1名が実習期間中に新型コロナウイルス感染症に罹患し、実習を中断することとなった。当該受講生は、体調の回復後、事後学習にも参加してプログラムを修了することができたが、次年度に向けたさらなる感染防止方策の徹底についてインターンシップ事業企画検討委員会で確認した。

今年度はプログラム終了後、次年度以降に向けての修了生との継続的な関係構築のため、10月23日（土）に修了生意見交換会を対面形式で実施した。本会には9名の修了生が参加し、プログラムに参加した感想等の発表、「よりよいインターンシップにするためには」をテーマとした改善提案、現在の大学生活などを話題に修了生同士が自由に交流する時間を設けた。

### (2) 長期プロジェクトコース

6月17日（木）の講義からスタートした当コースは、対面講義を基本しつつ、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置の期間中はオンラインにて開催した。

プロジェクト活動については、ビジネス・パブリックコースと同様、感染急拡大時には、学生ごとの所属大学及び受入先における方針を踏まえた上で、プロジェクトを継続できる方法を追求し、結果として、全てのプロジェクトが停滞することなく進行することができた。11月6日（木）に最終講義（プロジェクト・プレゼンテーション）を実施し、約5ヵ月間のプログラムを終えた。

## 【実施スケジュール(主要事項)】

4月	各大学への出向ガイダンス実施
4月15日(木)	ビジネス・パブリックコース コーディネーター(以下C0) 会議①
4月16日(金)～5月7日(金)	インターンシップ学生 Web 出願期間
4月17日(土)	プロジェクト相談会・説明会
4月22日(木)	長期プロジェクトコース説明会
5月14日(金)、5月15日(土)	Web 面接

5月27日(木)	長期プロジェクトコース C0会議①
6月4日(金) 9:00	インターンシップ・全マッチング合否結果発表
6月8日(火)	各大学 第1回科目担当者会議
6月10日(木)	受入先担当者説明会 ビジネス・パブリックコース C0会議②
6月17日(木)	長期プロジェクトコース 講義① 長期プロジェクトコース受入れ先とC0の交流会
6月19日(土)	ビジネス・パブリックコース 講義①
6月24日(木)	長期プロジェクトコース 講義②
6月25日(金)	企画検討委員会①
7月1日(木)	長期プロジェクトコース 講義③
7月3日(土)	ビジネス・パブリックコース C0会議③ ビジネス・パブリックコース 事前学習②
7月8日(木)	長期プロジェクトコース C0会議② 長期プロジェクトコース 講義④
7月10日(土)	ビジネス・パブリックコース 事前学習③
7月11日(日)～7月24日(土)	ビジネス・パブリックコース 事前学習レポート提出(Web)
7月15日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑤
9月2日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑥
9月7日(火)	長期プロジェクトコース C0会議(臨時)
9月16日(木)	ビジネス・パブリックコース C0会議④
9月18日(土)	ビジネス・パブリックコース 事後学習④
9月18日(土)～10月2日(土)	ビジネス・パブリックコース 事後学習レポート提出(Web)
9月30日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑦
10月7日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑧
10月13日(水)	ビジネス・パブリックコース C0成績採点提出期限
10月14日(木)	ビジネス・パブリックコース C0会議⑤
10月15日(金)	企画検討委員会②
10月21日(木)	長期プロジェクトコース 講義⑨
10月23日(土)	修了生意見交換会(ビジネス・パブリックコース)
10月28日(木)	長期プロジェクトコース C0会議③
11月6日(土)	長期プロジェクトコース 講義⑩ / プロジェクトプレゼンテーション / 修了式
11月6日(土)～11月10日(水)	長期プロジェクトコース 学習レポート及びプロジェクト報告書提出(Web)
11月24日(水)	長期プロジェクトコース C0成績採点提出期限
11月25日(木)	長期プロジェクトコース受入れ先とC0の振返会 長期プロジェクトコース C0会議④
11月30日(火)	2022年度受入先登録画面 OPEN
12月3日(金)	企画検討委員会③
12月7日(火)	各大学第2回科目担当者会議(単位認定)
1月下旬～2月	受講案内他について各大学への訪問
2月18日(金)	実習プログラム研究会
2月25日(金)	企画検討委員会④
3月18日(金)	学生検索サイト OPEN

以上

## 教育事業部 各種委員会等の開催について

### (1) 単位互換事業・生涯学習事業(京カレッジ)

#### ① 教育事業企画検討委員会(専門委員会)

- 4月29日(木):第1回※書面会議(主要議題:2021年度京都学講座、大学リレー講座の一部延期・中止)  
5月27日(木):第2回※書面会議(主要議題:2021年度京都学講座、大学リレー講座の開講可否方針)  
7月6日(火):第3回(主要議題:2021年度状況報告および2022年度計画について)  
11月11日(木):第4回(主要議題:2022年度開講について)

### (2) 生涯学習事業(京カレッジ)

#### ① リカレント教育企画検討委員会 ※2019年度発足

- 主要議題:財団が推進するリカレント教育に関する施策の企画検討  
6月22日(火):第1回(主要議題:2021年度状況報告および2022年度計画について)  
10月6日(水):第2回(主要議題:2022年度計画の具体化について)  
12月15日(水):第3回(主要議題:2022年度計画の決定について)

#### ② 京都学企画検討委員会

- 4月28日(金)第1回※書面会議(主要議題:2021年度京都学講座の一部延期・中止)  
5月26日(水):第2回※書面会議(主要議題:2021年度京都学講座の開講可否方針)  
7月20日(火):第3回(主要議題:2022年度京都学講座のテーマについて)  
8月19日(木):第4回(主要議題:2022年度京都学講座の講師案について)  
10月20日(水):第5回(主要議題:2022年度京都学講座の講師依頼状況等について)  
12月21日(火):第6回※書面会議(主要議題:2022年度京都学講座広報内容について)

### (3) インターンシップ事業

#### ① インターンシップ事業企画検討委員会(専門委員会)

- 6月25日(金) 第1回(主要議題:2021年度 事業の目的の明確化・具体化について他)  
10月15日(金) 第2回(主要議題:2022年度講義計画(シラバス)について他)  
12月3日(金) 第3回(主要議題:2022年度講義計画・スケジュールについて他)  
2月25日(金) 第4回(主要議題:2021年度プログラムの振り返り、2021年度運営について他)

#### ② インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(ビジネス・パブリックコース)

- 4月15日(木) 第1回(主要議題:2020年度インターンシップ・プログラム事業推進体制 他)  
6月10日(木) 第2回(主要議題:事前学習実施に関わる連絡事項について 他)  
7月3日(土) 第3回(主要議題:事後学習及び中間指導について 他)  
9月16日(木) 第4回(主要議題:2022年度講義計画(シラバス)について 他)  
10月14日(木) 第5回(主要議題:成績評価確定、2021年度講義計画確定 他)

#### ③ インターンシップ・プログラム コーディネーター会議(長期プロジェクトコース)

- 5月27日(木) 第1回(主要議題:2021年度成績基準、出願・選考について 他)  
6月17日(木) 受入先合同会議 第1回(主要議題:2021年度年間スケジュール 他)  
7月8日(木) 第2回(主要議題:プロジェクトの内容確認について 他)  
9月7日(火) 臨時開催(プロジェクトの運営、2022年度講義計画 他)  
10月28日(木) 第3回(主要議題:2021年度講義計画(シラバス)について 他)  
11月25日(木) 第4回(主要議題:成果報告会、成績評価、2022年度講義計画 他)  
受入先合同会議 第2回(主要議題:年度総括、2021年度講義計画 他)

## (1) FD 事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

FD 企画研究委員会の前身事業である文部科学省の戦略的・大学連携支援事業や FD の義務化から 13 年が経過し、中央教育審議会では FD の高度化も議論されはじめている。FD 事業の運営は、FD フォーラムを担当する「FD フォーラム企画検討委員会」および FD フォーラム以外の FD 事業を担当する「FD 企画研究委員会」の 2 委員会体制で推進する。

#### ◆FD フォーラム

今年度で 27 回目を迎え、加盟大学の情報発信を重視した運営や参加者間の交流、また、オンライン開催 2 年目として、前年度の経験を生かして取り組む。また、分科会の双方向的な運営などによる相互交流やポスターセッションによる情報発信についても、引き続き重視していくこととする。

#### ◆FD 合同研修プログラム

FD 合同研修プログラムでは、次の 3 つの事業を展開する。

##### ・大学執行部塾

過年度までは、各加盟校の学長等の大学執行部層のみを対象とする研修プログラムであったが、今年度は非加盟校の大学執行部層も参加対象とする。6 月下旬に行われる当財団理事会・評議員会・会員総会開催日に実施する。

##### ・テーマ別研修

新任教員や FD の基礎的な事項を学び直したいと考える教員や、FD 関連部署に勤務する職員、または FD に関心のある教職員を対象とした研修プログラムで実施する。加盟校教職員が抱える問題や課題、ニーズに合った実施形態やテーマを設定し実施する。

##### ・京都 FD 交流会

加盟校教職員の FD 活動における工夫や悩みを共有しながら課題の解決に向けたヒントを探るなど、FD に関する様々なテーマのもと、加盟校の枠を越えて教職員が交流する機会を提供する。年度内 3 回の実施を予定している。

#### ◆高等教育情報 NAVI 「教まちや」

加盟校をはじめとする教育機関が高等教育に関するイベント情報を収集する際のハブ機能を担うツールとして 2013 年度に開始した。(1) イベントの投稿・掲載、(2) 教まちや News (ブログ機能)、(3) メールマガジンの 3 つのコンテンツがある。「教まちや News」に掲載する大学の幅を広げるため、加盟校の事務職員によるリレー方式での掲載など、引き続き、様々な大学の特色ある取り組みを発信していく。

<実績>

◆第27回FDフォーラム

全体テーマ 「大学教育の『場』を問い直す」

日時 2022年2月19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)

場所 オンライン開催

参加費 加盟校/教職員1,000円、学生無料 非加盟校/教職員4,000円、学生無料

参加者数 500名(加盟校:181名、非加盟校:319名)

シンポジウム①

会場 Zoom ウェビナー(講義形式)

テーマ 「大学教育の『場』を問い直すーポストコロナに向けて」

日時 2022年2月19日(土)9:30~12:00 および交流会(~12:30)

コーディネーター 畑田 彩氏(京都外国語大学・京都外国語短期大学 外国語学部 准教授)

報告者 相川 真佐夫氏(京都外国語大学・京都外国語短期大学 教務部長)

西野 毅朗氏(京都橘大学 教育開発支援センター/経営学部経営学科 専任講師)

大橋 慎太郎氏(新潟大学 農学部 准教授)

シンポジウム②

会場 Zoom ウェビナー(講義形式)

テーマ 「科目・教養・教員の未来~コロナ禍を経たこれからの大学教育を展望する」

日時 2022年2月27日(日)13:30~16:00

コーディネーター 山口 洋典氏(立命館大学 共通教育推進機構 教授)

報告者 清水 一彦氏(山梨大学 理事・副学長(企画・評価・内部統制))

藤田 潔氏(一般財団法人三菱みらい育成財団 常務理事)

瀬崎 颯斗氏(同志社大学 社会学部4年)

ポスターセッション

テーマ 発表者所属大学の特色ある教育に関する取り組み事例について

発表者 大学教育に関する取り組みについて発表を希望する大学コンソーシアム京都加盟校の教職員、学生

日時 2022年2月19日(土)14:00~17:00(予定)

実施方法 Zoom ミーティングを使用し、あらかじめポスターおよび概要をWebサイトに公開希望者は動画の掲載も可

申込件数 11件

分科会(12分科会)

会場 Zoom ミーティング(講義形式)

・2022年2月20日(日)

第1分科会:「初年次教育が大学教育に果たす役割を考える」(9:30~11:30)

第2分科会:「オンライン授業における学びの成果をいかに評価するか」(14:00~16:00)

第3分科会:「美術・隔たり・場」(14:00~16:00 および交流会(~16:30))

第4分科会:「これからの大学広報ー《教・職・学・卒》が創発し合う場を育む」

(14:00~16:30 および交流会(~17:00))

・2022年2月26日(土)

第5分科会:「with コロナ時代の『留学』どうする?」(9:30~11:30)

第6分科会:「健康・スポーツ・医療の現場で活躍できる人材教育の『場』の再考」(9:30~12:00)

第7分科会:「コロナ禍における保育士養成ー学外実習の学びの意義の再考ー」(14:00~16:00)

- 第 8 分科会：「初年次教育の『場』』とは何か？：3大学のコロナ以前・以後の事例を通して」（14：00～16：30）  
 第 9 分科会：「通信制大学と通学制大学の境界」（14：00～17：00 および交流会（～17：30））  
 ・2022年2月27日（日）  
 第 10 分科会：「学生支援の『場』を問い直す～コロナ禍での現状と課題～」（9：30～11：30）  
 第 11 分科会：「大学教育におけるつながりのリ・デザイン」（9：30～11：30）  
 第 12 分科会：「ハイブリッド授業が一般化する時代の情報システムと教室デザイン」（9：30～12：00）

#### 情報交換会

会 場 Zoom ミーティング  
 日 時 2022年2月27日（日）16：30～18：00  
 進 行 山口 洋典 氏（立命館大学 共通教育推進機構 教授）

#### ◆大学執行部塾

日 時 2021年6月26日（土）11：00～12：20  
 場 所 オンライン開催（Zoom ウェビナー）  
 テーマ 「最新学習歴の更新をサポートする大学のかたち」  
 講 師 本間 正人 氏（京都芸術大学 教授）  
 参加費 加盟校教職員／無料 左記以外／1,000円  
 参加者数 48名（加盟校29名、非加盟校14名、一般2名、財団3名）

#### ◆FD 合同研修プログラム・テーマ別研修会【オンラインでの開催】

参加費 加盟校教職員／無料 左記以外／1,000円

##### (1) FD 基礎知識

日 時 2021年9月7日（火）18：30～20：30  
 場 所 オンライン開催（講義型 Zoom ウェビナー）  
 進 行 佐藤 誠 氏（京都産業大学 法学部 教授）  
 講 師 耳野 健二 氏（京都産業大学 現代社会学部 教授）  
 中島 英博 氏（立命館大学 教育開発推進機構 教授）  
 林 秀美（大学コンソーシアム京都 副事務局長）  
 参加者数 24名（加盟校9名、非加盟校10名（うち1名はオンデマンド映像のみ視聴）、FD  
 企画研究委員5名）  
 ※オンデマンド映像公開期間：2021年9月8日（水）～9月22日（水）  
 申込者（当日欠席者を含む）に公開

##### (2) 学習者中心の授業ワークショップ

日 時 2021年10月9日（土）13：30～15：30  
 場 所 オンライン開催（ワークショップ型 Zoom ミーティング）  
 講 師 浅田 瞳 氏（華頂短期大学 幼児教育学科 准教授）  
 笠松 優子 氏（池坊短期大学 環境文化学科 准教授）  
 参加者数 20名（加盟校7名（うち1名はオンデマンド映像のみ視聴）、非加盟校7名、FD 企  
 画研究委員6名）  
 ※オンデマンド映像公開期間：2021年10月12日（火）～10月26日（火）  
 申込者（当日欠席者を含む）に公開

##### (3) 障害のある学生の修学支援に関する基礎知識

日 時 2021年10月14日（木）18：30～20：30  
 場 所 オンライン開催（講義型 Zoom ウェビナー）

講師 村田 淳 氏 (京都大学 学生総合支援センター 准教授)  
参加者数 51名 (加盟校 22名 (うち 2名はオンデマンド映像のみ視聴)、非加盟校 20名 (うち 2名はオンデマンド映像のみ視聴)、大学コンソーシアム京都 1名、FD 企画研究委員 8名)

※オンデマンド映像公開期間：2021年10月15日(金)～10月29日(金)  
申込者(当日欠席者を含む)に公開

(4) その試験、目標の到達を評価できていますか？

日時 2021年11月9日(火) 18:30～20:30  
場所 オンライン開催(ワークショップ型 Zoom ミーティング)  
進行 跡田 直澄 氏 (京都先端科学大学 経済経営学部 特任教授)  
講師 中島 英博 氏 (立命館大学 教育開発推進機構 教授)  
参加者数 10名 (加盟校 1名、非加盟校 5名、FD 企画研究委員 4名)

(5) オンライン授業のためのワークショップ

日時 2021年12月21日(火) 18:30～20:30  
場所 オンライン開催(ワークショップ型 Zoom ミーティング)  
講師 生駒 幸子 氏 (龍谷大学短期大学部 こども教育学科 准教授)  
伊藤 紀美江 氏 (平安女学院大学 子ども教育学部 教授)  
参加者数 12名 (加盟校 6名、非加盟校 1名、FD 企画研究委員 5名)

※オンデマンド公開期間：12月22日(水)～1月5日(水) 23:59  
申込者(当日欠席者を含む)に公開  
オンデマンド映像のみの視聴者はなし

(6) 学生のやる気を引き出す授業設計・授業改善～化学系学生実験の組み立てを例に～

日時 2022年1月25日(火) 18:30～20:30  
場所 オンライン開催(ワークショップ型 Zoom ミーティング)  
講師 老田 達生 氏 (元京都工芸繊維大学 教授/京都産業大学 非常勤講師)  
進行 高尾 郁子 氏 (京都薬科大学 学生実習支援センター 助教)  
林 千恵子 氏 (京都工芸繊維大学 基盤科学系 教授)  
参加者数 21名 (加盟校 14名、非加盟校 3名、FD 企画研究委員 4名)

※オンデマンド公開期間：1月26日(水)～2月9日(水)  
申込者(当日欠席者を含む)に公開  
オンデマンド映像のみの視聴者はなし

◆京都 FD 交流会

統一テーマ 「ポストコロナに向けた授業のありかた」

参加費 無料

(1) 第1回

日時 2021年8月7日(土) 13:00～16:00  
場所 オンライン開催 (Zoom ミーティング)  
テーマ 「ハイブリッド授業(?)」  
コーディネーター 松本 真治 氏 (佛教大学 文学部長 教授)  
事例報告 松本 真治 氏 (佛教大学 文学部長 教授)  
仲田 晋 氏 (立命館大学 教学部副部長/教育・学修支援センター長/情報理工学部 教授)  
小林 忍 氏 (京都ノートルダム女子大学 教育支援部長/ND 教育センター事務室長)  
西野 毅朗 氏 (京都橘大学 教育開発・学習支援室/経営学部経営学科 専任講師)

参加者数 40名（加盟校15名、非加盟校21名、FD企画研究委員4名）

(2) 第2回

日時 2022年1月22日（土）13:00～16:00

場所 オンライン開催（Zoom ミーティング）

テーマ 「これからのフィールドワーク」

コーディネーター 大原 ゆい 氏（大谷大学 社会学部コミュニティデザイン学科 講師）

話題提供① 「地域と協働したフィールドワークの進め方」

大原 ゆい 氏（大谷大学 社会学部コミュニティデザイン学科 講師）

話題提供② 「学際学部におけるフィールドワークのやり方」

永野 聡 氏（立命館大学 産業社会学部 准教授）

参加者数 12名（加盟校7名、非加盟校2名、FD企画研究委員3名）

(3) 第3回

日時 2022年3月12日（土）13:00～16:00

場所 オンライン開催（Zoom ミーティング）

テーマ 「気を付けよう！オンライン授業での著作権」

コーディネーター 森 篤嗣 氏（京都外国語大学・京都外国語短期大学 外国語学部 教授）

話題提供 「オンライン授業における著作物利用の留意点について」

柿元 淳 氏（LM総合法律事務所 弁護士）

申込期間 2022年1月11日（火）10:00～2022年3月10日（木）17:00

申込者数 23名（加盟校3名、非加盟校14名、FD企画研究委員6名）

◆IR フォーラム【株式会社リアセックとの共催】

日時 2021年8月28日（土）13:00～17:00 終了後、17:30までセッション別質疑応答

場所 オンライン開催（Zoom）

テーマ 「変革する大学！学修成果の可視化と教学マネジメントの取組

～『学修者本位の教育』の実践と、データに基づく教育改善・入試改革の事例～

参加費 無料

参加者数 712名（加盟校97名、非加盟校・その他615名）

**基調講演**

テーマ 「“学修者本位”の実現に向けて

～教学マネジメントの理念と学修成果の可視化の実際～

講師 大森 昭生 氏（共愛学園前橋国際大学・共愛学園前橋国際大学短期大学部 学長）

**事例発表1**

タイトル 「学位プログラムレベルの教学マネジメントを支える IR

～志願者増、退学率低下、就職率向上を実現した学部改革の取組～

報告者 山本 啓一 氏（北陸大学 経済経営学部 教授）

**事例発表2**

タイトル 「多面的な学習成果の検証を通じた文学部の教育改善に向けた取組

～授業やゼミ等の正課で育成した汎用的能力の可視化と今後の課題～

報告者 川那部 隆司 氏（立命館大学 文学部 学生主事 准教授）

事例発表モデレーター 森 正美 氏（京都文教大学 副学長／地域協働研究教育センター長／総合社会学部総合社会学科 教授）

◆京都 FD 交流会

統一テーマ 「ポストコロナに向けた授業のありかた」

参加費 無料

(1) 第3回

日時 2022年3月12日(土) 13:00~16:00

場所 オンライン開催 (Zoom ミーティング)

テーマ 「気を付けよう！オンライン授業での著作権」

コーディネーター 森 篤嗣 氏 (京都外国語大学・京都外国語短期大学 外国語学部 教授)

話題提供 「オンライン授業における著作物利用の留意点について」

柿元 淳 氏 (LM総合法律事務所 弁護士)

申込期間 2022年1月11日(火) 10:00~2022年3月10日(木) 17:00

申込者数 22名 (加盟校6名、非加盟校9名、FD企画研究委員7名) 【2022年2月26現在】

【実施スケジュール (主要事項)】

6月26日(土)	大学執行部塾
8月7日(土)	京都FD交流会 第1回「ハイブリッド授業(?)」
8月28日(土)	IRフォーラム
9月7日(火)	FD合同研修プログラム・テーマ別研修会「FD基礎知識」
10月9日(土)	FD合同研修プログラム・テーマ別研修会「学習者中心の授業ワークショップ」
10月14日(木)	FD合同研修プログラム・テーマ別研修会「障害のある学生の修学支援に関する基礎知識」
11月9日(火)	FD合同研修プログラム・テーマ別研修会「その試験、目標の到達を評価できていますか？」
12月21日(火)	FD合同研修プログラム・テーマ別研修会「オンライン授業のためのワークショップ」
1月22日(土)	京都FD交流会 第2回「これからのフィールドワーク」
1月25日(火)	FD合同研修プログラム・テーマ別研修会「学生のやる気を引き出す授業設計・授業改善」
2月19日(土) 20日(日) 26日(土) 27日(日)	第27回FDフォーラム
3月12日(土)	京都FD交流会 第3回「気を付けよう！オンライン授業での著作権」

## (2) SD 事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

##### ◆SD 共同研修プログラム

社会人としての基礎知識から大学職員としての汎用的なスキルを修得できる場として提供し、職務遂行能力向上に寄与する。能力・スキル向上型研修に加えて、「基礎知識獲得型」研修を実施し、研修の幅を広げ、より多様な受講者に対応できるよう企画する。

##### ◆SD ゼミナール

実施7年目を迎えている。コロナ禍の中、全日程対面開催が困難なため、昨年度に続いて今年度も中止する。過去5年間実施してきた内容や受講生アンケート結果を参考に、応募条件や人数、開講形態、内容等の見直し、プログラムの充実を図り、次年度に向け開催可能な形態を企画する。また、引き続き管理職や修了生を対象とした階層別研修の実施も視野に入れて検討する。

##### ◆SD フォーラム

高等教育の動向を踏まえての先進事例紹介の場、また、外部有識者の知識やノウハウを獲得する場として提供し、新たな知見修得に寄与する。各加盟校や他組織における類似企画との差別化を図るために、プログラム（分科会数、規模等）や運営面でより魅力的なものとなるよう、アンケート結果等からニーズを分析し、SD 研修委員会においてプログラムの充実を図る。

##### ◆SD ガイドブック

隔年で更新しており、2021年度版を発行した。加盟校の人事・研修担当者を対象にアンケート調査を実施し、ニーズを踏まえて充実したものとする。

#### <実績>

##### ◆SD 共同研修プログラム【オンライン開催（Zoom ミーティング）】

###### (1) 知るほどなっとくビジネスマナー

日時	2021年3月25日（木）、3月26日（金）、5月13日（木） 10:00～17:00		
対象	若手教職員（入職1～2年目）（対象以外の方でも参加可能）		
講師	藤原 真理弥 氏（株式会社話し方教育センター）		
参加費	加盟校／4,000円	左記以外／10,000円	
参加者数	3月25日（木）	17名（加盟校16名、非加盟校1名）	
	3月26日（金）	7名（加盟校6名、非加盟校1名）	
	5月13日（木）	10名（加盟校4名、非加盟校3名、財団3名）	

【参考】2020年度実績 10月7日（28名）オンライン

2019年度実績 3月27日（14名）、3月28日（15名）、5月31日（20名）

###### (2) オンライン技術を活用した”働き方意識改革“概論

日時	2021年6月30日（水）13:00～15:00		
対象	全教職員（勤続年数にかかわらず参加可能）		
講師	柴田 一哉 氏（株式会社おいかけ 代表取締役） 田村 篤史 氏（Tunagum／京都移住計画 代表）		
参加費	加盟校／1,000円	左記以外／4,000円	
参加者数	11名（加盟校8名、非加盟校1名、財団2名）		

(3) 働き方改革を導く！労務管理上司塾

日 時 2021年7月14日(水) 10:00~17:00  
対 象 勤続10年以上および管理職(対象以外の方でも参加可能)  
講 師 井上 光 氏(社会保険労務士)  
(井上光労務サポートオフィス/合同会社100年存続企業応援団 代表)  
参加費 加盟校/5,000円 左記以外/10,000円  
参加者数 12名(加盟校9名、非加盟校3名)

(4) 社会人のための成長のスタートー内省と成長が導く自律的キャリアデザイン

日 時 2021年8月25日(水) 10:00~17:00  
対象(目安) 在職5年まで(対象以外の方でも参加可能)  
講 師 前田 真志 氏(学校法人立命館 人事部人事課 課長)  
参加費 加盟校/2,000円 左記以外/8,000円  
参加者数 7名(加盟校6名、非加盟校1名)

(5) 教務が分かると大学事務が見えてくる！「教務と関係法令」

日 時 2021年9月8日(水) 14:00~17:00  
対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)  
講 師 土井 しのぶ 氏(立命館大学 教職教育課 課長)  
参加費 加盟校/1,000円 左記以外/4,000円  
参加者数 39名(加盟校33名、非加盟校6名)

(6) 定時で終わるために今からできるタイムマネジメント

日 時 2021年11月17日(水) 10:00~17:00→14:00~17:00に変更  
場 所 キャンパスプラザ京都(オンライン開催→対面開催に変更)  
対 象 在職10年まで(対象以外の方でも参加可能)  
講 師 土井 しのぶ 氏(立命館大学 教職教育課 課長)  
参加費 加盟校/2,000円 左記以外/8,000円→加盟校/1,000円 左記以外/4,000円に変更  
参加者数 8名(加盟校5名、非加盟校3名)

(7) これからの大学職員“IRer”(基礎)

日 時 2021年11月19日(金) 13:00~17:00  
対 象 全教職員(勤続年数にかかわらず参加可能)  
講 師 相生 芳晴 氏(学校法人上智学院 IR推進室 室長)  
参加費 加盟校/1,000円 左記以外/4,000円  
参加者数 32名(加盟校18名、非加盟校14名)

(8) 英語スピーキング発想転換研修

日 時 2021年12月9日(木) 10:00~17:00  
対 象 在職5年まで(対象以外の方でも参加可能)  
講 師 古川 美晴 氏、ドイル・ケリー 氏、ニコラス・ボルトン 氏、ロバート・アイルランド 氏(インターナショナルエジュケーションサービス株式会社)  
参加費 加盟校/4,000円 左記以外/10,000円  
参加者数 11名(加盟校7名、非加盟校4名)

◆SDゼミナール【2021年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止】

【参考】過去の申込者数：2020年度中止・2019年度実績17名

◆SDゼミナール修了生のフォローアップ研修【2020年度SDゼミナール中止により、該当者なし】

◆第19回SDフォーラム

日 時 2021年10月31日(日) 10:00~15:00  
 場 所 オンライン開催 (Zoom ウェビナー)  
 全体テーマ 「ポストコロナ/ウィズコロナ時代の働き方改革～大学職員×DX推進～」  
 参加費 加盟校/1,000円 左記以外/4,000円  
 申込期間 加盟大学・短期大学/2021年9月1日(水) 10:00～2021年10月8日(金) 17:00  
 上記以外/2021年9月10日(金) 10:00～2021年10月8日(金) 17:00  
 参加者数 108名(加盟校67名、非加盟校41名)

**基調講演**

テーマ 「大学DXは『暗闇の象』か？」  
 講師 青木 孝文氏(東北大学理事・副学長(企画戦略総括、プロボスト、CDO))

**分科会**

- ① テーマ 「サッポロビールの働き方改革609日」  
 講師 古林 秀彦氏(サッポロビール株式会社 新価値開発部 部長)
- ② テーマ 「HR Tech ×働き方改革ー” 人事をもっとシンプルに” から始まる働き方の未来」  
 講師 前田 真志氏(学校法人立命館 人事部人事課 課長)

**情報交換会**

《中止》

**【実施スケジュール(主要事項)】**

3月25日(木) 26日(金) 5月13日(木)	SD共同研修プログラム「知るほどなっとくビジネスマナー」
6月30日(水)	SD共同研修プログラム「オンライン技術を活用した”働き方意識改革“概論」
7月14日(水)	SD共同研修プログラム「働き方改革を導く！労務管理上司塾」
8月25日(水)	SD共同研修プログラム「社会人のための成長のスタート」
9月8日(水)	SD共同研修プログラム「教務が分かると大学事務が見えてくる！『教務と関係法令』」
10月31日(日)	第19回SDフォーラム
11月17日(水)	SD共同研修プログラム「定時で終わるために今からできるタイムマネジメント」
11月19日(金)	SD共同研修プログラム「これからの大学職員“IRer” (基礎)」
12月9日(木)	SD共同研修プログラム「英語スピーキング発想転換研修」

### (3) 京都高大連携研究協議会事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

高大連携事業は、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、京都商工会議所及び当財団の連携によって「京都高大連携研究協議会」を組織し、2003年度から取り組んでいる。

現在、文部科学省では、変化の激しい時代において、新たな価値を創造していく力を育成するために「高大接続改革」の取り組みが進められている。その動向を十分に踏まえながら、各種事業を展開する。

##### ◆高大連携教育フォーラム

高校・大学間の連携・接続教育問題における国内最新動向の情報共有、事例研究や京都における取り組みの情報発信に一定の評価を得ており、毎年200名前後の参加者を得ている。「高大接続改革」の動向を見据え、高等学校、大学の双方の視点を摺り合わせながらテーマを検討するとともに分科会構成を再度検討し、高等学校、大学関係者が相集い、交流できる企画となるよう検討する。

##### ◆高大社連携フューチャーセッション

高校生・大学生のキャリア発達を促すことを目的として、設定したテーマについて、高校生・大学生・社会人といった世代、学校間を越えて対話・交流する。京都府北部地域、京都市内地域ともに多くの高校生・大学生の参加が得られるよう、高等学校関係者と連携を取りながら、高校生・大学生で構成する実行委員が主体となり企画を検討する。

##### ◆京都高校教員交流会

公立・私立を越えて、学校運営・授業運営上の悩みを共有し解決のヒントを探り合ったり、他校の取り組みを参考にし合ったり、授業改善に向け切磋琢磨するなど、高校教員同士が交流する機会を提供する。

昨年度に引き続き本交流会の知名度向上を図るとともに、参加者自らが主体的に関与できるよう工夫しながら企画する。

##### <実績>

##### ◆第19回高大連携教育フォーラム

日時	2021年12月4日(土) 12:00~17:30 ただし、特別分科会②(高大社連携キャリア教育)は、2021年12月18日(土) 14:00~16:00
場所	オンライン開催 (Zoom)
テーマ	「探究的な学びから研究へ—教育改革のジャンピングボードとなるためには—」
参加費	京都府内高等学校・大学教職員/1,000円 上記以外(学生・大学院生を除く)/2,000円
参加者数	144名(高校教職員85名、大学教職員49名、大学生・大学院生1名、その他9名)
総合司会	杉岡 秀紀 氏(福知山公立大学 地域経営学部 准教授)
<b>基調講演</b>	
テーマ	「探究的な学びは大学での学びにどのような影響をもたらすのか」
講師	山田 剛史 氏(関西大学 教育推進部 教授)

## 事例報告 1

テーマ 「村高発「地域を育てる学力」への挑戦～若者が地域を創る～」  
報告者 岡田 厚志 氏（兵庫県立村岡高等学校 教頭）

## 事例報告 2

テーマ 「REALIZE！ゼロから始めた探究の現在地～生徒の『やりたい』をカタチに～」  
報告者 多々納 智 氏（京都府立宮津高等学校・京都府立宮津天橋高等学校 教諭）

## パネルディスカッション

パネリスト 基調講演講師（山田氏）、事例報告者 2 名（岡田氏、多々納氏）  
コーディネーター 滋野 哲秀 氏（龍谷大学 文学部 教授）

## 分科会

### 第 1 分科会（国語）

テーマ 「国語科における探究的な学びのあり方～『実社会』『言語文化』をキーワードに～」  
報告者 中島 涼太 氏（京都市立紫野高等学校 教諭）  
報告者 中川 愛 氏（京都市立堀川高等学校 教諭）  
コーディネーター 加藤 健 氏（京都市教育委員会 指導部 学校指導課 指導主事）

### 第 2 分科会（地歴・公民）

テーマ 「“知”の世界地図をつくろう～探究心を深める授業づくりにおける高大接続の在り方～」  
報告者 小林 未来 氏（京都府立東宇治高等学校 地歴公民科 教諭）  
報告者 神代 健彦 氏（京都教育大学 教育学部教育学科 准教授）  
コーディネーター 藤田 五樹 氏（京都府教育委員会 高校教育課 指導主事）

### 第 3 分科会（理科）

テーマ 「探究的な学びのための環境づくり」  
報告者 松川 真美 氏（同志社大学 理工学部 教授）  
報告者 高野 拓樹 氏（京都光華女子大学 キャリア形成学部キャリア形成学科 学科長／教授）  
コーディネーター 野々垣 雅稔 氏（ノートルダム女学院中学高等学校 STE@M 探究コース長）

### 特別分科会①（高大接続）

テーマ 「探究活動とアドミッション～入試や接続教育で高校までの探究活動をどう位置づけるか～」  
報告者 泉 雄二郎 氏（島根大学 大学教育センター 教授）  
美濃地 裕子 氏（島根大学 大学教育センター 准教授）  
綾部 有 氏（関西学院大学 入学センター 専任職員）  
木村 拓也 氏（九州大学 人間環境学研究院 教育学部門 准教授）  
コーディネーター 山本 以和子 氏（京都工芸繊維大学 工芸科学部 教授）

### 特別分科会②（高大社連携キャリア教育）

日時 2021 年 12 月 18 日（土）14：00～16：00  
テーマ 「高大社連携フューチャーセッション成果報告  
ー学生実行委員会によるセカンドステージを振り返るー」  
参加費 無料  
報告者 2021 年度高大社連携フューチャーセッション実行委員  
コーディネーター 鮫島 輝美 氏（京都光華女子大学 健康科学部 准教授）  
杉岡 秀紀 氏（福知山公立大学 地域経営学部 准教授）  
オブザーバー 滋野 哲秀 氏（龍谷大学 文学部 教授）

## 情報交換会

《中止》

◆2021年度高大社連携フューチャーセッション【ハイブリッド形式】

日時	2021年11月7日(日) 13:00～
場所	対面：キャンパスプラザ京都 2階ホール オンライン：Zoom ミーティング
テーマ	「多様性を尊重する社会について話し合おう！～ジェンダー問題から考える日本の在り方～」
参加費	無料
ゲスト	岡 笑叶 氏 (株式会社ファーストペンギン 代表取締役)
コーディネーター	鮫島 輝美 氏 (京都光華女子大学 健康科学部 准教授) 杉岡 秀紀 氏 (福知山公立大学 地域経営学部 准教授)
オブザーバー	滋野 哲秀 氏 (龍谷大学 文学部 教授)
企画・運営	2021年度高大社連携フューチャーセッション実行委員会 15名 (高校生11名、大学生4名)
参加者数	26名 (高校生10名、大学生16名) 内訳：一般参加者15名 (高校生3名、大学生12名) 実行委員参加者11名 (高校生7名、大学生4名) *実行委員のうち、高校生4名欠席 (海外留学、模試のため)

◆京都高校教員交流会

参加費 無料

(1) 第9回

日時	2021年5月29日(土) 14:00～16:00
場所	オンライン開催 (Zoom ミーティング)
テーマ	「第10・第11回京都高校教員交流会の企画を考える」
コーディネーター	佐藤 賢一 氏 (京都産業大学 生命科学部 教授)
オブザーバー	滋野 哲秀 氏 (龍谷大学 文学部 教授) 細尾 萌子 氏 (立命館大学 文学部 准教授)
参加者数	7名 (高校教員)

(2) 第10回

日時	2021年8月29日(日) 13:30～16:00 (予定)
場所	オンライン開催 (Zoom ミーティング)
テーマ	「学習者主体の問いづくりを組み込んだ学習プログラムの設計と実践」
コーディネーター	佐藤 賢一 氏 (京都産業大学 生命科学部 教授)
参加者数	14名 (高校教員10名、大学教員2名、その他2名)

(3) 第11回【ハイブリッド形式】

日時	2021年10月16日(土) 13:30～16:30
場所	対面：キャンパスプラザ京都 2階ホール オンライン：Zoom ミーティング
テーマ	「総合的な探究の時間を軸にした『高校魅力化』とは ー総合的な探究の時間のカリキュラムをどのようにつくればよいのかー」
講師	阪本 和則 氏 (京都府立桃山高等学校 教諭)
コーディネーター	滋野 哲秀 氏 (龍谷大学 文学部 教授)
参加者数	22名 (高校教員17名、大学教職員5名) *オンライン参加12名、会場参加10名

(4) 第12回【ハイブリッド形式】

日時 2022年2月1日(火) 18:00~20:00

場所 対面: キャンパスプラザ京都

オンライン: Zoom ミーティング

テーマ 「2021年度の教育実践の振り返りーよりよい高大連携・接続に向けてー」

コーディネーター 佐藤 賢一 氏 (京都産業大学 生命科学部 教授)

滋野 哲秀 氏 (龍谷大学 文学部 教授)

参加者数 2名 (高校教員2名)

【実施スケジュール (主要事項)】

5月29日(土)	第9回京都高校教員交流会「第10・第11回京都高校教員交流会の企画を考える」
8月29日(日)	第10回京都高校教員交流会「学習者主体の問いづくりを組み込んだ学習プログラムの設計と実践」
10月16日(土)	第11回京都高校教員交流会「総合的な探究の時間を軸にした『高校魅力化』とは」
11月7日(日)	2021年度高大社連携フューチャーセッション
12月4日(土)	第19回高大連携教育フォーラム
12月18日(土)	「高大社連携フューチャーセッション成果報告」(第19回高大連携教育フォーラム 特別分科会②)
2月1日(火)	第12回京都高校教員交流会「2021年度の教育実践の振り返りーよりよい高大連携・接続に向けてー」

## 各種委員会等の開催について

### (1) FD 事業

#### ① FD フォーラム企画検討委員会

6月25日(金)	第1回FDフォーラム企画検討委員会
7月6日(火)	全体テーマ・シンポジウムに関するワーキンググループ
8月31日(火)	第2回FDフォーラム企画検討委員会
10月7日(木)	第3回FDフォーラム企画検討委員会
11月9日(火)	第4回FDフォーラム企画検討委員会
2月15日(火)	第5回FDフォーラム企画検討委員会
3月 日( )	第6回FDフォーラム企画検討委員会

#### ② FD 企画研究委員会

5月25日(火)	第1回FD企画研究委員会
7月1日(木)	第2回FD企画研究委員会
9月21日(火)	第3回FD企画研究委員会
12月14日(火)	第4回FD企画研究委員会
3月24日(木)	第5回FD企画研究委員会

### (2) SD 事業

#### ③ SD 研修委員会

5月21日(金)	第1回SD研修委員会
7月9日(金)	第2回SD研修委員会
9月17日(金)	第3回SD研修委員会
11月30日(火)	第4回SD研修委員会
3月4日(金)	第5回SD研修委員会

### (3) 京都高大連携研究協議会事業

以下の④・⑤の会議は、大学コンソーシアム京都に設置された専門委員会とは異なり、京都高大連携研究協議会に設置された委員会である。

#### ④ 京都高大連携研究協議会 役員会

7月16日(金)	第1回役員会(書面会議)
3月11日(金)	第2回役員会(書面会議)

#### ⑤ 京都高大連携研究協議会 運営委員会

7月16日(金)	第1回運営委員会
3月11日(金)	第2回運営委員会

⑥ 高大連携推進室会議

4月22日(木)	第1回高大連携推進室会議
5月13日(木)	第1回拡大高大連携推進室会議
6月9日(水)	第2回拡大高大連携推進室会議
7月8日(木)	第2回高大連携推進室会議
9月24日(金)	第3回高大連携推進室会議
11月19日(金)	第4回高大連携推進室会議
1月28日(金)	第5回高大連携推進室会議
2月4日(金)	第3回拡大高大連携推進室会議
2月17日(木)	第6回高大連携推進室会議
3月15日(火)	第7回高大連携推進室会議
3月24日(木)	第4回拡大高大連携推進室会議

### (1) 京都学生祭典事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

京都学生祭典は、「大学のまち京都」を盛り上げるべく 2003 年から開催され、2021 年度で第 19 回を迎える。学生で組織する京都学生祭典実行委員会は、10 月に主催する祭典当日の企画・運営だけでなく、近年では、1 年間を通して、地域交流を深めるため精力的に活動を行っている。

時代の変化の中には明るい話題だけでなく、将来に不安を感じる人もいるなか、「京都学生祭典だからこそできることは何か」と学生自ら問いに向き合い、学生の力を結集させたお祭りをつくり、京都から日本を盛りあげていくことを目指す。

事務局の一翼を担う当事業部では、祭典に向けての支援に加え、1 年間の活動を学生の成長の機会として捉え、年間を通じた支援体制を整備した。

#### I. 第 19 回京都学生祭典

大学の枠を越えた学生の力を結集させ、「大学のまち・学生のまち」京都の魅力を社会に発信し、京都の地域活性化に貢献するとともに、その活動を通して学生が共に成長していくことを目的に、「京都学生祭典」を京都学生祭典組織委員会の一員として共催した。

《開催日時》2021 年 10 月 10 日（日）11 時 00 分～19 時 00 分

《会場》平安神宮前・岡崎プロムナード（京都市左京区）/ 京都学生祭典特設ホームページおよび公式 YouTube Live

《テーマ》「ふれてみいひん？京文化」

《企画趣旨》第 19 回京都学生祭典本祭では、京都学生祭典が今後も京都だけでなく全国の人々に愛されるお祭りであり続けるために、With コロナの時代に合ったお祭りの実現を目指した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、オンラインとオフラインを融合させた、ハイブリッド形式にて実施した。オンライン開催では全国どこにいても参加することができ、オフライン開催では実際に体験することで感動を得ることができる。この 2 つの開催方法の良いところを活かした新しい本祭を目指した。

《企画内容》新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、学生のようなパフォーマンスを視聴する「視聴型企画」と、実際に岡崎グラウンドに会場参加していただける「来場型企画」の 2 種類の企画を実施した。

「視聴型企画」は本祭当日に平安神宮メインステージにてパフォーマンスを実施しその様子を YouTube Live 配信する京都学生祭典オリジナル創作おどり「京炎 そでふれ！コンテスト」、事前収録した様々なジャンルのおどりを披露する団体を対象とした「全国おどりパフォーマンス」、第 1 回から連綿と続く音楽コンテスト企画「Kyoto Student Music Award (KSMA)」を中心に、完全オンラインで楽しむことができる「おうちでオンライン謎解き」企画を展開した。本祭当日の視聴回数は 12,926 回で同時最高視聴者数は 476 人であった。

「来場型企画」は感染対策に万全を期して行う京都の街や文化にふれることができる「ぶら

り謎解き京巡り」企画を中心に展開し、来場者数は265人であった。昨年好評であった「Zoom」を活用した「総おどり」も引き続き行った。

### 【実施スケジュール（主要事項）】

1月15日（金）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第1回）
2月18日（木）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年第1回）
3月3日（水）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第2回）
3月12日（金）	第19回京都学生祭典組織委員会（2021年第1回）
4月16日（金）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年第2回）
5月10日（月）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年臨時書面会議）
5月21日（金）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第3回）
6月18日（金）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年第3回）
7月29日（木）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第4回）
8月26日（木）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年第4回）
9月9日（木）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第5回）
9月14日（火）	第19回京都学生祭典組織委員会（2021年第2回）
10月21日（木）	第19回京都学生祭典事務局会議（2021年第5回）
11月18日（木）	第19回京都学生祭典企画検討委員会（2021年第6回）
11月25日（木）	第19回京都学生祭典組織委員会（2021年第3回）
12月16日（木）	第20回京都学生祭典事務局会議（2021年第6回）
1月21日（金）	第20回京都学生祭典企画検討委員会（2022年第1回）
2月17日（木）	第20回京都学生祭典事務局会議（2022年第1回）
3月15日（火）	第20回京都学生祭典企画検討委員会（2022年第2回）
3月29日（火）	第20回京都学生祭典組織委員会（2022年第1回）

### ◆第19回京都学生祭典実行委員会研修実施一覧

開催日	テーマ	対象	講師/所属	参加者数
2月11日（木）	「祭典の歴史を学ぶ」 （オンライン開催）	全員	企画検討委員長 木村 光博 氏	12名
4月5日（月）	「ファシリテーション」 （オンライン開催）	全員	一般社団法人京都経済同友会 梁瀬 晋也 氏	20名
4月6日（火）	第1回「チームビルディング」 （オンライン開催）	執行部	株式会社 MIYACO 平岡 慎也 氏	11名
4月27日（火）	第2回「チームビルディング」 （オンライン開催）	執行部	株式会社 MIYACO 平岡 慎也 氏	10名
6月7日（月）	第3回「チームビルディング」 （オンライン開催）	執行部	株式会社 MIYACO 平岡 慎也 氏	11名
9月15日（水）	警備部研修	警備部	株式会社コトナ 宇田 幸樹 氏	4名

10月2日(土) ・3日(日)	救命講習	全員	京都市消防局 関 竜也 氏	63名
--------------------	------	----	------------------	-----

◆第19回京都学生祭典実行委員会活動内容一覧

開催日	活動内容	担当部	参加者数
12月18日(金)	京都市表敬訪問	第18回および第19回四役	6名
3月11日(木)	紫竹 eco フェスタ	営業部	8名
3月16日(火)	京都府表敬訪問	第19回四役	4名
4月14日(水)	京都の学生団体から日本全国の学生の皆さんへの呼びかけ	第19回執行部	2名
4月19日(月)	京都府新型コロナ感染対策啓発動画撮影	第18回、第19回実行委員	13名
5月22日(土)	第1回 留学生交流会	年間交流部	5名
6月19日(土)	鴨川ゴミ拾いボランティア	第19回実行委員	7名
7月8日(木)	パートナー交流会	第19回実行委員	36名
7月10日(土)	第2回 留学生交流会	年間交流部	17名
7月10日(土)	まつりがつながった(つなまつ)①※	第19回実行委員	35名
7月17日(土)	まつりがつながった(つなまつ)②※	第19回実行委員	37名
8月21日(土)	第3回 留学生交流会	年間交流部	17名
8月27日(金)	宵 Fes! 事前撮影@随心院	企画運営部	22名
8月29日(日)	サマフェス@イオンモール京都	第19回実行委員	中止
9月3日(金)	京都市表敬訪問	第19回四役	3名
9月5日(日)	第20回 準備会選挙	第19回実行委員	45名
9月13日(月)	平安神宮成功祈願	第19回執行部	11名
9月25日(土)	第4回 留学生交流会	年間交流部	15名
12月3日(金)	成果報告会・感謝祭	営業部	次ページ以降参照
12月23日(木)	京都市表敬訪問	第19回および第20回四役	8名

※まつりがつながった(つなまつ):全国のお祭りの実行委員(学生団体)との交流会

◆新実行委員説明会

4月より新実行委員の募集を開始しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により大学においての新歓活動が困難である。HPやSNSを活用し実行委員会についての説明動画を公開したうえで、可能な限り対面で説明会を行った。4月は対面で5回実施し、各回ともに参加者数は20名弱、そのうち実行委員会へ1割程度が入会した。この活動は春期限定で考えておらず年間を通してSNSや今年度から新しく始めたTikTokを活用し実行委員獲得に努めた。

6月30日までに説明会を13回、新型コロナウイルス感染拡大の影響により全てオンラインで実施した。各回の参加者は10名~20名であり、そのうち3割程度が入会した。

◆第19回実行委員構成人数（10月時点）

構成人数 114名 / 19大学 0大学院 0短期大学 0専修学校（昨年同時期 146名）

① 財団加盟校 計 113名

（単位：名）

加盟校名	本年度	前年度	加盟校名	本年度	前年度
京都大学	4	9	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都橘大学	0	1
京都工芸繊維大学	4	3	京都ノートルダム女子大学	3	3
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	3	2
京都府立大学	1	1	京都文教大学	3	7
京都府立医科大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	2	1	京都薬科大学	0	0
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	0	1	嵯峨美術短期大学	0	0
大谷大学短期大学部	0	0	種智院大学	0	2
京都医療科学大学	1	2	成安造形大学	0	0
京都外国語大学	1	3	同志社大学	5	5
京都外国語短期大学	0	0	同志社女子大学	7	6
京都華頂大学	4	3	花園大学	0	0
華頂短期大学	0	0	佛教大学	4	4
京都看護大学	0	0	平安女学院大学	6	10
京都経済短期大学	0	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都光華女子大学	5	7	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	0	立命館大学	9	21
京都産業大学	22	12	龍谷大学	0	2
京都女子大学	20	31	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	0	1	大阪医科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	9	9	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 1名（摂南大学1名）

③ 各部署人数

（単位：名）

部署名	本年度	昨年度	部署名	本年度	昨年度
四役	4	4	年間交流部	12	12
企画運営部	39	46	営業部	10	10
警備部	6	18	広報部	19	19
おどり普及部	11	20	総務部	13	15
			プロジェクトメンバー		2

◆第19回おどり手構成人数（10月時点）

構成人数 788名 / 19大学 0大学院 1短期大学 0専修学校（前年同時期：678名）

① 財団加盟校 計776名

（単位：名）

加盟校名	本年度	昨年度	加盟校名	本年度	昨年度
京都大学	27	41	京都芸術大学	0	0
京都教育大学	13	8	京都橘大学	70	49
京都工芸繊維大学	3	3	京都ノートルダム女子大学	24	30
京都市立芸術大学	0	0	京都美術工芸大学	0	0
京都府立大学	10	13	京都文教大学	25	43
京都府立医科大学	0	1	京都文教短期大学	0	0
福知山公立大学	0	0	京都薬科大学	74	46
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
大谷大学	7	9	嵯峨美術大学短期大学部	0	0
大谷大学短期大学部	0	0	種智院大学	0	0
京都医療科学大学	0	0	成安造形大学	0	0
京都外国語大学	0	2	同志社大学	32	50
京都外国語短期大学	0	0	同志社女子大学	73	97
京都華頂大学	0	0	花園大学	0	0
華頂短期大学	0	1	佛教大学	0	2
京都看護大学	0	0	平安女学院大学	1	0
京都経済短期大学	1	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都光華女子大学	22	18	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学短期大学部	0	1	立命館大学	144	78
京都産業大学	115	179	龍谷大学	65	65
京都女子大学	69	86	龍谷大学短期大学部	0	0
京都精華大学	1	2	大阪医科大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	京都情報大学院大学	0	0
京都先端科学大学	0	0	放送大学・京都学習センター	0	0

② 財団非加盟校 12名（大阪産業大学1名、奈良女子大学10名、大阪成蹊短期大学1名）

1. 本祭

第19回京都学生祭典（本祭）

テーマ「ふれてみいひん？京文化」 10月10日（日）11：00～19：00

@京都学生祭典公式YouTubeチャンネル（YouTube Liveにて実施）

※岡崎グラウンドで実施する一部企画を来場型とする

《視聴型企画》

ステージ企画	Opening 企画
※平安神宮前にて無観客にて実施するものを	京宴-KYOEN-（ダンスパフォーマンス）
	京炎 そでふれ！コンテスト企画

ライブ配信。	京炎 そでふれ！ホストチーム紹介
	京炎 そでふれ！スペシャルバージョン
	Kyoto Student Music Award
	宵 Fes！（ダンス・音楽パフォーマンス）
	総おどり
	Grand Finale 企画
完全オンライン企画	全国おどりパフォーマンス
	みちのく YOSAKOI 交流企画
ホームページ企画	おうちでオンライン謎解き

《来場型企画》

体験企画 ※岡崎グラウンド等にて実施。	ぶらり謎解き京巡り
	みんなで作る都アート
	インターナショナル企画
	はなとひかりと京都

## 2. イベント

《京炎 そでふれ！スペシャルバージョンの普及を重視》

- ・第18回で行った「合同新歓祭」を土台とした新たな広報活動として、コロナ禍で奮闘する大学の部活やサークルへのインタビューや生パフォーマンス披露を企画した。8月中に Zoom にてインタビューを実施し、10月上旬（本祭当日まで）にホームページ上に掲載する予定であったが、多くの大学で課外活動が制限されており、パフォーマンスが披露できないため中止した。
- ・各ホストチームの動画を TikTok にアップロードした。

《学生×京文化による京都学生祭典の認知向上》

- ・学生×「花贈り」：京都生花株式会社の協力のもと、現代版に花束作成動画2本を作成し公開した。
- ・学生×「地蔵盆」：「ファミフェス2021」としてファミリー層をターゲットに工作や昔の遊びを行う企画をイオンモール KYOTO センターコートにて8月29日に実施予定であったが、緊急事態宣言発令中であることから関係者の安心安全を考慮し中止した。

## 3. 広報関係

### (1) 広報方針

- ・前年度の配布実績に基づき作成した。広報制作物の仕様変更として、公式パンフレットの復活、オリジナルグッズ（ルーズリーフケース）の新規作成、A3リーフレットの作成を取りやめた。

### (2) 本機校正を伴う広報物の制作・編集業務の包括委託契約

- ・株式会社アール工芸印刷社に決定した。キックオフミーティングにて実行委員主導で定期的に打ち合わせを実施していく方針を確認した。

### (3) 新聞広告（4面）掲載に関わる業者との調整

- ・4面掲載で調整が完了し、10月2日の京都新聞に掲載した。

### (4) 広報制作物納品日

マスクケース：7月9日、A2ポスター・B7冊子：8月26日、4チラシ：9月3日、公式パンフレッ

ト：9月28日、オリジナルグッズ（ルーズリーフ入りファイル）：9月3日、報告パンフレット：11月18日

#### 4. 営業関係

##### (1) 営業方針

- ・紙媒体だけでなくWEBを有効活用した協賛メリットを追加した。
- ・第18回ではオリジナルグッズとして卓上カレンダーを制作したが、納品が12月となり配布期間が限られることから、今回は視覚的・長期的広報の観点からルーズリーフケースを制作した。

##### (2) 協賛アプローチ

《スペシャルパートナー》

- ・3/11：協賛案内実施。現行提案では従来の支援が困難につき、追加提案要望あり。
- ・3/25：再提案
- ・3/19～4/9：追加提案に対する双方での推敲期間（3週間）
- ・4/9：追加提案(確定版)の提出。
- ・5/10：協賛回答あり。今年は減額となるがスペシャルパートナー枠で協賛が確定。
- ・8/23：プレイベントYouTube企画である企業取材をZoomにて実施。

《KYO-SENSE パートナー》

- ・5/14：協賛案内実施。
- ・5/18：協賛回答あり。昨年同様の額としKYO-SENSEパートナー枠で協賛が確定。

《その他協賛企業》

- ・4月上旬：オフィシャルパートナーへアプローチ開始。
- ・4月下旬：すべての既存協賛企業様へアプローチ開始。
- ・5月中旬：新規企業へアプローチ開始。
- ・5/10：オフィシャルパートナー以上の協賛回答（4社の協賛が確定）。
- ・7/30：全協賛回答締切。

##### (3) 個人サポーター

- ・10月末まで募集した（実績：61組）

##### (4) パートナー交流会

日時：7月8日（木）17：30～19：15@オンライン（Zoom）

参加者：企業数10社・11名／実行委員36名

##### (5) その他、特記事項

- ・個人サポーター：地域のイベント、OBOGなどに向け積極的に募集活動を実施した。
- ・成果報告会・感謝祭：12月3日（金）にキャンパスプラザとオンラインにおいて実施した。実行委員42名が参加した。協賛企業等の参加者は、成果報告会38名（現地：23名、オンライン15名）、感謝祭27名（現地：25名、オンライン2名）であった。

#### 5. 公募関係

##### (1) メインビジュアル

- ・1月13日～3月26日募集受付、エントリー：4件。  
SNSによる投票および実行委員会による審査を経て決定した。

## (2) 本祭企画

- ・4月より公式HPにて参加団体の募集を開始した。募集締切は当初6月18日までであったが、申込数が少ないため、6月30日まで延長した。

## 6. 新型コロナウイルス感染症防止対策

### (1) ガイドライン

本祭当日の実地での企画に対応したガイドラインとして、パフォーマンスに関する感染防止ガイドライン、およびイベント来場に関する感染防止ガイドラインを加盟校に所属する公衆衛生学、およびウイルス学の専門家の意見を踏まえて作成した。事前収録においては昨年度に作成したWOW(を)！どりパフォーマンス、Kyoto Student Music Award (KSMA) に出演する団体向けの動画を撮影する際のガイドラインを適用した。

### (2) 感染防止対策を徹底した活動

各実行委員は自身が在籍する大学の課外活動方針を遵守したうえで、昨年度に作成したガイドラインに基づき3密(密閉・密集・密接)を避けるといった基本的な感染防止策の徹底に加え、日々の体調管理、屋内外での対面形式で活動する際の活動申請書の事前提出、Zoomなどを活用したオンラインでの会議や営業活動を行った。

### (3) 学生等に向けた呼びかけ

京都学生祭典実行委員会、京都学生広報部、京都さくらよさこい実行委員会の3つの学生団体が4月14日(水)に京都市役所にて全国の学生に向けて感染防止の徹底を呼びかけた。映像は京都市のYouTubeで公開されている。4月下旬には京都府新型コロナ感染対策啓発動画に実行委員が出演し、京炎 そでふれ!の演舞にあわせて感染防止を呼びかけた。

## 7. その他

- (1) おどり普及部：京都市・京北出張所・京北自治振興会と共同で地域活性化プロジェクトを実施した。京炎 そでふれ!スペシャルバージョン(以下、スペバ)を地域の方と一緒におどり動画作成を行った。8月29日に実施予定であったが、緊急事態宣言発令中であることから関係者の安心安全を考慮し10月30日に延期して実施した。映像はYouTubeにアップロードした。

開催日	活動内容	参加実行委員数	参加者数
6月25日(金)	京都京北小中学校 出前教室	3名	39名
6月28日(月)	京都京北小中学校 出前教室	3名	39名
6月28日(月)	丹波音頭を踊る会 合同練習	3名	30名
6月29日(火)	京都京北小中学校 出前教室	2名	39名
7月1日(木)	京丹波町立瑞穂小学校 出前教室	2名	41名
7月4日(日)	みちのくYOSAKOI 振り落とし	1名	4名
7月6日(火)	全体練(そでふれ合同練習)	4名	26名
7月9日(金)	京丹波町立瑞穂小学校 出前教室	2名	41名
7月15日(木)	京丹波町立瑞穂小学校 出前教室	2名	41名
7月15日(木)	全体練(そでふれ合同練習)	4名	35名

7月16日(金)	京丹波町立瑞穂小学校 出前教室	4名	41名
7月19日(月)	丹波音頭を踊る会 合同練習	3名	27名
7月19日(月)	京都府立豊学校 出前教室	3名	12名
7月20日(火)	全体練(そでふれ合同練習)	4名	35名
7月21日(水)	京都三条ラジオカフェ出演	3名	5名
7月26日(月)	京都府立豊学校 出前教室	2名	12名
7月27日(火)	京都府立東稜高校 出前教室	3名	38名
7月29日(木)	Sailing KOBE 隊列練	4名	27名
7月31日(土)	FRD 会議	8名	41名
8月2日(月)	全体練(そでふれ合同練習)	4名	40名
8月5日(木)	レッスン	5名	2名
8月8日(日)	Sailing KOBE 出演	9名	36名
9月16日(木)	京都市立嵐山小学校 出前教室	3名	34名
9月17日(金)	京都市立嵐山小学校 出前教室	3名	34名
9月17日(金)	京都教育大学附属中学校 出前教室	3名	35名
9月22日(水)	Grand Finale スペバ練習	3名	18名
9月24日(金)	京都教育大学附属中学校 出前教室	3名	35名
9月28日(火)	Grand Finale スペバ練習	3名	18名
9月30日(木)	京都市立嵐山小学校 出前教室	3名	34名
9月30日(木)	Grand Finale スペバ練習	3名	18名
10月1日(金)	京都教育大学附属中学校 出前教室	3名	35名
10月1日(金)	京都市立嵐山小学校 出前教室	3名	34名
10月5日(火)	Grand Finale スペバ練習	3名	18名
10月6日(水)	Grand Finale スペバ練習	3名	18名
10月6日(水)	宇治市立三室戸小学校 出前教室	2名	144名
10月7日(木)	京都市立嵐山小学校 出前教室	3名	34名
10月8日(金)	京都教育大学附属中学校 出前教室	3名	35名
10月8日(金)	京都市立嵐山小学校 出前教室	3名	34名
10月14日(木)	宇治市立三室戸小学校 出前教室	3名	144名
10月21日(木)	宇治市立三室戸小学校 出前教室	3名	144名
10月25日(月)	宇治市立三室戸小学校 出前教室	3名	144名
10月26日(火)	宇治市立三室戸小学校 出前教室	3名	144名
1月23日(日)	公益社団法人日本青年会議所 京都会議	18名	18名

※8/14(土)～9/15(水)の期間は、感染者拡大防止のため対面活動禁止とした

#### 第20回京都学生祭典

- ・11月25日付第3回組織委員会にて第20回京都学生祭典実行委員会が発足した。
- ・メインビジュアルは公募して決定する。募集期間は12月1日(水)～3月1日(火)

3月1日までの締め切りであったが、作品提出数が少ないことから15日まで締め切りを延長した。その結果最終的には10件提出があり、今後実行委員が選考する。

- ・1月21日付2022年第1回企画検討委員会にて第20回のテーマが「恩、咲けべ！」に決定した。
- ・企画検討委員会木村委員長による祭典の歴史に関する研修を2月16日（水）14：30～15：45に実施した。参加者は14名（うち執行部7名）であった。
- ・広報物のデザイン・制作・編集業務委託：三社見積の結果、デザイン・制作・編集業務委託先をアール工芸印刷社に決定した。
- ・本祭施工及び運営支援業務委託に関わる説明会を3月3日開催した。3/29見積書提出締め切り。1社より見積書の提出があった。

## （2）京都国際学生映画祭事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

京都国際学生映画祭は、学生の実行委員会が運営する日本最大規模の国際学生映画祭で、2002年（第5回）から財団が単独で主催している。2021年度においても、国内外を問わず実行委員が広く学生作家の映像作品をコンペ形式で募集し、選考した作品を上映する第24回京都国際学生映画祭（2022年2月11～13日開催）の企画や運営、PRを1年間担った。

京都国際学生映画祭は、文化芸術都市であり、「学生のまち」でもある京都で、学生クリエイターの発掘や情報発信、国際交流を深める上で開催する意義は大きい。しかしながら、その映画祭を支える実行委員の慢性的な人不足が続いており、2021年度もできるだけ多くの新規実行委員の獲得を目指した。また、実行委員の成長を促すためのサイクルの構築といった支援体制についても検討した。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、従前通りの活動が困難となっており、Zoom等のWeb会議システム等を多用することで、実行委員とのコミュニケーションを図り、当該事業を展開した。

#### <実績>

### 【実施スケジュール（主要事項）】

3月17日（水）	2020年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第5回）
4月14日（水）	第24回京都国際学生映画祭実行委員会発足
4月19日（月）	コンペ作品募集開始および新規実行員募集の案内・広報開始
4月22日（木）	コンペ作品募集開始 公式webサイト本番リリース
4月22日（木）10時 ～7月15日（木）16時	第24回京都国際学生映画祭コンペティション作品募集期間
7月6日（火）	2021年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第1回）
8月5日（木）	第1回研修会（株式会社ディレクターズ・ユニブ 板倉一成 氏） （オンライン開催）
8月12日（木）	第2回研修会（株式会社ディレクターズ・ユニブ 板倉一成 氏） （オンライン開催）
10月22日（金）	2021年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第2回）
11月28日（日）	プレイベント開催

12月上旬	2021年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第3回）※臨時開催
2022年1月4日（火） ～1月22日（土）	第3回研修会 協賛企業のご協力による実地研修
1月18日（火）	2021年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第4回）
1月28日（金）	2021年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第5回）※臨時開催
2月11日（金） ～2月13日（日）	第24回京都国際学生映画祭 （京都文化博物館フィルムシアターで開催）
2月18日（金） ～2月25日（金）	第24回京都国際学生映画祭 オンライン開催（動画共有サイト「Vimeo」にて配信）
3月16日（水）	2021年度 京都国際学生映画祭企画検討委員会（第6回）

◆第24回実行委員構成人数<2月時点>

構成人数：36名 大学19 短期大学1 専修学校0 （前年度：15名 内非加盟校5名）

① 加盟校 計16名

大学・短期大学名	本年度	前年度	大学・短期大学名	本年度	前年度
京都大学	0	0	京都橘大学	0	0
京都教育大学	0	0	京都ノートルダム女子大学	0	0
京都工芸繊維大学	0	1	京都美術工芸大学	0	0
京都市立芸術大学	0	0	京都文教大学	0	0
京都府立大学	0	0	京都文教短期大学	0	0
京都府立医科大学	0	0	京都薬科大学	0	0
福知山公立大学	0	0	嵯峨美術大学	0	0
池坊短期大学	0	0	嵯峨美術大学短期大学部	0	0
大谷大学	0	0	種智院大学	0	0
京都医療科学大学	0	0	成安造形大学	0	0
京都外国語大学	4	0	同志社大学	4	1
京都外国語短期大学	0	0	同志社女子大学	0	0
京都華頂大学	0	0	花園大学	0	0
華頂短期大学	0	0	佛教大学	2	1
京都看護大学	0	0	平安女学院大学	0	0
京都経済短期大学	1	0	平安女学院大学短期大学部	0	0
京都芸術大学	0	1	明治国際医療大学	0	0
京都光華女子大学	0	0	立命館大学	2	2
京都光華女子大学短期大学部	0	0	龍谷大学	1	0
京都産業大学	1	1	龍谷大学短期大学部	0	0
京都女子大学	1	2	大阪医科薬科大学	0	0
京都精華大学	0	1	京都情報大学院大学	0	0
京都西山短期大学	0	0	放送大学・京都学習センター	0	0
京都先端科学大学	0	0			

② 非加盟校：20名

(大阪芸術大学2名、大阪商業大学1名、大阪大学7名、大阪府立大学1名、学習院大学1名、群馬大学1名、神戸女学院大学1名、東京大学1名、慶應義塾大学1名、長野県立大学2名、名古屋大学1名、長崎県立大学1名)

【特記事項】

進捗報告(第24回)

① 審査部門

1) 作品募集結果

※ [ ] はアニメーション作数

	国内	海外	総数
2021年度(第24回)受付作品数	172 [34]	143 [52] (25ヶ国)	315
2020年度(第23回)受付作品数	100 [16]	272 [33] (22ヶ国)	372
2019年度(第22回)受付作品数	101 [12]	176 [45] (29ヶ国)	277
2018年度(第21回)受付作品数	98 [23]	490 [115] (33ヶ国)	588
2017年度(第20回)受付作品数	129 [32]	356 [84] (38ヶ国)	485
2016年度(第19回)受付作品数	167 [70]	372 [116] (41ヶ国)	539 [186]
2015年度(第18回)受付作品数	123 [31]	94 [27] (17ヶ国)	217 [58]

2) 最終審査通過作品決定

国内：10件 [1] 海外：8件 [5] (6ヶ国) 計18件 ※ [ ] はアニメーション作品数

※色付きはアニメーション作品

No.	原題(英題)	監督名	尺	学校	所在国
1	スケルツォ (scherzo)	塩川孝良 戸松幹太	94	日本大学	日本
2	ドーナツ・ホール (Doughnut Hole)	川崎たろう	62	東北芸術工科大学	日本
3	獐猛 (Ferocious)	渡邊安悟	70	東京藝術大学大学院	日本
4	The Balloon Catcher	金子勲矩	6	多摩美術大学	日本
5	魚の目 (fish eyes)	板野侑衣子 ますだあやこ	52	同志社女子大学	日本
6	愛ちゃん物語 (Her story of love)	大野キャンディス真奈	91	東京藝術大学	日本
7	海底悲歌 (Haitei Elegy)	堂ノ本敬太	71	大阪芸術大学	日本
8	難若者 ("Nanjakumono"(Difficult Youth))	三代朋也	109	大阪芸術大学	日本
9	FRONTIER	服部 正和	99	立教大学	日本
10	およげるネコ (The Cat from the Deep Sea)	黄夢璐	50	武蔵野美術大学	日本
11	Final Deathtination	田村鞠果	2	Ringling College	アメリカ

				of Art & Design	
12	La Source des Montagnes (The Source of the Mountains)	Adrien COMMUNIER, Camille DI DIO, Benjamin FRANCOIS, Pierre GORICHON, Briag MALLAT, Marianne MOISY	7	ESMA	フランス
13	Migrants	Hugo Caby, Antoine Dupriez, Aubin Kubiak, Lucas Lermytte, Zoé Devise	8	Pôle 3D	フランス
14	Colza	Victor CHAGNIOT, Camille BROUTIN, Matthieu DAURES, Victoria DE MILLO GREGORY, Maxime JOUNIOT, Jade KHOO	5	Gobelins	フランス
15	Sounds between the Crowns	Filip Diviak	14	Tomas Bata University in Zlín	チェコ
16	Intermezzo	Kim Lêa Sakkal	49	Academy of Media Art Cologne	ドイツ
17	Edin Asansyor Razstoyanie (One Elevator Apart)	Chris Zahariev	27	NATFA “Kr. Sarafov”	ブルガ リア
18	穌哥搞戀錯 (Jesus “Loving” Christ)	Lam Cheuk Him	30	The Hong Kong Academy for Performing Arts	香港

### 3) 最終審査員

最終審査員	プロフィール
真利子 哲也 氏	映画監督。1981年東京都生まれ。8ミリフィルムの短編『極東のマンション』『マリコ三十騎』が高い評価を受ける。東京藝術大学大学院映像研究科の修了作品『イエローキッド』が劇場公開。『ディストラクション・ベイビーズ』はロカルノ国際映画祭で最優秀新進監督賞、ナント三大陸映画祭で銀の気球賞、ヨコハマ映画祭6部門受賞など。『宮本から君へ』は日刊スポーツ映画大賞、

	ブルーリボン賞、高崎映画祭で監督賞受賞。近作に、コロナ禍の14ヶ国22箇所の日常を捉えた『MAYDAY』、東京とシカゴで撮影した短編『COYOTE』がある。
やざき ひとし 氏	映画監督、脚本家。日本大学芸術学部映画学科在学中に『風たちの午後』(1980年)で監督デビュー。2作目となる『三月のライオン』(1992年)がベルリン国際映画祭ほか世界各国の映画祭で上映され、ベルギー王室主催ルイス・ブニュエルの「黄金時代」賞を受賞するなど、国際的に高い評価を得る。1995年文化庁芸術家海外研修員として渡英し、ロンドンを舞台にした『花を摘む少女虫を殺す少女』を監督。その後の監督作品に『ストロベリーショートケイクス』(2006年)、『スイートトリトルライズ』(2010年)、『不倫純愛』(2011年)、『1+1=11』(2012年)、『太陽の坐る陽所』(2014年)、『XXX』(2015年)、『無伴奏』(2016年)、『スティルライフオブメモリーズ』(2018年)、『さくら』(2020年)がある。
やたべ よしひこ 氏	前東京国際映画祭ディレクター、映画プロデューサー。仏・パリ生まれ。2001年より映画の配給と宣伝を手がける一方で、ドキュメンタリー映画のプロデューサーや、フランス映画祭の業務に関わる。2002年から東京国際映画祭へスタッフ入りし、2004年から上映作品選定の統括を担当。2007年から2019年までコンペティション部門及び日本映画部門の選定責任者を務める。2021年4月よりフリーランス。
ゆきさだ いさお 氏	映画監督。1968年生まれ、熊本県出身。長編第1作『ひまわり』(2000年)が、第5回釜山国際映画祭で国際批評家連盟賞を受賞。『GO』(2001年)では第25回日本アカデミー賞最優秀監督賞を始め数々の映画賞を総なめにし、『世界の中心で、愛をさけぶ』(2004年)では興行収入85億円の大ヒットを記録し社会現象となった。以降『北の零年』(2005年)、『春の雪』(2005年)、『クローズド・ノート』(2007年)、『今度は愛妻家』(2010年)、『パレード』(2010年/第60回ベルリン国際映画祭パノラマ部門・国際批評家連盟賞受賞)、『ピンクとグレー』(2016年)、『ナラタージュ』(2017年)等の作品を発表し、『リバー・エッジ』(2018年)では、第68回ベルリン国際映画祭パノラマ部門にて2度目の国際批評家連盟賞を受賞する。2020年『劇場』、『窮鼠はチーズの夢を見る』の2作品が公開となるほか、コロナ禍においてもZoomを使用して配信作品を発表するなど精力的に活動。

#### 4) 最終審査会結果

2022年1月6日(木)にキャンパスプラザ京都にて開催された最終審査会の結果、以下の通り受賞者が決定した。

	作品名	部門	国
 グランプリ	Intermezzo	実写	ドイツ
 準グランプリ	Migrants	アニメ	フランス
 準グランプリ	スケルツォ	実写	日本
最終審査員賞(真利子哲也賞)	およげるネコ	実写	日本

最終審査員賞（矢崎仁司賞）	獐猛	実写	日本
最終審査員賞（矢田部吉彦賞）	難若者	実写	日本
最終審査員賞（行定勲賞）	魚の目	実写	日本
実行委員賞	Sounds between the Crowns	アニメ	チェコ
実行委員賞	FRONTIER	実写	日本

## ② 企画部門

第 24 回京都国際学生映画祭プレイベント「バリアフリー映画上映会」

日程：11月28日(日) 13:00～17:00

会場：キャンパスプラザ京都 4階 第4講義室

(上映した8作品を12月5日(日)まで動画配信サイトVimeoにて配信)

内容：

- ・過年度入選作品8作品を上映。うち2作品をバリアフリー上映。
- ・横地由紀子氏（Brand new day 代表/京都国際学生映画祭企画検討委員会オブザーバー）をファシリテーターに、ゲスト・木下千花氏（京都大学教授）と実行委員によるトークショー。
- ・参加実行委員数14名、参加者6名

連携イベント企画

京都大学医学部附属病院にて入院患者対象(984床)に過去の入選作品を配信。

日時：2022年12月25日(土)～

第30回ウエルネス作品展：京大ウエルネス研究会主催の「創作広場・作品展」に作品を出展。

期間：9月21日(火)～2022年3月31日(木)

## ③ 国際部門

翻訳ボランティア募集開始

(1) 第1回説明会：2021年7月25日(日) 12時～14時(オンライン)

(2) 第2回説明会：2021年8月15日(日) 19時～21時(オンライン)

## ④ 広報部門

(1) 渉外

1) 第23回京都国際学生映画祭：協賛/後援先への事業報告 4月13日完了

2) 第24回京都国際学生映画祭：協賛依頼

新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢を考慮しながら、依頼方法を検討し、今年度も協賛依頼を継続。

第24回協賛金 13社等+物品提供(第23回-7社等+物品、第22回-11社等+物品)

(2) 広報

- ・コンペ作品および新規実行員募集の案内・広報開始
- ・Twitter、Facebook等SNSにてコンペティション作品募集、新規実行委員募集の案内開始
- ・第24回京都国際学生映画祭プレスリリース配信

(3) 制作

- ・コンペ作品および新規実行員募集チラシ/ポスター制作
- ・第24回京都国際学生映画祭チラシ・ポスター・チケット
- ・第24回京都国際学生映画祭公式カタログ

⑤ その他

(1) 助成金事案

- ・令和3年度 芸術文化振興基金助成金 交付要望書 →採択

(2) ndjc:若手作家育成プロジェクト2021(文化庁委託事業)

- ・第23回京都国際学生映画祭において最終審査員賞を受賞した監督を推薦したが不選出となった。

【本祭】

①日程：2022年2月11日(金)～2月13日(日) 3日間

オンライン配信(Vimeo) 2月18日(金)～25日(金) 8日間

②会場：京都文化博物館フィルムシアター

③タイムテーブル：

2/11 (金)	開会式 10:30～	プログラムA 10:50～	矢崎仁司監督 上映企画 13:20～	プログラムB 15:05～	レセプション パーティー 18:30～
2/12 (土)	プログラムC 10:30～	過去入選監督 上映企画 13:40～	プログラムD 16:00～	プログラムE 17:50～	
2/13 (日)	プログラムF 10:30～	プログラムG 12:25～	行定勲監督 上映企画 14:25～	プログラムH 15:40～	授賞式 18:00～

④実施企画(シアター)：

入選作品			
プログラムA	『Final Deathtination』	『難若者』	
プログラムB	『Migrants』	『Intermezzo』	『スケルツォ』
プログラムC	『The Balloon Catcher』	『魚の目』	『愛ちゃん物語♡』
プログラムD	『海底悲歌』 ※R18+指定作品		
プログラムE	『The Source of the Mountains』	『FRONTIER』	
プログラムF	『Sounds between the Crowns』	『ドーナツ・ホール』	
プログラムG	『Jesus "Loving" Christ』	『およげるネコ』	
プログラムH	『One Elevator Apart』	『COLZA』	『獐猛』
特別企画			
矢崎 仁司監督上映企画『1+1=11(イチタスイチハイチイチ)』			
行定 勲監督上映企画『うつくしいひと サバ?』			
過去入選監督上映企画			
二宮 健 監督『大童貞の大冒険』			

前野 朋哉監督『GOGO まりこ』
真利子 哲也監督『マリコ三十騎』

⑤実施企画（オンライン配信）

	パッケージ 1	パッケージ 2
入選 作品	『Final Deathtination』	『Migrants』
	『難若者』	『Intermezzo』
	『The Balloon Catcher 』	『スケルツォ』
	『魚の目』	『Sounds between the Crowns』
	『The Source of the Mountains』	『ドーナツ・ホール』
	『FRONTIER』	『One Elevator Apart』
	『Jesus “Loving” Christ』	『COLZA』
	『およげるネコ』	『獯猛』
特別企 画作品	『1+1=11』	『マリコ三十騎』
	『GOGO まりこ』	『大童貞の大冒険』

⑥来場者数、視聴者数

本祭来場者数 313名(第22回-330名) ※第23回は完全オンライン形式で開催

視聴者数 366回(第23回-352回)

### （3）障がい学生支援事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（「障害者差別解消法」）が2016年4月から施行されたことに伴い、各大学は障がい学生支援業務に携わる担当者の能力向上や大学の枠を超えた情報共有や連携の場が求められることとなった。これらのニーズに対応するため、京都を中心とした関西にある大学の障がい支援業務に携わる担当者による「関西障がい学生支援担当者懇談会」を開催し、今後の対応について意見交換を行った。

また、学生へは、聴覚障がい学生の授業における情報保障となるノートテイクについての理解やスキル向上を図るため、ノートテイク養成講座・パソコン（PC）テイク養成講座を開講した。

さらに、障がい学生支援事業企画検討委員会を積極的に活用し、加盟大学のニーズを踏まえた研修会も実施した。

##### <進捗>

1. ノート・パソコン(PC)テイク養成講座—captiOnlineを使った遠隔PCテイク（オンライン開催）

日時：2021年8月24日（火）14：00～16：30

会場：Zoomによる配信型講座

内容：オンライン講義での遠隔文字情報保障の方法（ZoomとcaptiOnlineの事例）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各大学においてオンライン講義での対応が続い

ている現状を鑑み、遠隔文字情報保障の方法として Zoom と captiOnlin の使い方の講座を開講した。

①基礎編（講師：特定非営利活動法人ゆに 窪崎氏）

②実践編（担当：特定非営利活動法人ゆに 窪崎氏、久門氏、五味氏）

参加者：22名（加盟校8名、非加盟校14名）

## 2. 第27回関西障がい学生支援担当者懇談会（KSSK）（オンライン開催）

日時：2021年9月2日（木）13：00～17：00

会場：Zoomによる配信型講座

内容：①話題提供：『障害学生支援の最新動向－障害者差別解消法の改正等をふまえて』

（講師：京都大学 学生総合支援センター 准教授 村田 淳氏）

②分科会 A：コーディネーター基礎編－合理的配慮を考える

分科会 B：コーディネーター応用編－合理的配慮の妥当性と根拠

分科会 C：支援体制のあり方考える

－学内の部署間連携・マネジメントの視点をふまえて

分科会 D：精神・発達障害の合理的配慮－コロナ禍における影響をふまえて

分科会 E：障がいのある学生のキャリア支援－社会への移行を考える

参加者：54名（加盟校24名、非加盟校30名）

## 3. テーマ別研修会「入試における合理的配慮」

日時：2021年11月10日（木）13：00～14：30

会場：Zoomによる配信型講座

内容：①第1部 話題提供『障害のある受験生への対応－入試での合理的配慮を中心に－』

（講師：大学入試センター 研究開発部 教授 南谷 和範氏）

（コーディネーター：京都大学 学生総合支援センター 准教授 村田 淳氏）

②第2部 ディスカッション・質疑応答

参加者：61名（加盟校34名、非加盟校27名）

## 4. 大学における障がい学生支援に関する高校教員との懇談会

日時：2021年12月2日（木）14：00～17：00

会場：オンライン及びキャンパスプラザ京都によるハイフレックス型懇談会

内容：①話題提供1：「大学における障がい学生支援と身体障がい学生の支援」

（講師：京都大学 学生総合支援センター 助教 宮谷 祐史氏）

②話題提供2：「精神障がい、発達障がいの学生への大学における支援

～学生、教職員の協働による障がい学生支援との共生のキャンパスづくり～」

（講師：龍谷大学 障がい学生支援室 支援コーディネーター）

③グループ別懇談会

参加者：25名（加盟校10名、非加盟校1名、高等学校教員（特別支援学校含む）他14名）

## 5. 第 28 回関西障がい学生支援担当者懇談会 (KSSK) (オンライン開催)

日時：2022 年 3 月 2 日 (水) 13:00~17:00

会場：Zoom による配信型講座

内容：①座談会形式：『コロナ禍における支援の在り方ーこれまでとこれからー』

(コーディネーター：同志社大学学生支援センター学生チューデントダイバーシティ・  
アクセシビリティ支援室 コーディネーター 土橋 恵美子氏)

(話者：公立大学法人大阪 大阪市立大学事務局学務部  
学生課・障がい学生支援室 佐々木あゆり氏)

(話者：京都外国語大学 障がい学生支援室 梅本 直氏)

②分科会 A：コロナ禍における支援をとおしてーこれからを考えるー

分科会 B：発達・精神障害のある学生へのサポート

分科会 C：支援体制・システムのマネジメント

分科会 D：コーディネート基礎編ー合理的配慮の考え方ー

分科会 E：コーディネート応用編ー合理的配慮の妥当性と根拠ー

参加者：48 名 (加盟校 17 名、非加盟校 31 名)

### 【実施スケジュール (主要事項)】

6 月 29 日 (火)	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会 (第 1 回)
7 月 15 日 (木)	障がい学生支援事業企画検討委員会 (第 1 回)
8 月 24 日 (火)	ノート・パソコン (PC) テイカー養成講座
9 月 2 日 (木)	第 27 回関西障がい学生支援担当者懇談会 (KSSK)
10 月 29 日 (金)	関西障がい学生支援担当者懇談会幹事会 (第 2 回)
11 月 10 日 (水)	テーマ別研修会「入試における合理的配慮」
12 月 2 日 (木)	大学における障がい学生支援に関する高校教員との懇談会
12 月 9 日 (木)	障がい学生支援事業企画検討委員会 (第 2 回)
3 月 2 日 (水)	第 28 回関西障がい学生支援担当者懇談会 (KSSK)

## 各種委員会等の開催について

### (1) 京都学生祭典事業

#### ① 京都学生祭典組織委員会

第 1 回 3 月 12 日 (金)

主要議題：第 19 回決算報告、第 19 回事業方針、事業企画、当初予算ほか

第 2 回 9 月 14 日 (火)

主要議題：第 19 回実施方針、補正予算ほか

第 3 回 11 月 25 日 (木)

主要議題：第 19 回実施・状況報告、第 20 回実行委員会発足ほか

2022 年第 1 回 3 月 29 日 (火)

主要議題：第 20 回決算報告、第 20 回事業方針、事業企画、当初予算ほか

## ② 京都学生祭典企画検討委員会

第1回 1月15日(金)

主要議題：第19回テーマ、第19回プレイベント、広報方針、新歓企画ほか

第2回 3月3日(木)

主要議題：第19回本祭企画、第19回プレイベント、年間事業報告ほか

第3回 5月21日(金)

主要議題：第19回本祭実施方針、事業進捗報告ほか

第4回 7月29日(木)

主要議題：第19回本祭実施方針、事業進捗報告ほか

第5回 9月9日(木)

主要議題：第19回本祭実施方針、補正予算ほか

第6回 11月18日(木)

主要議題：第19回実施・状況報告、決算見込み、第20回実行委員会発足、監査人人選ほか

2022年 第1回 1月21日(金)

主要議題：第20回テーマ・当初予算・各部署実施計画ほか

2022年 第2回 3月15日(火)

主要議題：第19回決算、第20回当初予算・監査人人選ほか

## ③ 京都学生祭典事務局会議

第1回 2月18日(木)

主要議題：第18回事業報告(正式)、第19回当初予算、各部署実施計画ほか

第2回 4月16日(金)

主要議題：第19回本祭企画、第19回プレイベント、各部署実施計画ほか

臨時 5月10日(月)

主要議題：第19回本祭施工業者選定について

第3回 6月18日(金)

主要議題：第19回本祭開催方針、広報・営業方針、企画概要ほか

第4回 8月26日(木)

主要議題：第19回本祭開催方針、補正予算ほか

第5回 10月21日(木)

主要議題：第19回実施・状況報告、決算見込み、第20回実行委員会発足ほか

第6回 12月16日(木)

主要議題：第20回テーマ・当初予算・各部署実施計画ほか

2022年 第1回 2月17日(木)

主要議題：第19回事業報告(正式)、第20回当初予算、各部署実施計画ほか

## (2) 京都国際学生映画祭事業

### ① 京都国際学生映画祭企画検討委員会

第1回 7月6日(火)

主要議題：本祭会場、企画検討委員長任命、コンペ応募状況、一次審査状況、企画案提出、他  
第2回 10月22日(金)

主要課題：開催形態の検討、二次審査状況、最終審査員報告、企画案提出 他

第3回 12月上旬 ※臨時開催(書面開催)

主要課題：開催形態の検討

第4回 2022年1月18日(火)

主要課題：入選作品報告、本祭プログラム枠、広報協力依頼 他

第5回 2022年1月28日(金)

主要課題：開催形態、感染防止対策

第6回 2022年3月下旬

主要課題：第24回開催報告、第25回委員会発足、第25回コンペ募集 他

### (3) 障がい学生支援事業

#### ① 障がい学生支援事業企画検討委員会

第1回 7月15日(木)

主要議題：委員長選出、2021年度障がい学生支援事業、KSSK開催

第2回 12月9日(木)

主要議題：2022年度障がい学生支援事業、KSSK開催、2021年度事業実施報告

#### ② 関西障がい学生支援担当者懇談会(KSSK)幹事会

第1回 6月29日(火)

主要議題：第27回KSSKの開催について

第2回 10月29日(金)

主要議題：第28回KSSKの開催について

以上

### (1) 国際連携事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

「第5ステージプラン」では、大きな柱の一つとして「オール京都での国際交流推進」を掲げ、大学コンソーシアム京都が取り組む国際連携事業について

- ① 留学生誘致・支援事業
- ② 学生の海外留学・交流促進事業
- ③ 教職員のグローバル化支援事業

を主な推進施策とするとともに、関連した数値目標・活動指標を設定した。

※①②③ともに、2021年度も新型コロナウイルス感染症による影響が不可避な状況であることから、具体的な事業実施に関しては社会情勢を踏まえながら慎重に対応することとしている。

#### ① 留学生誘致・支援事業

2015年度から、大学コンソーシアム京都が事務局となり、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関など産官学のオール京都による留学生誘致・支援組織「留学生スタディ京都ネットワーク」を設立し、留学生の受入体制の強化、留学生と留学生同士・日本人学生等との交流促進を図ってきた。第5ステージプランにおいては、「留学先としての京都」の認知度・ブランド力の更なる向上に向け、観光と連携した「学びのまち」の情報発信など、より効率的・効果的な留学生誘致プロモーション活動等に取り組んでいくこととしている。

また、京都で学ぶ留学生に対する交流・日本語学習・就職等の支援として、留学生と地域活動団体等との交流や留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrowAcademy（京トゥモローアカデミー）」をプラットフォームとした日本語学習支援（スタディグループ等）、企業見学ツアー、他の団体との連携による就職支援、日本人学生と留学生の交流などに取り組むとともに、留学生対象のインターンシッププログラムの実施や、留学生向け就職支援情報ポータルサイト、留学生のための住宅情報発信サイトの運営などを行った。

（詳細については（2）～（3）を参照）

#### ② 学生の海外留学・交流促進事業

2021年度も単位互換を利用した豪州メルボルン（龍谷大学主催）への海外派遣プログラムを引き続き行うとともに、IELTS、TOEFLをはじめとする語学習得支援や「英語で京都をプレゼンテーション」研修を実施し、加盟校学生の留学促進や将来の京都において国際人として活動する意識の活性化を目指し、取り組みを進めてきた。

また、加盟校において学生向け海外語学研修が行われている一方で、財団に留学プログラムの開発や広報を期待する意見もあることから、例えば、1～2週間程度の期間で安価、安全かつ質の高い英語

学習環境を提供できる、近場の東南アジアなどをフィールドとした安近短（安全・近場・短期）のプログラム開発等に向けた検討を行った。

### ③ 教職員のグローバル化支援事業

加盟校教職員向けスキルアップ研修（計7回実施）や、教職員向け「IELTS pretesting」を引き続き行い、教職員のスキルアップを支援していくものである。

また、加盟校における教職員の研修方法や留学生対応、海外大学との交流実績等の各校取組事例を共有することを通じた加盟校の国際化に向けた取組支援について、タイムリーかつニーズの高いテーマを設定し、茶話会やセミナー形式で引き続き実施してきた。

## 【②③に係る実施スケジュール（主要事項）】

### ＜オーストラリア（メルボルン）語学研修プログラム留学 ※単位互換〔龍谷大学国際学部主催〕＞

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう、大学コンソーシアム京都とビクトリア大学連携組織との協定に基づくオーストラリアビクトリア州メルボルン（4大学）での留学派遣プログラムを実施。

※渡航先であるオーストラリアの感染症危険情報がレベル2であることから、科目提供校である龍谷大学において本留学プログラムはオンライン留学とすることが決定（8月31日付け）したため、後期募集に向けた説明会等についてはオンライン留学を前提としたものに変更。

※メルボルン4大学中2大学〔デューク大学・ビクトリア大学〕から研修先の附属語学学校を選択可能

※スペイン工科大学も選択可能だったが急遽中止となり2大学選択制に変更（2020年度は2大学）

4月2日	説明会プレゼンテーション（8名参加） ※オンライン
4月6日	説明会プレゼンテーション（動画配信：龍谷大学ポータルサイト）
9月9日	説明会プレゼンテーション〔後期〕（16名参加）
10月6日	語学研修オリエンテーション①（5名参加） ※履修登録者数5名
11月10日	語学研修オリエンテーション②（3名参加）
12月8日	語学研修オリエンテーション③（5名参加） ※プレスマットテスト
2月3日	オフ会①（5名参加） ※オンライン留学前の交流（対面）
2月8日、10日	語学研修オリエンテーション④（5名参加、各大学毎に開催）
2月14日 ～3月11日	語学研修プログラム（オンライン）受講（5名参加） 〔デューク大学（龍谷大1、京都先端大1）ビクトリア大学（龍谷大1、京都女子大2）〕
3月22日	オフ会②（5名参加） ※オンライン留学後の振り返り交流（対面）

### ＜英語で京都をプレゼンテーション＞

海外留学を目指す学生や英語で日本・京都の魅力を発信することに興味がある学生を対象に、日本文化や京都の奥深い魅力を英語で知り理解する機会を提供し、京都や日本の魅力について英語でプレゼンテーションできる能力の向上を図る研修事業を実施。

※2021年度については、オンラインを基本としつつ、状況に応じて対面講座を開催

5月29日	①icebreak、日本概論、京都概論、伝統文化講義 ※オンラインに変更 (13名参加)
6月5日	②伝統文化茶道体験 (13名参加) ※オンラインに変更
6月12日	③伝統文化華道体験 (13名参加) ※オンラインに変更
6月19日	④日本・京都の衣食住講義、名所講義 (13名参加) ※オンラインに変更 (スケジュールも変更: 当初の④と⑤を入れ替え)
7月3日	⑤日本庭園見学 [名勝無鄰菴]、留学生セッション (13名参加) ※対面開催
7月10日	⑥個人プレゼンテーション (13名参加) ※対面開催※修了者13名

※修了者のうち希望者には、京都市から「京都 PR 学生大使」に任命。

※「京都 PR 学生大使」任命式 8月3日 (於:京都市役所) 9名出席 (修了者13名中希望者12名任命)

### <TOEFL iBT テストスキルアップセミナー>

日本人学生の海外留学促進に向けた IELTS や TOEFL など英語試験対策講座を実施。

10月23日	TOEFL iBT テストスキルアップセミナー (21名参加)
--------	---------------------------------

### <学生向け IELTS Pretesting 体験会>

日本人学生の海外留学促進に向けた IELTS や TOEFL など英語試験対策講座を実施。

8月5日	学生向け IELTS pretesting 体験会 (41名参加)
------	-----------------------------------

### <教職員スキルアップ研修>

高等教育の国際化が加速するなか、大学教員・職員の英語運用能力に加え、多様な文化的背景を持つ留学生と円滑な意思疎通を図るための、語学を超えた習慣や社会通念、宗教等への理解も欠かせないものとなっていることから、実務能力の底上げとスキルアップに対する意欲向上を図るため、様々な場面を想定したケーススタディができる英語運用能力向上研修や英語圏以外の文化を学ぶ研修を実施。

※全7回実施 (英語研修5回+多文化理解研修2回)

※すべてオンライン講座。講座により平日 (午前、午後) に分割実施。

①【語学】	「アクティブラーニング演習:遠隔授業に活かせる英語を使った科目の教授法」 〔講師:西川美香子氏 (長崎大学多文化社会学部准教授)〕 7月24日 (4名参加)
②【語学】	「Meeting & Discussion (会議討論 中級~上級)」※2回シリーズ 〔講師:マルコ・ロホ氏 (株式会社アイベック)〕 第1回:7月30日 (13名参加) 第2回:8月6日 (12名参加)
③【語学】	「Everyday Communication (日常英会話 初級)」※2回シリーズ 〔講師:マーク・オーウェン・コスロウスキ氏 (株式会社アイベック)〕 第1回:7月30日 (8名参加) 第2回:8月6日 (7名参加)
④【文化】	「中国文化理解研修」※2回シリーズ 〔講師:南 連氏 (株式会社アイベック)〕 第1回:8月26日 (13名参加)

	第2回：9月2日（13名参加）
⑤【語学】	「Email研修」※2回シリーズ 〔講師：マーク・オーウェン・コスロウスキ氏（株式会社アイベック）〕 第1回：8月26日（13名参加） 第2回：9月2日（12名参加）
⑥【文化】	「海外留学生受入のための異文化コミュニケーション」※2回シリーズ 〔講師：ハンガール・フリヤヒタ氏（株式会社アイベック）〕 第1回：9月7日（13名参加） 第2回：9月14日（13名参加）
⑦【語学】	「ビジネス英語リテラシー：大学における異文化理解と英語によるコミュニケーション」 〔講師：西川美香子氏（長崎大学多文化社会学部准教授）〕 9月25日（4名参加）
	※計 68名

#### <教職員向け IELTS Pretesting 体験会>

学生からの問い合わせへの対応力を高めるため、英語試験対策講座のうち IELTS については、教職員向けの Pretesting も実施。

8月19日	教職員向け IELTS pretesting 体験会（8名参加）
-------	----------------------------------

#### <加盟校の国際化に向けた取組事例共有セミナー>

教職員の国際化支援の一環として、大学における様々な国際化の取組に係る事例共有セミナーを実施。

3月3日	立命館大学におけるオンライン留学の事例共有について ～立命館×UC デービス Global Online Study プログラムを中心に～ (4名参加) 〔講師：立命館大学 政策科学部 准教授 OIC 国際教育センター長（国際部副部長）：豊田 祐輔 氏〕
------	---

#### <安近短（安心・安価、近場、短期）な語学留学プログラムの開発>

加盟校学生に様々なレベルでの留学機会を提供できるよう従前から取り組んでいる「オーストラリアメルボルンにおける海外語学研修」に加え、中長期にわたる本格的な海外留学につながるきっかけづくりを促進するため、留学初心者でも参加しやすい安近短な留学プログラムを新たに開発することを目指し、事例調査などの情報収集を継続的に進めてきている。

## (2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

2015年度から京都地域における留学生（外国人研究者を含む。以下同じ）の誘致、受入体制の整備や、留学生の知識・経験を地域の国際化や活性化に活かすための仕組みづくりをオール京都で推進し、「大学のまち・学生のまち」としての京都の魅力向上を図るため、加盟大学、日本語学校・専修学校等の教育機関、企業、関係業界団体、関係公的機関等による「留学生スタディ京都ネットワーク」を運営している（2022年3月末時点、96機関が加入）。

2021年度実施事業は下記のとおりであるが、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響が不可避な状況であったため、情勢を踏まえながら慎重に判断・対応してきた。

#### 1 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）

- 京都留学総合ポータルサイトの運営
- 留学生PRチームの運営
- 海外教育旅行向け支援メニューの提供
- 「留学先としての京都」のブランド力測定手法等の検討

#### 2 各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

- 国内外での京都進学説明会等の開催
- 京都留学ガイド「STUDY KYOTO」の活用
- 会員向けセミナー・交流会の開催

#### 3 留学生受入環境の整備

- 留学生向けインターンシップの実施【有給・無給ハイブリッド型として実施】
- 留学生のための住宅情報サイトの運営
- 留学生向け就職支援事業の連携促進
- 留学生支援・交流コミュニティの運営

### 【実施スケジュール（主要事項）】

#### ■ 「留学先・学びのまち」としての認知度の向上（情報発信）

##### <京都留学総合ポータルサイト「STUDYKYOTO」の運営>

7言語（英・簡・繁・韓・タイ・ベトナム・日）により、京都の学校情報、生活情報、就職情報等、京都留学に関する情報を留学検討層と在京留学生向けに発信。

在校生インタビューや留学生・OBOGインタビュー、Magazine記事の追加等コンテンツの充実を図りつつ、ユーザーコミュニケーションツール「TETORI」を活用し、サイト来訪者をより関心の高いコンテンツへと、より効率的・効果的に誘導するとともに、サイトへの集客力・留学見込層の獲得強化のためのMagazine記事試行掲載や記事回遊性を高めるインターフェースを検討するなど、ユーザー満足度の向上を図った。

アクセス数：136,443セッション（3月末現在） ※2021年度 149,472セッション

## ＜留学生PRチームの運営＞

京都で学ぶ現役留学生によるPRチームが、各国における日本留学関連の情報収集、京都の留学情報の現地向け発信をソーシャルメディア等により行った。

7か国（地域）〔中国、韓国、台湾、タイ、インドネシア、ベトナム、米国〕、9名体制でFacebook（英語、タイ語、中国語繁体字）、共通のInstagram、YouTubeを、また、中国へのPR強化のため、中国版SNSのWeiboとWeChat、動画投稿サイトBilibiliで発信を行っており、順調にファン数を伸ばしている。

〔Study Kyoto Facebook〕

英語（20,109ファン）、Thailand（4,992ファン）、京都留学情報（2,487ファン）

〔Study Kyoto Weibo〕 1,214フォロワー 〔Study Kyoto WeChat〕 2,280フォロワー

〔Study Kyoto YouTube〕 1,119フォロワー 〔Study Kyoto Bilibili〕 233フォロワー

〔Study Kyoto Instagram〕 1,495フォロワー

※2022.3末現在

## ＜教育旅行支援＞

日本を修学旅行（教育旅行）先として訪れる海外の高校生・大学生ツアーグループ、教職員グループに対し、京都滞在ツアーの一部（1日・半日）について、京都留学情報の提供や京都の大学・日本語学校・専修学校等を交えた説明会、京都の大学等からの模擬講義、学生交流等のコンテンツをコーディネートする教育旅行支援を実施するもの。

2021年度については新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、海外からの来訪がなく、事業見送りとなった。

## ■各大学・日本語学校の誘致活動等の支援

### ＜京都留学説明会等＞

NW加盟校の留学生誘致活動等の支援として、海外で京都に特化した京都留学説明会を開催し、京都の留学先としての知名度向上を目指すとともに、留学生の誘致促進を図るもの。

2021年度についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響で引き続き国際的な人の往来の状況が見通せないため、現地での誘致活動はできなかったが、日本留学オンラインフェアへの出展など、オンライン出展が可能なものに対しては積極的に参加した。

インドネシア	日本留学フェア（オンライン）〔主催：Jeducation〕 8月28日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 73名 9月5日 ※「STUDY KYOTO」ブース 個別相談会 22名 ※フェア全体参加者数（説明会 272名、個別相談会延べ 228名） 3月5日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 47名 3月12日 ※「STUDY KYOTO」ブース 個別相談会 11名 ※フェア全体参加者数（説明会 344名、個別相談会延べ 773名）
韓国	日本留学フェア（オンライン）〔主催：ライセンスアカデミー〕 7月11日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 18名、グループ相談会 18名 ※フェア全体参加者数（延べ 365名）
5地域合同 （中国、香港、マカオ、	日本留学フェア（オンライン）〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 11月20日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 40名 11月27日 ※「STUDY KYOTO」ブース 相談会 5名

台湾、マレーシア)	日本留学フェア（オンライン）〔主催：日本留学支援協会（香港）〕 2月19日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 23名 2月26日 ※「STUDY KYOTO」ブース 相談会 3名
中国	日本留学フェア（オンライン）〔主催：株式会社 GES〕 ※生中継のみ 7月13日 ※「STUDY KYOTO」ブース（瞬間最高視聴者数） Bilibili 6,602名 中国江西省学校訪問〔主催：立命館大学、京都芸術大学〕 10月13日 南昌外国語学校（職員5名、学生5名、保護者40名） 江西師範大学附属外国語学校（職員5名、学生5名、保護者27名） 10月14日 九江外国語学校（職員3名、学生3名、保護者117名） 10月15日 民徳学校（職員1名、学生1名、保護者49名） ※立命館大学北京事務所の協力による京都留学のPR ※大学コンソーシアム京都についてはビデオ参加とし、京都留学説明動画、留学生ショートムービーコンテスト受賞作品を放映
タイ	日本留学フェア（オンライン）〔主催：Jeducation〕 2月13日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 53名 2月20日 ※「STUDY KYOTO」ブース 相談会 7名 ※フェア全体参加者数（延べ1,136名）
英国	Experience Japan Exhibition（英国：オンライン）〔主催：慶応義塾大学ほか〕 11月20日 ※「STUDY KYOTO」ブース 説明会 29名
ベトナム	ベトナム（フエ・ダナン）での京都留学PR ※2020年度は立命館大学 ASEAN 事務所の独自誘致活動の中で京都留学のPR、ネットワークの京都留学説明会開催への協力告知をさせていただく機会があったが、2021年度は独自誘致活動をされないこととなった。

（日本留学海外拠点連携推進事業との連携によるフェア出展）

カンボジア	日本留学フェア（オンライン）〔主催：岡山大学（バンコク事務所）〕 6月19日 視聴者（110名）※カンボジア学生（大学生約4割、高校生約3割） ※京都留学説明動画、留学生ショートムービーコンテスト受賞作品放映のみ
南西アジア地域向け（インド・スリランカ・バングラデッシュなど）	日本留学セミナー（オンライン）〔主催：東京大学（インド事務所）〕 11月26日 視聴者（145名） ※インド・スリランカ・バングラデッシュを中心とした南西アジア有力高校・大学、卒業生ネットワークを活用して集客する高校生・大学生等 ※京都留学説明動画、留学生ショートムービーコンテスト受賞作品放映のみ

### <首都圏及び京都の日本語学校への京都留学説明会等>

国内における留学生誘致をより戦略的に進めていくため、首都圏の日本語学校で学ぶ留学生を主な対象に、京都の大学等への進学を促進することを目的とした「京都の大学等進学説明会」、「留学生を対象とした京都の学び体験ツアー」、「日本語学校の教職員向け京都の学び交流ツアー」による誘致活動を実施。

京都進学説明会、ツアー部分ともに、2021年度も県境をまたぐ人の移動を伴う事業の見通しが立てにくかったことから、オンラインに切り替えて実施してきた。

〔首都圏の日本語学校をターゲットとした誘致事業〕

【首都圏の日本語学校における京都進学説明会（オンライン）】

<合同説明会>

6月23日	芸術系大学・短期大学・専門学校進学者向け (留学生 85 名、教職員 21 名参加)	
	午前	(留学生 42 名、教職員 10 名参加) ※参加学校：京都芸術大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、 京都美術工芸大学、池坊短期大学、京都芸術デザイン専門学校、京都コンピュータ学院、大和学園(8校)
	午後	(留学生 43 名、教職員 11 名参加) ※参加学校：京都芸術大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、 京都美術工芸大学、池坊短期大学、京都コンピュータ学院、大和学園、日産京都自動車大学校(8校)
6月24日	文・理系学部進学者向け(留学生 116 名、教職員 18 名参加)	
	午前	(留学生 37 名、教職員 9 名参加) ※参加学校：京都外国語大学、京都産業大学、京都精華大学、京 都先端科学大学、京都大学、同志社大学、佛教大学、 立命館大学、龍谷大学(9校) ※動画のみ：京都橘大学(1校)
	午後	(留学生 79 名、教職員 9 名) ※参加学校：京都外国語大学、京都産業大学、京都精華大学、京 都先端科学大学、京都大学、同志社大学、立命館大 学、龍谷大学(8校) ※動画のみ：京都橘大学、京都ノートルダム女子大学(2校)
6月25日	文・理系大学院進学者向け(留学生 81 名、教職員 13 名参加)	
	午前	(留学生 38 名、教職員 7 名参加) ※参加学校：京都外国語大学、京都情報大学院大学、京都大学、 同志社大学、立命館大学、龍谷大学(6校)
	午後	(留学生 43 名、教職員 6 名) ※参加学校：京都外国語大学、京都情報大学院大学、京都大学、 同志社大学、立命館大学、龍谷大学(6校)
7月8日	首都圏等日本語学校教職員合同(教職員 30 名参加) ※参加学校：京都先端科学大学、京都大学、京都ノートルダム女子大学、 佛教大学、龍谷大学、京都芸術デザイン専門学校(6校)	
7月9日	首都圏等日本語学校教職員合同(教職員 38 名参加) ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都女子大学、京都精華大 学、京都府立大学、立命館大学、大和学園(7校)	

※計 402 名(留学生 282 名、教職員 120 名)

<個別説明会>

7月16日	JCLI 日本語学校(留学生 112 名、教職員 9 名参加) ※参加学校：京都外国語大学、京都大学、京都精華大学、立命館大学、 龍谷大学(5校) ※資料のみ：京都芸術大学、京都先端科学大学、京都府立大学、佛教大 学(4校)
7月20日	国際善隣学院(留学生 120 名、教職員 9 名参加) ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都精華大学、京都先端 科学大学、京都大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学(8 校)

7月28日	ミツミネキャリアアカデミー（留学生40名、教職員4名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都精華大学、京都先端科学大学、京都大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学（8校）
7月29日	ミッドリーム日本語学校（留学生137名、教職員14名参加） ※参加学校：京都外国語大学、京都芸術大学、京都精華大学、京都先端科学大学、京都大学、佛教大学、龍谷大学（7校）
8月27日	東京早稲田外国語学校（留学生28名、教職員11名参加） ※参加学校：京都外国語大学、佛教大学、京都先端科学大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都芸術大学、京都ノートルダム女子大学（7校） ※動画のみ：京都橘大学（1校）

※計484名 留学生437名、教職員47名

※全体計886名 留学生719名、教職員167名

**【京都の学び体験ツアー（留学生対象）】※ツアー形式は見送り。文化体験等オンラインイベント。**

7月22日	オンライン「マンガ体験〔京都国際マンガミュージアム〕＋先輩留学生座談会」 （参加者数 留学生10人 ※先輩留学生（バディ）8人）
7月31日	オンライン「京友禅体験〔丸益西村屋〕＋先輩留学生座談会」 （参加者数 留学生6人 ※先輩留学生（バディ）10人） ※京友禅体験のみ、日本語学校教職員3名参加
8月6日	オンライン「宇治茶体験〔京都府山城広域振興局〕＋先輩留学生座談会」 （参加者数 留学生7人 ※先輩留学生（バディ）11人） ※宇治茶体験のみ、日本語学校教員1名参加

※計 留学生23名、教職員4名

**【京都の学び交流ツアー（教職員対象）】※ツアー形式は見送り。オンライン交流会（1対1面談形式）。**

10月28日 10月29日	オンライン教職員交流会（1対1面談形式） （首都圏日本語学校教職員9校20名参加、京都の大学・専門学校13校18名参加） 首都圏側：カナン国際教育学院、新宿日本語学校、千駄ヶ谷日本語学校、東京ギャラクシー日本語学校、東京早稲田日本語学校、メロス言語学院、ISIグローバル、JCLI日本語学校、KCP地球市民日本語学校 京都側：京都外国語大学、京都芸術大学、京都光華女子大学、京都女子大学、京都精華大学、京都橘大学、京都ノートルダム女子大学、同志社大学、佛教大学、立命館大学、龍谷大学、京都芸術デザイン専門学校、大和学園
------------------	--

【京都の日本語学校をターゲットとした誘致事業】

【京都の大学や専門学校を知る機会の創出】

京都の日本語学校に在籍する留学生の京都の大学および専門学校への進学率を高めるため、京都の大学が開催するオープンキャンパスへの参加促進企画を実施。

7月1日～ 9月30日	京都のオープンキャンパスに行こう！キャンペーン (応募者数 1名)
----------------	--------------------------------------

※ネットワーク加盟大学・専門学校によるオープンキャンパス(バーチャル版含む)に2校以上参加し、その感想等を応募フォームに記入する。応募者の中から抽選で一定者に対して景品を贈呈。

<京都留学生ショートムービーコンテスト 2021 (動画コンテスト) >

コロナ禍によるオンラインイベントの浸透を背景に、2020 年度に引き続き動画コンテストを実施する。留学生目線での京都留学の魅力を映像化した作品を募集し、国内で学ぶ留学生や海外の学生に向けたコンテンツとして活用することで、京都への留学生誘致につなげるもの。

(過去、2017、2018、2020 年度に実施。通算 4 回目)

6月28日	チームエントリー受付開始
8月10日	チームエントリー締切 (エントリーチーム数 44 チーム)
11月9日	応募作品締切 (応募作品数 14 作品)
～11月16日	一次審査 (→通過作品を動画コンテストサイトに一斉掲載)
11月16日 ～12月中旬	観客賞の一般投票受付 (一次審査通過作品 12 作品) ※観客賞投票総数 (650 票) 審査員による最終審査
12月18日	オンライン授賞式 (審査結果等発表) (参加者 18 名)

【テーマ】 京都留学の魅力

国内(京都以外)で日本語を学ぶ留学生及び海外在住で留学を考えている学生向けに「京都に留学・進学したい」と思ってもらえる京都留学の魅力をPRする映像(表現方法は自由)

【審査員】 京都精華大学 教授 伊奈 新祐 氏  
京都芸術大学 教授 大西 宏志 氏  
株式会社ディレクターズエブ 代表 板倉 一成 氏

【各賞】 最優秀賞 100,000 円 (1 作品)  
優秀賞 50,000 円 (1 作品)  
審査員特別賞 20,000 円 (3 作品以内)  
学生賞 10,000 円 (1 作品)  
観客賞 10,000 円 (1 作品)

【受賞作品】

最優秀賞	「KYOTO CAN」 Nguyen Ngoc My (京都工芸繊維大学)
優 秀 賞	「Once in a Lifetime」 Matthew T. Kamiyama (京都大学)
審 査 員 特 別 賞 (3 作品)	○ 「KYOTO DRIFT-Mama chari」 Giorgia Serpani (京都大学・京都外国語大学) ○ 「MY Wabi-Sabi」 AISYAH TRI ASTARI (京都大学) ○ 「Kyoto is」 LandArch Studio (京都大学)
学 生 賞	「KYOTO CAN」 Nguyen Ngoc My (京都工芸繊維大学) 【重複】
観 客 賞	「KYOTO DRIFT-Mama chari」 Giorgia Serpani (京都大学・京都外国語大学) 【重複】

＜留学生スタディ京都ネットワーク会員向けセミナー＞

先進事例等の把握や会員間の交流促進のため、有識者を招いたセミナー・交流会等を実施。

4 月 23 日	2021 年度留学生スタディ京都ネットワーク総会※オンライン 〔希望団体からの情報提供を併せて実施〕 (86 団体参加)
7 月 1 日	外国人留学生の在留審査手続の申請取次に係る研修会 (117 名参加) ※オンライン 〔講師：下茂 秀樹氏 (大阪出入国在留管理局京都出張所主席審査官)〕
11 月 24 日	留学生メンタルヘルス研修会 (21 名参加) ※オンライン 〔講師：大橋 敏子氏 (多文化間メンタルヘルス研究会代表) 〕

■留学生の受入環境整備・コンテンツの強化

(\*) 印は「留学生支援・交流コミュニティ(KyoTomorrow Academy)事業」関連事業

【就職支援】

＜留学生向けインターンシップ＞【有給・無給ハイブリッド型として実施】

京都地域の大学等で学ぶ留学生に、京都地域の企業の事業内容を理解する機会を提供するとともに、留学生と企業との相互理解を深め、卒業後の京都における採用促進や就職後の定着を図るため、有給及び無給によるインターンシッププログラムを提供。

5 月 19、21、22 日	オンラインガイダンス (19 日 22 名参加、21 日 18 名参加、22 日 23 名参加) ※計 63 名
6 月 19 日	企業との交流会【オンライン】(留学生 47 名、企業 14 社参加) ※正式エントリー (留学生 46 名、企業 18 社)
8 月上旬	マッチング決定 (留学生 26 名 [有給 9 名、無給 17 名] ※9ヶ国・地域 企 業 15 社 [有給 7 社、無給 8 社])
8 月 10 日	事前研修①【オンライン】(26 名参加)
8 月 11 日	事前研修②【オンライン】(26 名参加)
8 月上旬～9 月下旬	インターンシップ就業 (15 社 26 名)
11 月 6 日	事後研修【オンライン】(20 名参加)
11 月 20 日	成果報告会・交流会【オンライン】 (留学生 22 名、企業 7 社 9 名、大学等 8 名参加)

### <企業訪問プログラム Company Visit（\*）>

京都企業について学ぶ機会の少ない留学生に訪問の機会を提供することにより、京都企業の理解と留学生の京都での就職・定着の促進を図るもの。

7月17日	Company Visit①「ワコール」（12名参加） ※後述日本語運用力向上講座内で企業人登壇として
7月31日	Company Visit②「彌榮自動車」（9名参加） ※後述日本語運用力向上講座内の企業訪問として
11月13日	Company Visit③「京都信用金庫（@クエスチョン）」（14名参加）

### <就業支援事業連携促進>

京都で学ぶ留学生がスムーズに就職活動を行えるよう、就業支援事業を行う団体が連携を図り事業を実施しており、その一環として、京都の大学等の就職支援担当者を対象に、留学生向け就業支援事業の紹介を行う「留学生対象就業支援事業説明会」を開催。

4月14日	大学・学校向け留学生対象就業支援事業説明会（オンライン）（22名参加）
9月21日	第1回就業支援担当者連絡会議
3月11日	第2回就業支援担当者連絡会議

### <合同就職説明会（\*）>

他の団体と連携した留学生や企業向け交流会・合同説明会を実施。

9月24日	外国人留学生と企業との交流会【オンライン】 （主催：京都市・京都高度技術研究所・京都府・京都府国際センター 共催：大学コンソーシアム京都他）（留学生53名、企業9社31名参加）
-------	--

### 【交流支援】

#### <留学生の交流・連携促進（\*）>

留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy（京トゥモローアカデミー）」を活かした、学生生活や就職活動等における留学生同士、留学生と日本人学生、留学生と地域活動団体等との交流を促進。

[KTA コミュニティ活動等]

4月24日	茶禅&折り紙（KTAサポートチームによる体験・情報発信） 〔京都市国際交流協会主催〕
	日本庭園〔無鄰菴〕（KTAサポートチームによる体験・情報発信）
6月12日	和菓子作り体験（KTAサポートチームによる体験・情報発信）※オンライン 〔京和菓司よし廣主催〕
6月27日	陶芸&着物（KTAサポートチームによる体験・情報発信）〔瑞光窯主催〕
7月18日	浴衣で無鄰菴訪問（KTAサポートチームによる体験・情報発信） 〔京都市国際交流会館主催〕
8月4日	京都水族館訪問（KTAサポートチームによる体験・情報発信）

10月3日	御朱印集めサイクリングツアー（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔サイクルベースあさひ洛西店主催〕
11月14日	紅葉狩り体験（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔VELTRA 主催〕
11月27日	地域交流イベント「京丹波黒豆の学校」（後述）〔STUDY KYOTO 主催〕
12月11日	京都タワーでいけばな交流（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔京都市国際交流会館主催〕
12月18日	クリスマスリースづくり体験（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔DIY WORK' S KYOTO 主催〕
1月22日	International Students' Day（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔京都国立博物館主催〕
1月23日	京都市交響楽団定期演奏会見学（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔京都コンサートホール北山主催〕
2月24日	匂袋作り体験（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔山田松香木店主催〕
2月26日	禅を知り精神統一@南禅寺（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔京都市国際交流協会主催〕
3月19日	お気に入りのマンガを紹介しよう（KTA サポートチームによる体験・情報発信） 〔京都市国際交流協会、京都国際マンガミュージアム主催〕

#### 〔交流イベント〕

10月9日 10月23日	京都市京セラ美術館を舞台としたワークショップ※対面 市美術館ラーニングキュレーターによる美術館紹介とラーニング ツールを用いたワークショップ 9日（17名参加）、23日（12名参加）※両日とも同内容
12月15日	年賀状づくりをしよう！（15名参加）※対面 ※後述日本語で話そう⑤として実施
12月25日	和菓子作りワークショップ〔よし廣製菓（株）〕（15名参加）※オンライン ※後述日本語で話そう⑥として実施

#### （その他）

KTA サポートチーム定例ミーティングを開催（月1～2回）。※原則オンラインで実施

#### 〔留学生と地域の交流・連携促進〕

留学生と留学生の交流を希望する市民活動団体等との交流会を開催し、マッチングの機会を創出するとともに、留学生交流事業担当者会議をベースに、担当者間の情報共有や留学生交流に関する情報の効果的な発信手法の検討など事業連携を促進するもの。2020年度はコロナ禍により事業見送りとなったが、2021年度は京丹波地域の地元の方にもご協力いただき、少人数で感染対策を実施したうえで、現地での促進事業を実施。

9月21日	第1回留学生交流事業担当者会議
11月27日	「京丹波黒豆の学校」 〔田舎に触れて考える～農村地域の人たちとの交流の集い～〕 (19名参加) ※地域の参加者11名 〔※協力等：京都府南丹広域振興局、森の京都地域振興社（森の京都DMO）、京丹波町竹野地域（竹野活性化委員会）〕 ※対面開催
3月11日	第2回留学生交流事業担当者会議

### 【日本語学習支援】

#### <日本語を話そう！ Chat IN Japanese (旧：日本語学習グループ BN2 (\*)) >

学生サポーターを中心とした日本語スタディグループを開催。

(BN2はN2を超える“beyond N2”の意)

6月3日	日本語勉強会 BN2 ① (9名参加) ※オンライン
6月17日	日本語勉強会 BN2 ② (9名参加) ※オンライン
7月1日	日本語勉強会 BN2 ③ (9名参加) ※オンライン
7月24日	日本語勉強会 BN2 ④ (7名参加) ※オンライン
8月5日	日本語勉強会 BN2 ⑤ (9名参加) ※オンライン
8月21日	日本語勉強会 BN2 ⑥ (11名参加) ※オンライン
10月12日	日本語で話そう！① (20名参加) ※オンライン
10月28日	日本語で話そう！② (16名参加) ※オンライン
11月16日	日本語で話そう！③ (20名参加) ※オンライン
11月25日	日本語で話そう！④ (20名参加) ※オンライン
12月7日	日本語で話そう！⑤ (15名参加) ※対面 ※年賀状作りをしよう！
12月25日	日本語で話そう！⑥ (15名参加) ※オンライン ※和菓子作りワークショップ〔よし廣製菓(株)〕
1月15日	日本語で話そう！⑦ (16名参加) ※オンライン
1月29日	日本語で話そう！⑧ (18名参加) ※対面

(その他)

BN2 サポートチーム定例ミーティングを開催 (月 1~2回)。※原則オンラインで実施

#### <日本語運用力向上講座 (\*)>

留学生の日本語運用力の更なる向上を目指し、何らかの知識・経験が得られる機会と併せて日本語学習ができるセミナーを企画・開催。

6月26日	日本語学習支援プログラム～キャリア形成のための日本語学習①～ (全4回シリーズ) (13名参加) ※登録15名 「オリエンテーション、自己紹介の基礎について学ぶ」 〔講師：京都光華女子大学キャリア形成学科 教授 上田 修三氏〕
7月3日	日本語学習支援プログラム～キャリア形成のための日本語学習②～ 「名刺+履歴書」(12名参加) 〔講師：京都光華女子大学キャリア形成学科 教授 上田 修三氏〕
7月17日	日本語学習支援プログラム～キャリア形成のための日本語学習③～ 「会社説明と就職活動をテーマに(企業人ゲスト回)」(12名参加) 〔登壇者：株式会社ワコール健康保険組合 常務理事 柏木 裕之氏〕 〔講師：京都光華女子大学キャリア形成学科 教授 上田 修三氏〕 ※前述 CompanyVisit①としても実施
7月31日	日本語学習支援プログラム～キャリア形成のための日本語学習④～ 「会社説明と会社見学をテーマに(企業訪問回)」(9名参加) 〔登壇者：彌榮自動車株式会社 不動産事業部 次長 熊谷 保氏〕 〔講師：京都光華女子大学キャリア形成学科 教授 上田 修三氏〕 ※前述 CompanyVisit②としても実施

#### (\*) 留学生支援・交流コミュニティ事業

留学生生活・就職活動の体験や情報を共有する仲間を増やすための留学生支援・交流コミュニティ「KyoTomorrow Academy(京トゥモローアカデミー)」を活かして、「日本語学習支援」(日本語スタディグループ(BN2)や日本語力改善セミナーの運営)、「就職支援」(地元企業を知る企業見学ツアー(Company Visit)や他団体との連携による就職支援)、「交流支援」(留学生同士、留学生と日本人学生、留学生と地域活動団体等との交流機会の創出)を実施。

### (3) 留学生支援事業(京都地域留学生住宅支援制度)

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

「京都地域留学生住宅支援制度」については、当財団が「京都地域留学生住宅支援機構(以下、「支援機構」という)」の事務局を担い、委員会開催、会員証発行、包括契約書締結、機関保証事務、事故対応等の業務(通年)を行ってきた。しかしながら近年各学校において、賃貸保証会社を利用する動きが盛んになり、本事業が極めて限られた学校でのみ利用されている状態になっていた。こうした動きを踏まえ、2017年度に本事業利用大学等によるワーキングを設置し、本事業の将来的な廃止も視野に入れた検討を行い、2018年4月の委員会において、2018年度末での新規入会停止及び現在会員の留学生は2019年度以降も会員資格を継続すること等を確認した。(継続会員へのサービスのみ実施中)

2021年度末ですべての継続会員の期限が終了することから、今年度中に制度廃止に向けた具体的協議を行うこととしていたが、9月15日に京都地域留学生住宅支援機構第2回委員会を開催(オンライン)し、

- ・2021年度末をもって機構を解散すること
- ・2021年度末の残余財産については留学生スタディ京都ネットワークに寄付すること

(使途は留学生に対する住宅支援の目的に特定して寄付)

- ・2022年度当初に発生する残務処理は寄付受納する留学生スタディ京都ネットワークが行うこと
- ・万が一、機構解散後にトラブルが発生した場合は関係大学と留学生スタディ京都ネットワークで対応すること

などを確認のうえ決議を行い、全会一致で承認された。

**<参考：京都地域留学生住宅支援機構構成員>**

京都市立芸術大学、京都外国語大学、京都教育大学、京都産業大学、京都芸術大学  
京都府立大学、花園大学、佛教大学、龍谷大学（9大学）

（事務局：大学コンソーシアム京都）

## 国際事業部 各種委員会等の開催について

### (1) 国際連携事業

#### ① 国際連携事業運営委員会

12月3日 第一回会議

3月18日 第二回会議

### (2) 留学生スタディ京都ネットワーク事業

#### ① 留学生スタディ京都ネットワーク運営委員会

1月21日 第一回会議

3月16日 第二回会議

#### ② 留学生誘致プロモーションワーキンググループ

10月1日 第一回会議 ※合同ワーキングとして

12月17日 第二回会議 ※合同ワーキングとして

3月4日 第三回会議 ※合同ワーキングとして

#### ③ 留学生満足度向上ワーキンググループ

10月1日 第一回会議 ※合同ワーキングとして

12月17日 第二回会議 ※合同ワーキングとして

3月4日 第三回会議 ※合同ワーキングとして

### (3) 留学生支援事業（京都地域留学生住宅支援制度）

#### ① 京都地域留学生住宅支援制度運営委員会

6月10日 第1回委員会（書面会議）

9月15日 第2回委員会（オンライン会議：京都地域留学生住宅支援機構解散決議）

## (1) 調査企画事業

### 【事業計画の概要および実績】

第5ステージ（2019-2023年）の3年目にあたる2021年度は引き続き、事業の効果検証と効率的な事業運営を図りながら、プランに掲げた数値目標等の達成を目指した取組を推進する。

広報事業においては、加盟校のプロモーションに資する取組として、京都学生広報部の活動の定着化とより一層の活性化を図る。専用サイト「コトカレ」における京都のPR記事の配信を積極的に行い、活動の指標となるコトカレPV数（閲覧件数）の年間100万PVの達成に向けて取り組む。また、学生広報部員と中高生・企業等とのタイアップ事業の実施など、情報波及力を高める事業にも積極的に取り組むとともに、京都の大学生のための公式アプリ「KYO-DENT」の配信をとおして、学生同士のつながりや学びの深化に向けた取組も進める。

都市政策事業、地域連携事業については、事業開始から15年以上が経過し、一定、加盟校への事業の浸透と取組の定着化がみられてきた。第5ステージでは、これまでの取組実績やノウハウをより一層広めるため、2019年4月に開設した、大学・地域連携ポータルサイト「がくまちステーション」などを活用し、取組の活性化と裾野の拡大に取り組む。

### 1 財団指定調査課題

調査事業企画検討委員会において、各年度の指定調査課題の進行管理やテーマ設定等の検討を行い、第5ステージプランに掲げた施策を推進する。

#### (1) 2020年度（※）・2021年度調査課題（3件）

ア 京都の大学における国際化の現状を踏まえた京都地域の留学生誘致活動の底上げに関する方策  
(担当：国際事業部) (2020年度選定課題)

【研究代表者】学校法人立命館総務部秘書課課員 橋本 規孝

イ データ解析から紐解く大学コンソーシアム京都加盟校が京都地域で果たしている役割の現状と今後の方向性  
(担当：調査・広報事業部) (2020年度選定課題)

【研究代表者】京都産業大学 現代社会学部教授 金光 淳

ウ 大学コンソーシアム京都における単位互換事業のあり方について  
(担当：教育事業部) (2021年度選定課題)

【研究代表者】立命館大学 共通教育推進機構教授 山口 洋典

※2020年度調査課題の調査期間は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い2箇年（～2021年度）とした。

#### (2) 2022年度調査課題（2件）

ア 多様性の包摂に向けた合理的配慮の取組事例調査と大学間連携組織の可能性  
(担当：学生支援事業部)

【研究代表者】京都大学学生総合支援機構障害学生支援部門（DRC）准教授 村田 淳

イ 京都地域における効果的な地域連携活動  
(担当：調査・広報事業部)

【研究代表者】京都橘大学経営学部経営学科助教 大田 雅之

### (3) 調査研究費について

1 件あたり 150 万円（上限額）

### (4) スケジュール

#### ア 2020 年度・2021 年度調査課題

2020 年 4 月	2020 年度選定課題の調査研究開始
2021 年 3 月 2 日	2020 年度選定課題の中間報告会
2021 年 4 月	2021 年度選定課題の調査研究開始
2021 年 9 月 7 日	第 1 回調査事業企画検討委員会
2021 年 11 月 16 日	第 2 回調査事業企画検討委員会
	2021 年度選定課題の中間報告会
2022 年 3 月 1 日	成果報告会
2022 年 4 月 12 日	調査研究成果報告書提出

#### イ 2022年度調査課題

2021年12月10日	募集開始
2022年2月22日午前中	募集締切
2022年2月24日	選定委員会・プレゼンテーション審査
2022年3月9日	財団運営委員会にて決定
2022年4月	調査研究開始

## 2 「共通指標」に基づく財団基礎データの収集

2016 年度から全事業（協働事業を除く）で「共通指標」に基づく量的、質的データの収集を開始。2016 年度から 2020 年度の 5 年間のデータを集約して財団ホームページに公表中。

年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
データ提供事業数	44	38	40	40	44

## 3 中期計画の策定と運用

### (1) 第 5 ステージプラン（計画期間：2019-2023 年度）

財団では 5 年ごとに、財団の目指すべき方向性や事業のあり方についてまとめた「ステージプラン」を策定し、事業運営の指針としている。「第 4 ステージプラン（2014～2018 年度）」の 4 年目にあたる 2017 年度に大学政策委員会（委員長：松岡 同志社大学学長）を設置。同プランの検証を行い、最終年度の 2018 年度に、次期ステージプラン策定部会を設置し、具体的な検討を行った。大学政策委員会において、2019 年度以降に財団が取り組むべき事業方針等を取りまとめ、2019 年 1 月 26 日開催の理事会に「第 5 ステージプラン」を答申。2019 年 3 月に策定した。2019 年度からは年に一度、一般向けの事業進捗報告会を開催。

次期計画となる「第 6 ステージプラン」の策定に当たっては、2022 年度における大学政策委員会の設置に向けて、準備を進める。

## 第5 ステージプランの概要

計画期間	2019-2023 年度 (5 年間)
ビジョン	だれもが学び、つながる京都へ ～地域とともに個性と特色を活かした多様な学びの展開～
事業推進方針	① 加盟校ニーズ・期待に応える事業運営 ② 大学と地域との連携推進 ③ 交流・プラットフォーム機能の強化 ④ 「大学のまち京都」のブランド力向上 ⑤ 高等教育を取り巻く環境の変化に対応する、先進的で独自性のある事業展開
施策の柱と 主な新規事業	柱1 大学間連携による学びの提供と充実 ・加盟校等におけるリカレント教育の実践促進 ・学生の成長と企業・団体の活性化に資するインターンシッププログラムの促進 柱2 大学教職員の能力開発と交流機会の充実 ・階層別研修・プログラムの実施 (SD・FD 事業) ・高校教員対象の障害のある学生の受け入れに関する懇談会の開催 柱3 大学の枠を超えた学生間の交流・活動支援 ・インカレ活動の活性化に向けた取組 柱4 オール京都での国際交流推進 ・留学生や海外からの訪問学生との交流プログラムの実施 ・加盟校の国際化に向けた取組事例の共有 柱5 大学・学生・地域社会との連携による京都地域の発展と活性化 ・大学地域連携ウェブサイトの開設 ・京都から発信する政策研究交流大会の政策提言の活用 柱6 高等教育の環境変化に対応する組織運営 ・高等教育の動向調査 ・財団事業の影響分析

### (2) 「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」について

京都市の大学政策の指針となる、「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」を京都市と財団が協働し策定している。2017 年度から、大学のまち京都・学生のまち京都推進会議（通称：推進会議）において、2019 年度から 2023 年度までの推進計画の具体的な検討を行い、2019 年 3 月に策定した。当財団の次期中期計画とも密接に連携しながら取組を推進する。

2022 年 3 月 24 日 大学のまち京都・学生のまち京都推進会議の開催

## 4 京都 B & S プログラム

京都観光推進協議会（事務局：京都市観光 MICE 推進室）、JTB 京都支店との協働事業で、2014 年度から実施。京都に来る修学旅行生（中高生）を対象に、学生ボランティア（有償）がガイド役となって京都を案内する。その過程で、市内の大学構内へ立ち寄り、将来の進学意欲の喚起や大学生との触れ合いを通じ「大学のまち京都」の魅力を発信する。学生ボランティアの確保に課題があり、財団のインカレ団体や広報媒体を通じた、情報発信などにより、登録者の確保に協力している。

## 【受入実績】

- 2016 年度：23 校（3,064 名）
- 2017 年度：30 校（3,399 名）
- 2018 年度：29 校（3,848 名）
- 2019 年度：21 校（2,166 名）
- 2020 年度：1 校（51 名）
- 2021 年度：7 校（843 名）※オンライン実施を含む

## （2）広報事業

### 【事業計画の概要及び実績】

第 5 ステージでは、情報収集・発信機能の強化を掲げ、加盟校に有益な情報について組織的に対応し、情報の収集・発信を行う。広報事業として、京都学生広報部の活動充実などに取り組み、専用サイト「コトカレ」の年間 100 万 PV 達成を目指す。

- ①財団ウェブサイトと SNS 等による財団事業の発信機能強化
- ②京都学生広報部の専用ウェブサイト「コトカレ」の充実と情報発信力の強化
- ③学生広報部と中高生、企業とのタイアップ事業の展開

### 1 財団ウェブサイト・SNS の運用

財団ウェブサイトのアクセス実績の解析・状況分析を実施し、アクセス数の増加、情報発信力の強化を図る。SNS については facebook と Twitter を運用。

### 2 会報等の発行

#### (1) 財団 Information（財団紹介パンフレット）

毎年 6 月に更新。2021 年度は中刷り（加盟組織・沿革）のみ更新（2021 年 9 月）

参考：2020 年 7 月 28 日 発行（最新版）

#### (2) 会報誌

年 1 回発行（2022 年 2 月発行）

### 3 京都学生広報部

「大学のまち京都・学生のまち京都」の魅力を京都の大学生たちが全国の中高生に発信することを目指して 2015 年 9 月に創部。同年 10 月に専用ウェブサイト「コトカレ」を開設した。

京都市及び運営支援を委託するクリエイター育成協会、株式会社タグラインと協働で学生部員への支援を行う。具体的には将来大学生となる中高生にとって魅力あるコンテンツを制作することで中高生の読者の増加を目指し、また、中高生との交流事業等に取り組む。全国から多くの修学旅行生が訪れる利点を活かし、京都 B&S プログラムとの連動企画など、幅広い広報展開によってステークホルダーや京都地域全体の PR につなげる。

## (1) 概要

ア 開設年度：2015年9月 ※京都市との協働事業

イ 部員数：105名（16大学：2022年3月末現在）

大学・短期大学名	部員数	大学・短期大学名	部員数
京都大学	5	同志社大学	33
京都工芸繊維大学	1	同志社女子大学	4
京都橘大学	2	立命館大学	17
京都産業大学	12	京都精華大学	2
京都女子大学	19	京都薬科大学	1
花園大学	1	龍谷大学	3
平安女学院大学	2	佛教大学	1
京都光華女子大学	1	京都外国語大学	1

ウ 公開記事数及びページビュー数（閲覧数）

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
公開記事数	105件	66件	131件	165件	133件	161件	106件
PV数	75,210	159,969	423,579	678,031	660,468	619,236	647,315

エ 月間ページビュー数（閲覧数）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2017	16,696	18,224	22,178	17,490	13,658	53,725	35,403	55,754	47,776	39,014	43,177	60,484
2018	66,110	56,409	45,710	43,608	48,846	69,302	53,783	84,633	44,971	42,332	51,277	65,080
2019	47,510	52,300	48,498	48,059	45,628	50,955	47,228	73,084	43,663	55,911	62,493	85,139
2020	53,884	52,477	44,239	40,479	51,268	47,639	44,291	40,946	40,594	48,898	52,475	10,2046
2021	118,150	52,017	45,373	44,542	37,016	46,494	43,666	40,246	39,468	46,234	51,240	82,869

## (2) 主な事業

### ア 研修事業

広報部員のスキルアップを目的とした研修を実施。

① 研修会1「学生ライターになるあなたへプロに聞くインタビューのいろはー」

講師：岩本和子氏（フリーライター）

日時：2021年5月20日（木）19：00～21：00 Zoom開催

参加者：27名（部員16名、一般11名）

② 研修会2「読者を惹きつけるアイキャッチの作り方ーアプリを活用してー」

講師：松村 シナ氏（カメラマン、ウェブデザイナー）

日時：2021年8月24日（火）14：00～16：00

参加者：13名（部員10名、一般3名）

③ 研修会3「見方を知るともっと楽しい！京都の庭園の魅力」

講師：烏賀陽 百合（うがや ゆり）氏（庭園デザイナー）

日時：2022年2月25日（金）13：00～15：00

参加者：6名

#### ④その他「京都学生広報部 研修・交流会」

講師：京都市 総合企画局総合政策室大学政策担当 係長 東 祐大氏

日時：2021年10月28日（木）19：00～20：30

会場：キャンパスプラザ京都4階 第2講義室

参加者：42名

### イ 中高生・企業等との協働事業

#### ① 吉本興業とのコラボ企画

主に大学生をターゲットとし、よしもと祇園花月を舞台にイベントを開催。企画段階から学生が参画する。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策を目的とした、ソーシャルディスタンスなどの実践を楽しみながら日常生活に取り入れる取組などを企画した。京都学生広報部員が描いた

「アマビエ」のイラストのよしもと祇園花月への掲示の他、よしもと祇園花月を「祇園会館という歴史的建築物」として取り上げ、昭和から令和へと時代の移り変わりと変容してきた大学生の生活を発信するフリーペーパーを作成。本取組は2021年も継続中。

#### ② 京都学生広報部インターンシップ

「コトカレ」のターゲットである高校生を対象とした、取材体験イベント。

大学生である部員と交流することで、京都の大学への進学意欲上昇と、「コトカレ」の高校生読者を増やすことを目的とする。2022年5月実施予定。

### ウ 部員募集等

新型コロナウイルス感染症の影響により、SNSやオンラインによる募集を実施。2021年4月20日にはInstagramのライブ機能を活用した説明会を開催し、10名が視聴した。2021年5月20日の研修は、入部希望者と部員が交流できる新歓イベントの要素も取り入れた内容とした。

## 4 「大学のまち京都 学生のまち京都」公式アプリ「KYO-DENT」の開発

京都市との協働事業。京都でしか味わえない学生生活を実現するための様々な取組や、学生向けの各種情報を学生に直接かつ確実に届けるとともに、学生のニーズなどを把握し、学生を対象とする取組の改善や新たな事業創設の基盤につなげるためのアプリを2020年3月から配信開始。

### (1) 趣旨・目的

- ① 京都でしか味わえない学生生活の実現
- ② 京都の魅力を感じた学生の就職を含めた地域への定着
- ③ 京都での学生生活のブランド化による新たな学生の獲得

### (2) 主な機能

#### ① お得情報

学割等の学生向けサービスを展開している店舗や施設の情報をマップ上やカテゴリ別に配信。

#### ② イベントカレンダー

京都ならではの学生向けイベント情報をカレンダー形式で配信。

③ ニュース

京都市、大学コンソーシアム京都、地域企業などが発信する、学びの充実につながる学生向けニュースを配信。

④ ポイント

記事の閲覧などのアプリの利用で、お好みの電子マネー（計 120 種類以上）に交換できるポイントを発行。

⑤ 京めばえ機能

アプリの利用に応じてポイントを獲得できる機能。

(3) 推進体制

京都市と財団が事務局を務め、京都経営者協会、(公財)京都高度技術研究所、京都学生広報部、京都学生祭典実行委員会で構成される「京都ならではの学び・魅力向上」協議会が事業の企画・運営、予算管理等を行う。なお、アプリの機能やデザイン等は、同協議会の下に設置した学生プロジェクトチームにおいて検討された。

2021年8月18日(水) 2021年度第1回協議会の開催

(4) ダウンロード数の推移 (2020.3.26～)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019												367
2020	349	576	489	435	831	1,103	1,386	1,331	679	504	826	1,351
2021	2,255	489	1,157	781	655	407	1,113	1,083	608	464	662	1,502

累計ダウンロード数：21,403件 (2022年3月末時点)

(3) 都市政策研究推進事業

【事業計画の概要および実績】

1 京都から発信する政策研究交流大会

加盟校の学生が、日頃の研究や学習成果の発表の場として互いに交流を深め、都市政策に活かすことを目的に2005年度から開催。

大会は、加盟校の政策系学部の教員で構成する「都市政策研究推進委員会」が中心となり、企画・審査を実施するほか、学生実行委員会の活動への助言等を行っている。

(1) 第17回大会について

ア 日程 2021年12月19日(日)10時～17時

イ 開催形式 オンライン

ウ 応募実績

	エントリー	応募者	発表組数
組数	113	99	72

## エ 研究奨励賞受賞者一覧

賞名	部門	発表題目	区分	団体名	所属大学名
大学コンソーシアム京都理事長賞	口頭・論文	鴨川沿い行政看板の分かりやすさに関する研究 - 日本人と外国人の比較調査を基に提言 -	団体	京都女子大学「京をつなぐプロジェクト」	京都女子大学
日本公共政策学会賞	論文	日常使いとしての着物 - 着物会議習慣による着物産業復興への手がかり -	団体	同志社大学政策学部 野田ゼミ A 班	同志社大学
優秀賞	口頭発表	グリーンインフラにおける多様な主体間の合意形成に向けて-アイスブレイクとしてのカードゲーム「グリーンズ」の有効性-	団体	チーム リトルグリーンズ	京都産業大学
		ユニバーサルツーリズムにおける観光地図の課題 - 視覚障害者の視点から -	団体	村田和代・池田麻衣子ゼミナール	龍谷大学
		地場産業存続に向けた循環型産業の確立-政所地区での実証的検討を踏まえて-	団体	深尾ゼミナール政所プロジェクト	龍谷大学
		廃校を活用した京都発アート・コレクティブ拠点	団体	同志社大学政策学部 野田ゼミ B 班	同志社大学
		ニュータウンの団地力とコミュニティ形成 -2040年の日本を見据えた政策を-	団体	深尾ゼミナール 11 期生	龍谷大学
		就活先決定モデルに基づく京都企業論プログラム	団体	同志社大学政策学部 野田ゼミ C 班	同志社大学
		工福連携モデルの可能性 -障害者雇用の現場におけるテクノロジーの導入-	団体	深尾ゼミナール工福連携PJ	龍谷大学
		災害時の性被害防止 - SNS 活用による情報収集と情報発信 -	団体	同志社大学政策学部 川口ゼミ 1 班	同志社大学
		政令指定都市におけるオープンデータの推進	団体	同志社大学政策学部 真山ゼミ	同志社大学
主権者教育におけるデジタルコンテンツの有用性と可能性 - より早く、楽しく、効果的な学びに向けて -	団体	京都府立大学 公共政策学部 2 回生窪田ゼミ	京都府立大学		

## (2) 実施スケジュール

(2021 年)

4 月 23 日	第 1 回都市政策研究推進委員会
6 月 11 日	第 1 回大会検討チーム会議
6 月 15 日	エントリー開始
6 月下旬	応募者向け説明会（動画配信）
8 月 3 日	臨時会
8 月 6 日	エントリー締切
9 月 17 日	第 2 回都市政策研究推進委員会
10 月 30 日	論文提出締切
11 月 12 日	第 2 回大会検討チーム会議
11 月 26 日	発表者向け説明会
12 月 10 日	第 3 回都市政策研究推進委員会

- 12月19日 第17回京都から発信する政策研究交流大会  
(2022年)
- 2月18日 第4回都市政策研究推進委員会
- 3月4日 政策提言懇談会（奨励賞受賞者による発表、行政機関との意見交換）

### (3) 学生実行委員会

加盟校の学生で構成。主に平日の夜間（週1回程度）に活動し、大会広報チラシやSNSによるPR活動、大会当日の学生企画の企画・運営や大会の運営補助などを担当。

<学生企画>

テーマ：若者たちの集い～新たなライフスタイルの提案～

内容：フィードバック交流会（分科会の振り返り）

トークセッション（コロナ禍の学生生活など）

2021年度 学生実行委員（11名）

大学・短期大学名	人数	大学・短期大学名	人数
福知山公立大学	1	京都産業大学	3
京都女子大学	1	京都先端科学大学	2
京都橘大学	1	京都美術工芸大学	1
同志社大学	1	立命館大学	1

### (4) 大学別発表件数

大学名	第13回（2017）		第14回（2018）		第15回（2019）		第16回（2020）	第17回（2021）
	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	パネル	口頭	口頭
京都大学	2 (1)	0	(1)	0	(1)	0	0	0
京都府立大学	3	1	3 (1)	1	8 (1)	1	2	4
福知山公立大学	1	0	1	2	2	5	10	6
京都産業大学	13	3	7	1	13	3	15	19
京都女子大学	1	0	0	0	0	0	1	1
京都先端科学大学	0	0	0	0	0	0	0	4
京都橘大学	2	1	3	0	3	0	1	4
京都文教大学	2	0	1	0	1	0	1	2
同志社大学	6	4	10	5	12	2	12	11
佛教大学	9	3	8	2	9	3	3	4
立命館大学	8 (1)	3	12 (2)	5	8	2	1	0
龍谷大学	9	1	9	1	11	0	10	17
計	56 (2)	16 (0)	55 (4)	17	68 (2)	16	56	72

※（ ）内は大学院生の数

### (5) 来場者数の推移

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
238	149	632	420	524	545	410	317	362
第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	第16回	第17回	
377	451	423	352	392	507	433	607	

※発表者、一般聴講者（学生実行委員、職員、審査員は除く。）の合計

## (4) 地域連携事業

### 【事業計画の概要および実績】

京都のまちの発展、活性化を目指し、加盟校が有する知と人材、学生の活力を生かした地域との連携事業を京都市と連携して実施している。

#### 1 大学地域連携創造・支援事業（愛称：学まちコラボ事業）

大学の求める人材育成に資する実践的教育・研究機会の確保と地域ニーズに基づき、大学の知や学生の活力を生かした地域課題の解決や地域活性化を目的とし、大学と地域との連携による取組に対して助成金を交付し、学生の学びと成長を支援している。

令和3年度以降、平成29年度から設けていた「文化枠」の募集は行わず、「一般枠」のみの募集としている。

##### (1) 令和3（2021）年度のスケジュール

4月1日～5月29日	募集期間
6月10日・11日	一次審査（書類審査）
6月20日	二次（プレゼンテーション）審査（オンライン）
7月12日	認定式・取組スタート
11月16日	第3回企画・選考委員会
12月21日	第4回企画・選考委員会
3月26日	成果報告会・交流会

##### (2) 令和3（2021）年度の応募実績

申請件数：13事業

採択団体：11事業（うち、コメント付き採択：1事業、条件付き採択：1事業）

#### 2 大学×地域連携ポータルサイト「がくまちステーション GAKUMACHI STATION」

財団ではこれまで、大学・学生・地域と連携した活動を支援し、学生の学びと成長、地域の活性化を図ることを目的に、サークルや学生グループによるまちづくり活動を支援する「学まちコラボ事業」や、大学を挙げた地域連携の取組を支援する「学まち連携大学」促進事業の実施のほか、都市にかかわる課題について学生が調査・研究した成果を政策提案する「京都から発信する政策研究交流大会」の開催、加盟校における地域連携の取組紹介ページ「まちづくり事例集」の作成など、多様な地域連携事業に取り組んできた。2019年4月には、こうした地域連携にかかわる幅広い情報やノウハウを網羅したポータルサイトとして「がくまちステーション」を開設（まちづくり事例集は本サイトに再編）し、大学・学生と地域との連携活動の活性化を図るべく運用している。

##### (1) 掲載内容

###### ア 学まちコラボ事業

2018年度の活動実績を中心に2017年度以前の報告集を掲載。

2019年度からSDGsアイコンによる検索機能を追加。

###### イ 「学まち連携大学」促進事業

- ・2016～2019年度の採択校の取組を紹介（大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学）
- ・2020年度からの採択校の取組を紹介（京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部、花

- 園大学、京都橘大学、龍谷大学・龍谷大学短期大学部)
  - ・採択校による事例紹介などによる、大学・地域連携サミットの紹介
- ウ 京都から発信する政策研究交流大会
  - 優秀賞受賞者の発表論文及び発表データ、推進委員（教員）へのインタビュー記事を掲載。
- エ 加盟校における地域連携活動の取組
  - 上記ア～ウの取組以外の加盟校独自の大学・学生・地域連携の活動を紹介。

**(2) スペシャルコンテンツ**

地域連携活動やまちづくりの分野などのトップランナーのインタビュー記事などを随時更新。

**(3) 検索機能**

京都府下の市町村、大学名、取組分野のキーワードで取組が検索可能。

2019年度からSDGsアイコンによる検索機能を追加。

**3 「学まち連携大学」促進事業**

地域社会との関わりの中で得られる学生の学びと成長の機会を創出する取組を、大学の組織的な取組として定着させることを目的に、2016年度から地域と連携した実践的な教育プログラムの開発・実施に取り組む大学に補助金を交付し、取組を支援してきた。

2020年度からは全学的に地域連携に取り組む大学の裾野の一層の拡大を図るため、新たに対象となる取組を増やして募集を行ない、新たに4大学を採択し、4箇年にわたる支援を実施している。

**(1) 採択大学及び採択事業（2020～2024年度）**

スタートアップ型

大学名	申請事業名
京都光華女子大学・ 京都光華女子短期大学部	京で学び・京で働き・京に暮らす ～地域連携型プログラムの展開～
花園大学	利他の精神に基づいた地域連携教育プログラムの推進事業

発展型

大学名	申請事業名
京都橘大学	山科・醍醐地域で「変化を楽しむ」地域連携型教育プログラム
龍谷大学・ 龍谷大学短期大学部	伏見をフィールドにした地域連携型教育プログラムの展開 - まちぐるみキャンパス（学び合いのコミュニティ）の深化 -

（参考）2016年度学まち連携大学促進事業採択大学

大谷大学、京都教育大学、京都女子大学、京都橘大学、同志社女子大学、龍谷大学

**(2) 支援スキーム**

	スタートアップ型	発展型
対象大学	加盟大学のうち、2016年度学まち連携大学促進事業及びCOC、COC+に採択された大学（参加大学を除く）以外の大学・短期大学	加盟大学のうち、2016年度学まち連携大学促進事業の採択大学等、全学的に地域連携を促進している大学・短期大学
支援金	1年目：200万円、2年目：160万円、 3年目：120万円、4年目：100万円	1年目：300万円、2年目：240万円、 3年目：190万円、4年目：150万円

	スタートアップ型	発展型
	(4年間最大 580 万円)	(4年間最大 880 万円)

#### 4 大学・地域連携シンポジウム

学まちコラボ事業や各区のまちづくり支援事業を含めた大学・地域連携事例を広く発信するとともに、大学・地域連携活動に関わる学生や大学関係者、地域団体等が交流する機会を創出するため、「大学・地域連携サミット」を京都市と協働で2016年度から開催している。2021年度は「シンポジウム」に改め。

##### (1) 開催概要

ア 日 時 2021年11月6日(土) 14:00～16:15

イ 会 場 キャンパスプラザ京都

ウ 対 象 学生・大学・地域関係者、一般参加者

エ 開催方式 対面・オンラインのハイブリッド形式

オ 参加者数

来場 25名 オンライン 41名

うち、加盟校：来場 16名 オンライン 17名（申込者数：来場 28名 オンライン 86名）

カ 内 容 テーマ／地域連携活動の醍醐味

第1部 事例報告（「学まち連携大学」促進事業採択校）

##### ① 花園大学

登壇者：花園大学文学部教授 師 茂樹 氏

タイトル：地域を調べ、声を聞く：花園大学「課題解決プログラム」におけるYouTube動画制作を通じた学び

##### ② 京都光華女子大学

登壇者：京都光華女子大学キャリア形成学科教授・地域連携推進センター長  
吉田 咲子氏

タイトル：まち全体で環境保全へ、SDGsを学ぶ  
～ショッピングモールと共働した地域連携活動～

##### ③ 龍谷大学

登壇者：龍谷大学政策学部准教授 井上 芳恵 氏

タイトル：オンラインツールを活用した向島地域における高大連携型アクティブラーニングの挑戦

##### ④ 京都橘大学

登壇者：京都橘大学健康科学部作業療法学科教授 小川 敬之 氏

タイトル：どんな状況でも繋がることできる。～作業療法を通じた実践例の紹介～

第2部 トークセッション（大学、学生、地域）

・第1部の報告者 4名

・学生：みらい発信局 おむすび静原応援隊 住 恵美 氏

・地域：醍醐味eets会 高向 正和 氏

ファシリテーター 京都市まちづくりアドバイザー 谷 亮治 氏

## 各種委員会等の開催について

### (1) 調査企画事業

#### ① 調査事業企画検討委員会

9月7日	第1回調査事業企画検討委員会
11月16日	第2回調査事業企画検討委員会・中間報告会
2月24日	選定委員会
3月1日	成果報告会

#### ② 大学のまち京都・学生のまち京都 推進会議

3月24日	大学のまち京都・学生のまち京都 推進会議
-------	----------------------

### (2) 都市政策研究推進事業

#### ① 都市政策研究推進委員会

4月23日	第1回委員会
6月11日	第1回交流大会検討チーム会議
8月3日	臨時会
9月17日	第2回委員会
11月12日	第2回交流大会検討チーム会議
12月10日	第3回委員会
12月19日	第17回京都から発信する政策研究交流大会
2月18日	第4回委員会

### (3) 地域連携事業

#### ① 学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）企画・選考委員会

6月11日	2021年度採択事業一次審査
6月20日	2021年度採択事業二次審査
7月12日	認定式
11月16日	企画・選考委員会
12月21日	企画・選考委員会
3月26日	成果報告会

### (4) 広報事業

#### ① 「京都ならではの学び・魅力向上」協議会

8月18日	2021年度第1回協議会
-------	--------------

## 総務部 事業報告

### (1) 総務業務 (法人運営・庶務)

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

##### ◆法人運営

##### (1) 機関会議

法人の意思決定を行うため、評議員会、理事会、運営委員会を開催する。また、会員団体への事業報告等の場として会員総会を開催する。(日程、主な議題等については「各種委員会等の開催について」参照)

##### (2) 大学のまち・京都 サマーミーティング

大学コンソーシアム京都の事業推進や京都市の大学政策の参考とすること、京都の大学と京都市の一層の連携を図ることを目的とし、8月に加盟大学学長と京都市長との懇談会を開催する。

##### ◆庶務

大学間連携による新型コロナウイルスワクチン接種

大学間連携による新型コロナウイルスワクチン接種のスキームを構築し、2021年7月18日～9月5日(土日5日×2回接種)、京都大学医学部附属病院に於いて、14大学・短期大学(2,917名)の学生、教職員等がワクチン接種を受けた。

##### <実績>

8月21日(土) サマーミーティング

### (2) 財務・経理業務

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

本業務は、財団の予算執行管理及び財産の運用などを担当する。安定的に事業を運営するため、事業の選択と集中を推進し、経費節減、特定財産の計画的な活用等、効率的な財政運営を図る。

##### <実績>

5月28日(金)	2020年度決算監査
6月26日(土)	2020年度事業報告・決算承認
9月25日(土)	予算説明会
11月10日(水)	2022年度事業計画・予算基本方針承認
1月22日(土)	2021年度補正予算承認
3月12日(土)	2022年度事業計画書・当初予算承認

### (3) 研修業務

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

財団職員の能力向上のために研修企画を策定し、実施する。本年度は総務部が主体となり、以下の日程で研修を実施する。また、コロナ禍によりオンライン会議の機会が増加していることを踏まえ、Zoom等による会議運営の能力を身につける研修を実施するなど、研修メニューの充実を図る。

##### <実績>

4月1日(木)	新入職員オリエンテーション
4月21日(水)	ハラスメント防止規程に基づく業務の説明会(ハラスメント相談員、及び役職者対象)
5月19日(水)	事業部業務説明会(教育事業部、教育開発事業部、国際事業部)
6月16日(水)	事業部業務説明会(学生支援事業部、調査・広報事業部、総務部)
8月25日(水)～ 27日(金)	SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)フォーラム2021(オンライン開催)
9月4日(土)～ 5日(日)	大学行政管理学会・研究集会(神戸学院大学)
12月15日(水)	高等教育の動向等共有研修
12月15日(水) 以降随時	Zoom等オンライン会議運営研修
2月16日(水)	ハラスメント研修
3月7日(月)	防災訓練、救急救命講習
3月16日(水)、 17日(木)	出向満了者等業務成果報告会

### (4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

#### 【事業計画の概要および実績】

##### <概要>

本事業では、全国の大学コンソーシアム組織(大学連合体・大学連携組織)からなる協議会組織「全国大学コンソーシアム協議会」の事務局として、運営委員会・総会の開催、協議会予算の執行管理等を行う。情報交換・交流の場として「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」を開催する。

##### ○第18回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム(概要)

日 時：2021年9月11日(土) 10:00～15:30

会 場：オンライン開催(大学コンソーシアム京都から配信)

テーマ：(全体テーマ) 大学コンソーシアムの再考と再興

～ニューノーマル時代に大学コンソーシアムが切り拓く可能性とは～

##### <実績>

- 4月22日(木) 2020年度 監査報告(監事)
- 5月22日(土) 第1回 運営委員会(主要議題:決算・予算・事業計画等) ※Web会議
- 6月9日(水) 第1回 幹事会(主要議題:決算・予算等) ※書面会議
- 9月1日(水) 総会(主要議題:決算・予算等) ※Web会議
- 9月11日(土) 第2回 運営委員会(主要議題:第19回 フォーラムについて) ※Web会議
- 2月9日(水) 第3回 運営委員会(主要議題:第19回、第20回 フォーラムについて) ※Web会議
- 2月16日(水) 第2回 幹事会(主要議題:代表幹事選挙) ※書面会議

## (5) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

本事業では、「勤労学生援助会」の事務局として、理事会等の開催・予算の執行管理等を行う。「勤労学生援助会」では、人物・学業とも他の学生の模範となる学生で、学費や生活費をアルバイト及び奨学金等に頼り、家庭からの援助が皆無に近い学生や、京都地域の社会活動で著しく貢献した学生を表彰し、奨学金を給付する。

#### <実績>

- 7月16日(金) 通常総会・理事会 ※書面会議
- 8月 表彰学生推薦依頼
- 2月4日(金) 表彰学生選考委員会(主要議題:表彰・奨学金授与学生の選考、他) ※書面会議
- 3月11日(金) 勤労学生表彰・奨学金贈呈式

## (6) 施設管理事業(指定管理)

### 【事業計画の概要および実績】

#### <概要>

施設管理事業は、京都市から指定管理者として2019年度から4年間の再指定を受け、キャンパスプラザ京都の管理運営を行っている。引き続き、施設運営に必要な委託業者(受付、警備、清掃、各種インフラ管理等)と連携を図りながら適切な施設管理を行う。

#### <実績>

保守点検日

- 4月12日(月)、4月26日(月)、5月10日(月)、5月24日(月)、6月7日(月)、
- 6月21日(月)、7月12日(月)、7月26日(月)、8月2日(月)、8月23日(月)、
- 9月13日(月)、9月27日(月)、10月4日(月)、10月18日(月)、11月8日(月)、
- 11月29日(月)、12月13日(月)、12月20日(月)、1月17日(月)、1月24日(月)、
- 2月7日(月)、2月14日(月)、2月21日(月)、3月7日(月)、3月14日(月)、
- 3月28日(月)、

## 【特記事項】

◆緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等に伴う貸館利用時間の状況

2021年4月12日～4月26日 貸館利用時間の制限（9：00～20：00）

2021年4月27日～5月31日 貸館中止

2021年6月1日～6月20日 貸館利用時間の制限（9：00～20：00）

定員の制限（収容定員の半数に）

2021年6月21日～7月11日 貸館利用時間の制限（9：00～20：00）

定員の制限（通常通りに）

2021年7月12日～8月1日 貸館利用時間の制限（9：00～21：00）

定員（通常通り）

2021年8月2日～8月19日 貸館利用時間の制限（9：00～20：00）

定員（通常通り）

2021年8月20日～9月30日 原則貸館中止（9：00～20：00）

定員の制限（収容定員の半数に）

2021年10月1日～10月21日 貸館利用時間の制限（9：00～21：00）

定員（通常通り）

2021年10月22日～ 通常通り

※通常貸館利用時間（9：00～21：30）

◆2021年5月29日～7月25日の土日 京都市が実施する新型コロナウイルスワクチン接種のため駐車場の一部を貸与

◆主な工事等について

① 各階積算電力計（電気子メーター）取替工事

工事にあたり、2021年10月4日（月）に部分停電作業を実施。（1階・3階・6階が対象）

② 空調（チラー設備）改修工事

工事にあたり、11月16日（火）～19日（金）・26日（金）には、車両通行規制を実施。

12月は、工事の影響により、一部貸室・共有部分で空調（暖房運転）使用不可となる。→12月21日（火）から空調（暖房運転）再開。

臨時的な対応として、空調（暖房運転）が利用できなくなっていた貸室に小型の暖房機を設置→12月21日（火）空調（暖房運転）再開に伴い撤去。

③ 高圧受変電設備年次点検

例年どおり全館停電作業を2022年2月14日（月）に実施。

## 総務部 各種委員会等の開催について

### ■開催報告■

#### （1）総務業務（法人運営）

##### ① 評議員会

4月30日（金） 第1回（主要議題：評議員の辞任・選任について）※書面会議

6月26日（土） 第2回（主要議題：2020（令和2）年度事業報告及び決算について 他）

- 3月12日(土) 第3回(主要議題:理事・監事の辞任・選任について 他)
- 3月25日(金) 第4回(主要議題:評議員の辞任・選任について) ※書面会議

## ② 理事会

- 4月23日(金) 第1回(主要議題:運営委員の選任について 他) ※書面会議
- 6月3日(木) 第2回(主要議題:2020(令和2)年度事業報告及び決算について 他) ※書面会議
- 6月26日(土) 第3回(主要議題:理事長職務執行報告 他)
- 8月27日(金) 第4回(主要議題:加盟大学の退会について 他) ※書面会議
- 1月22日(土) 第5回(主要議題:2021(令和3)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)
- 3月12日(土) 第6回(主要議題:2022(令和4)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画及び予算について 他)

## ③ 会員総会

- 7月31日(土) 報告事項1 2020(令和2)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都  
※書面 事業報告及び決算について

## ④ 運営委員会

- 4月14日(水) 第1回(主要議題:運営委員長の選出 他)
- 5月19日(水) 第2回(主要議題:2020(令和2)年度事業報告及び決算について 他)
- 6月9日(水) 第3回(主要議題:第19回京都学生祭典における大学分担金について 他)
- 7月14日(水) 第4回(主要議題:第5ステージプラン中間評価の実施について 他)
- 8月20日(金) 臨時(主要議題:2021年度第4回理事会(書面会議)の開催について) ※メール審議
- 9月8日(水) 第5回(主要議題:2021年度TOEFLiBTテストスキルアップセミナーの共催申請について 他)
- 10月13日(水) 第6回(主要議題:第5ステージプラン中間評価について 他)
- 11月10日(水) 第7回(主要議題:2022年度事業計画策定及び予算編成の基本方針について 他)
- 12月8日(水) 第8回(主要議題:第5回理事会の開催について 他)
- 1月12日(水) 第9回(主要議題:2021(令和3)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 補正予算について 他)
- 2月9日(水) 第10回(主要議題:大学コンソーシアム京都次期中期計画の策定に係る加盟校アンケートについて 他)
- 3月9日(水) 第11回(主要議題:2022(令和4)年度 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事業計画・予算について 他)

## (2) 財務・経理業務

専門委員会等なし

## (3) 研修業務

専門委員会等なし

## (4) 全国大学コンソーシアム協議会事業

### ① 全国大学コンソーシアム協議会 運営委員会

5月22日(土) 第1回運営委員会(主要議題:決算・予算・事業計画等) ※Web会議

9月1日(水) 協議会総会(主要議題:決算・予算等) ※Web会議

9月11日(土) 第2回運営委員会(主要議題:第19回フォーラム進捗) ※Web会議

2月9日(水) 第3回運営委員会(主要議題:第19回、第20回フォーラムについて)  
※Web会議

### ② 全国大学コンソーシアム協議会 幹事会

6月9日(水)	第1回(主要議題:決算・予算等) ※書面会議
2月16日(水)	第2回(主要議題:代表幹事選について) ※書面会議

## (5) 勤労学生援助会・表彰奨学金事業

### ① 勤労学生援助会理事会・選考委員会

7月16日(金) 第1回理事会・総会(主要議題:事業・決算報告 他) ※書面会議

2月4日(金) 表彰学生選考委員会(主要議題:表彰・奨学金授与学生の選考、他) ※書面会議

3月11日(金) 勤労学生表彰・奨学金贈呈式